

令和6年度 第3回ふるさと向日市創生計画委員会 議事要旨

日 時：令和6年10月31日（木）午前10時から正午まで

場 所：市役所本館3階 第7会議室

出席者：（委員）

中村委員長、高橋副委員長、稲本委員、中島委員、大垣委員、船倉委員、
山舗委員、松井委員、小林委員、大田委員

（事務局）

野田ふるさと創生推進部長、林総務部長、福岡環境産業部長、
柴田市民サービス部長、山田都市整備部長、水上教育部長、
松石ふるさと創生推進部副部長兼企画広報課長、勝川主席係長、大山主任
（傍聴）

なし

内 容： 以下のとおり

1 開会

2 議題

（1）第3次ふるさと向日市創生計画（素案）について

①事務局から資料説明

向日市のまちづくりに関する市民アンケートの結果及び第3次ふるさと向日市創生計画（素案）の内容を説明。

②意見交換

（委員）

・アンケートの9ページ、「通勤・通学先」について、市内は0%であるのか。

（事務局）

・この「通勤・通学先は」の内訳については、問7で選択肢の3「通勤・通学に不便」と回答した方の内訳となっている。

（委員長）

・母数が31と少ないが、市内に通っている方は不便だと思っていないということだろう。

（委員）

・5年前に実施したアンケートと比較すると、「男女」の性別に関する問いはやめたということか。

（事務局）

・その通り。

（委員）

・現在の向日市の男女比はどうなっているのか。

（事務局）

・本年10月1日現在の住民基本台帳人口56,340人のうち、男性が27,010人、女性が29,330人であり、女性の方が2,300人ほど多くなっている。

（委員）

・回答者の年代について、5年前は70代が最も多く23.7%、今回は50代が最も多く19.7%となっている。この5年で変わった要因はあるか。

（事務局）

・回答者については無作為抽出となっている。おそらく洛西口周辺の北部地域に大型マンションができたことで、若い方が増えたことが一因ではないか。

(委員長)

・アンケートについては、目標回答率を3割とすることが多く、本アンケートの回収率は39.4%であることから悪くないと思う。最近は回答にネット等を利用することも多く、そうなるとうまた回答者の属性が変わってくるかもしれない。全体が787人で、例えば10代は1%しかいないので、8人のうち1人～2人で住み心地が悪いと回答すると、母数が少ないことから比重が大きくなるため、そのあたりを考慮しなければならない。

(委員)

・10ページの「良くないと思う点」について、30代の回答が5年前は「治安（防犯など）の不安がある」が40%を占めていたが、今回は「買物・余暇・生活サービスが不便」が1位となっており、上位からなくなっているが、何か理由はあるか。

(事務局)

・原因は定かではないが、治安への不安が薄まっているのではないかと。なお「買物・余暇・生活サービスが不便」と回答した方は5年前と比較して全般的に増加している。

(委員長)

・回答者の住んでいる地域によっても大きく異なると思う。

(委員)

・29ページの間15のスポーツについての質問は、アリーナができることを意識しているのか。

(事務局)

・本市には別途スポーツに関する計画があり、今年度見直しのためにスポーツに関するアンケートを別途実施し、その結果をこのふるさと向日市創生計画にも掲載することとしていることから、スポーツアンケートに先行して部分的に本アンケートで設問とした。既存施策の一環である。

(委員長)

・21ページからの満足度を見ると、日常の買物の便利さについては、満足・不満が半々くらい、公共交通機関は満足度が低いように見受けられる。また、重要度では、水や生活道路・通学路・歩道の整備、日常の買物の便利さが上位に来ている一方で、広報板や多文化交流の機会などは、重要度が低いと考えられていることが分かる。日常生活に直接関連しているものはやはり重要度が高いと考えられている。

(委員)

・計画素案に関して、7ページの観光入込客数の11年度目標値の根拠は何か。

(事務局)

・第2次計画に掲げていた目標であるが、達成することができなかったため、引き続き努めていきたいということで第3次計画でも掲げているものである。

(委員)

・観光振興について、「かぐやの夕べ」は向日市の一大イベントとなっており、引き続き多くの入場者を期待しているが、そのためにはバージョンアップをしていかないといけないと考えている。そのための竹の径のインフラ整備など一歩踏み込んだ施策に取り組んでいただきたいと思います。

(事務局)

・おっしゃるとおり「かぐやの夕べ」は本市の一大事業となっている。様々な課題も伺っているので、インフラ整備等も含めてあり方について検討してまいりたい。

(委員長)

・観光入込客数が令和5年度から令和11年度でほぼ倍となっているが、その下の観光消費額は約6倍になっている。この根拠はどうか。

(事務局)

・観光消費額についても、第2次計画の目標を達成できなかったことから引き続き掲げているが、

観光における消費額につなげていきたいという思いから、割合的には多いが重要だと考えており、この数字としている。

(委員)

- ・現在乙訓 3 市町で乙訓商工・観光協議会という団体を構成している。感覚的には、乙訓地域の事業者は観光客が来なくても、管内の住民の消費で生業が成り立っていると思われるが、人口が減ってくると、管内の需要も減ってくることから、観光客に消費してもらうことが必要となる。「お茶の京都」エリアでは、乙訓エリアに比べて 10/7 倍、観光客 1 人当たりの消費額が高くなっている。つまり、観光客が 7 倍しか多くないのに、観光消費額が 10 倍となっており、ここに差がある。入込客数を増やす努力も必要だが、併せてコト・モノを新たに消費してもらうことにも力を入れなくてはならない。
- ・アリーナが完成した場合、アリーナの客数は「観光入込客数」に含まれるのか。

(事務局)

- ・入れたいと考えている。

(委員)

- ・例えばサッカーの例では、アウェーの人は早入りしてコロッケや唐揚げなど地元のおいしいものを消費するなどの事例もあるので、ぜひ参考にさせていただきたい。また、お客さんをお迎えして楽しんでいただくという点からも、この竹の径はちょうどいい距離感なので、有効利用をしていただきたい。
- ・8 ページの「基本方向」や 7 ページにある「検討」という文言だが、例えば、「アリーナを活用した商工業の活性化の方策について、商工会や金融機関とともに検討・実施し、雇用の創出や市域全体への経済効果の波及を目指す」などとしたらどうか。

(事務局)

- ・ご意見を踏まえて検討・修正してまいりたい。

(委員長)

- ・ものづくりの観点で言うと、大山崎町のアート&テクノロジー・ヴィレッジ京都などでは、子ども向けのイベント等もやっていて、関心も高いと思うので、市外ではあるが、連携して積極的に利用するというのも有効ではないか。

(委員)

- ・アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都について、ねらいは伝統文化とテクノロジーの融合による新しい産業の生み出しである。広大な土地であるため、大山崎町商工会等でイベントを行い、大変盛況であり、有効活用できていることから、向日市でも竹の径をどんどんバージョンアップするとともに、このアート&テクノロジー・ヴィレッジ京都も有効活用していただけたら、と思う。

(委員)

- ・京都府と向日市で ZET-valley 協定を締結して進めていると思うが、本計画にこの方針や考えを盛り込んだらどうか。

(事務局)

- ・ZET-valley 構想については、一昨年度に京都府、京都銀行、JR 西日本、本市で協定を締結し、ZET-valley の形成という目標に向けて、連携しながら進めている。本計画にはこの文言は記載していないが、国では 2050 年に温室効果ガスの実質排出ゼロという目標が掲げられており、本市としても、この目標に向けて、太陽光などの再生可能エネルギーの利用促進や、公用車における電動車の導入等の具体的な施策を進める意向で、取組として掲げているところ。

(委員)

- ・ZET-valley 構想については、JR 向日町駅前に来年 4 月にオープンする京都銀行向日町支店の 3 階部分を、京都府が借り受け、脱炭素スタートアップ向けのインキュベーション施設を整備・開設予定となっており、具体的な話が進んでいるので、市民周知の観点からも、本計画に何か記載できるのではないかと考えた。

(事務局)

- ・おっしゃるとおり、京都府においてスタートアップ企業の募集もされている。本市においては、このゼロカーボンに向けた取組の実証実験の場の提供の検討をしているところ。ただ、このZET-valley 構想という大きな目標に対して、本計画にどのように取り入れるのかということがまだ未確定な段階であることから、今回は記載していないが、本計画は毎年見直しを行うことから、今後具体的な事業内容が決定次第、都度見直しを行っていきたいと考えている。

(委員長)

- ・ゼロカーボンについては、現在地元の産業と結びつけて実施していける可能性もあるので、市民の方にも広く知っていただき、興味を持ってもらえるとよい。今後、具体化された際には改定時に前向きに検討されるということなので、了解したい。

(委員)

- ・15 ページの「ゼロカーボンシティの実現」の「市公共施設における排出量の削減」について、具体的にどのような方法で削減していくのか。
- ・17 ページ「地域における避難所運営訓練の実施」について、他市ではトイレトラックを市が保有しており、避難所で活用されているということを聞いたが、本市ではどうか。

(事務局)

- ・温室効果ガスの排出量削減の具体的な数値について、本市において「地球温暖化対策実行計画」を定めており、その協議会で定めた目標である。具体的な取組内容については、この市庁舎も ZEB の建物であるが、本計画に掲げている太陽光発電の設置を始めとして、LED 化の推進やエアコンの補助制度等により、温室効果ガスの縮減に向けて取り組んでいるものである。
- ・トイレトラックについては、本年1月の能登半島地震の際に支援に行った本市職員の意見から、本年度の当初予算においてトイレカーを購入することとし、大型及び小型のトイレカー各1台について購入を進めているところである。

(委員長)

- ・各数値目標がいろいろ記載されているが、それぞれの数値の根拠が個別の計画から持ってきているということであれば、分かるように計画名を記載したらどうか。この計画の独自の目標数値はあるのか。

(事務局)

- ・ご指摘のとおり、本計画のための数値目標もある。また、既存の計画に掲げているものもあるので、計画案策定時には検討する。

(委員長)

- ・17 ページの「災害対策・地域防災の充実」は他のページから比べると数値目標がずいぶん少ない。例えば「災害備蓄物資の計画的な購入」や「自治会・町内会の自主防災組織への器具設置補助」などについては、目標があってもよいのではないかと。

(事務局)

- ・防災については、目標を掲げにくいこともあり、数値目標が少なくなっているが、もう少し検討したい。

(委員)

- ・災害対策について、「自助・共助・公助の連携により」とあるが、具体的に取組目標の中のどれに当たるのか。

(事務局)

- ・取組目標の中で具体的にどの取組が「自助・共助・公助」に当たるとは記載していないが、例えば消防団による地域の活動は共助の取組の一つであり、避難所開設は自助・共助・公助すべての連携のもとに実施するもので、各取組に各要素が含まれている。

(委員)

- ・14 ページ「駅周辺の都市基盤整備」について、東向日駅は一つの玄関口であり、駅周辺は生活にも観光にも様々関係してくると思うが、具体的な整備についてどう考えているか。

- ・39 ページ「男女共同参画社会の実現」の目標数値「男性が育児や介護で休みをとったほうがよいと思う市民の割合」について、少し分かりにくいので説明願いたい。

(事務局)

- ・東向日駅について、構造課題については市としても十分に認識している。阪急の連続立体交差については、多額の費用と時間がかかることから抜本的にはまだ取りかかれていない状況である。まずは JR の東西自由通路の整備から、財政状況を見ながら順次進めていきたいと考えている。認識はしているので、またご意見があればいただきたい。

(委員長)

- ・JR 向日町駅の自由通路については、工事が始まっているのであれば、完成予定時期などを入れると分かりやすくなるのではないかと。また、立体交差の工事は一朝一夕にはなかなか行かない。

(事務局)

- ・男女共同参画社会について、講座の実施や広報による周知を行っているところであり、具体的な目標数値として、男女共同参画の計画の見直しの際に市民アンケートを実施している。今年度予定しているアンケートの中で「男性が育児や介護で休みをとったほうがよい」という設問についても調査を行い、令和 11 年度に同設問の割合 70%を目指している。

(委員)

- ・アリーナが計画されているが、道路の整備がしっかりできるのか心配しているので、市民にも分かりやすいようにしてほしい。
- ・26～27 ページの学校教育の充実の中で「特別支援教育の充実」や「授業のユニバーサルデザイン化」など記載してもらっているが、通常級の児童や支援級の児童、病児や不登校児なども一緒に過ごすことにより、みんなで自然にサポートできるようなモデルができるとよい。

(委員)

- ・26 ページの「学校教育の充実」の「伝統や文化、芸術に関する教育の推進」について、ぜひ子ども時代から様々な産業を経験する場を創っていただければ、後継者問題で困っている伝統産業の分野などを始め、後々産業の活性化につなげることができると思う。

(委員)

- ・アリーナができると入込客数や消費量・金額など一気に増えることから、またいろいろ数値等変わってくると思う。商店街がにぎやかになって、人が行き来する安心・安全なまちというのは、地道にやっていかないといけない。

(委員長)

- ・防災については、皆さん関心が高い。また、アリーナができると計画を大きく変更しないとけないので、そのタイミングの計画策定の際には新しい数値等も検討していただきたい。

(委員)

- ・アリーナ周辺の道路等について、現時点でまだ入りの場所や人・車の流れ等が決まっていないが、京都府がいろいろ調査を始めている。まだ確定していないことがたくさんあることをご理解いただきたい。

(委員長)

- ・第 4 回の委員会が 3 月に予定されているので、場合によっては今後話が進んでいき、内容が確定していったら、現在の表現が若干変わることもあるかもしれないが、現段階ではこれで了承したい。

3 その他連絡事項

①事務局から令和 6 年度デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）について資料説明

②今後の予定について説明

(事務局)

- ・本日いただいたご意見を踏まえ、第3次ふるさと向日市創生計画（案）を作成し、12月から1月にかけてパブリック・コメントを実施する予定。
- ・次回の第4回委員会については、3月下旬の開催を検討しており、パブリック・コメントと計画の最終案についてご報告させていただく予定。

4 閉会

令和6年度 第3回 ふるさと向日市創生計画委員会

日時：令和6年10月31日（木）午前10時～

場所：向日市役所本館3階 第7会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

- ・第3次ふるさと向日市創生計画（素案）について

3 その他

4 閉 会

<配布資料>

資料1 向日市のまちづくりに関する市民アンケート結果

資料2 【参考】向日市のまちづくりに関する市民アンケート結果（令和元年実施分）

資料3 第3次ふるさと向日市創生計画（素案）

資料4 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）について

ふるさと向日市創生計画委員会 委員

	役職、団体等	氏名
委員長	神戸国際大学経済学部 教授	中村 智彦
副委員長	向日市商工会 会長	高橋 信吾
委員	向日市観光協会 会長	稲本 收一
	京都府山城広域振興局 副局長	中島 貴史
	京都銀行 向日町支店長 兼 東向日町支店長	大垣 和吾
	連合京都乙訓地域協議会 三菱電機労働組合京都支部執行委員長	船倉 哲生
	京都リビング新聞社 編集長	山舗 恵子
	公募市民	松井 恒夫
	公募市民	小林 美香
	公募市民	大田 有紀

令和6年7月現在

向日市のまちづくりに関する市民アンケート

結果

目次

■ 調査の概要

調査の概要	1
-------	---

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 年齢	2
問2 居住地	3
問3 居住歴	3
問4 居住地を向日市に決めた理由	4

■ まちの住み心地や、まちの施策について

問5 向日市の住み心地	5
問6 良いと思う点	7
問7 良くないと思う点	9
問8 定住意向	11
問9 雇用・経済の活発化	13
問10 少子化対策	15
問11 安心・安全	17
問12 まちの将来	19

■ 施策の満足度・重要度について

問13 満足度	21
重要度	23

■ ほかに個別の事業に関する設問について

問14 運動やスポーツをする頻度	27
問15 運動やスポーツを行いたい環境	29

■ 自由意見

自由意見	31
------	----

向日市のまちづくりに関する市民アンケート 結果報告

■ 調査の概要

1 調査目的

まちづくりに関して、市民の皆様が日頃感じておられることを把握し、施策の推進に反映する。

2 調査方法

調査名称	向日市のまちづくりに関する市民アンケート
調査地域	向日市全域
対象者	18歳以上の市民
対象抽出方法	無作為抽出
抽出数	2,000件
実施期間	令和6年7月10日から7月31日まで
調査方法	郵送により配布・回収

3 調査票の回収状況

調査票の有効回収数は787件、有効回収率39.4%の結果を得ました。

4 分析についての注意点

- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計値が100%にならない場合があります。
- ・「2つ以上を選択回答」の設問については、百分率の合計が100%を超える場合があります。
- ・図中で「n」は回答者数を示しています。

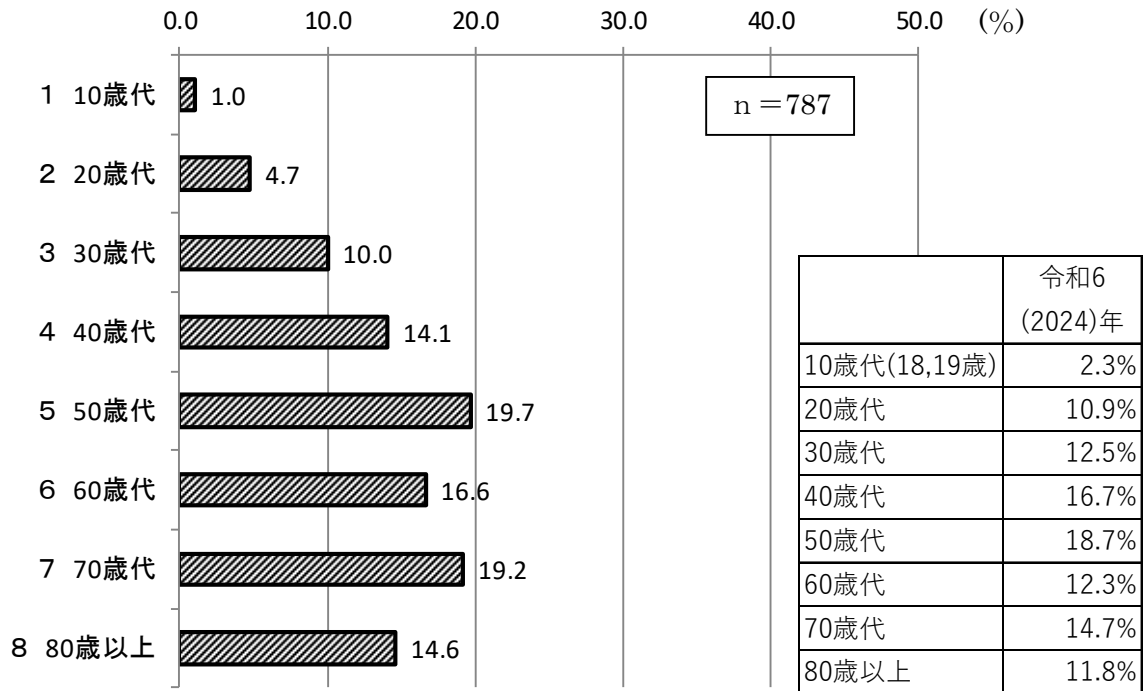
5 調査項目

回答者属性	年齢、居住地、居住歴、向日市選択理由
住み心地やまちづくりの取組について	住み心地や定住意向について ○向日市の住み心地、良い点、良くない点 ○定住意向
	まちづくり課題について ○雇用や経済の活性化について ○少子化対策について ○地域の安心・安全について
	まちの将来について ○まちの将来について
	施策の満足度・重要度について ○文化やコミュニティに関すること。 ○健康や福祉に関すること。 ○にぎわいや活力に関すること。 ○快適な生活環境に関すること。 ○道路の整備に関すること。 ○安心・安全に関すること。 ○土地利用や都市整備に関すること。 ○情報発信全般に関すること。 ○まちづくり全般に関すること。
	ほか個別事業に関すること ○生涯スポーツに関すること
自由意見	自由記述

■ あなた（回答者）ご自身について

問 1 あなたの年齢は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。（令和6年7月1日現在でお答えください）

1 10歳代	4 40歳代	7 70歳代	
2 20歳代	5 50歳代	8 80歳以上	
3 30歳代	6 60歳代		

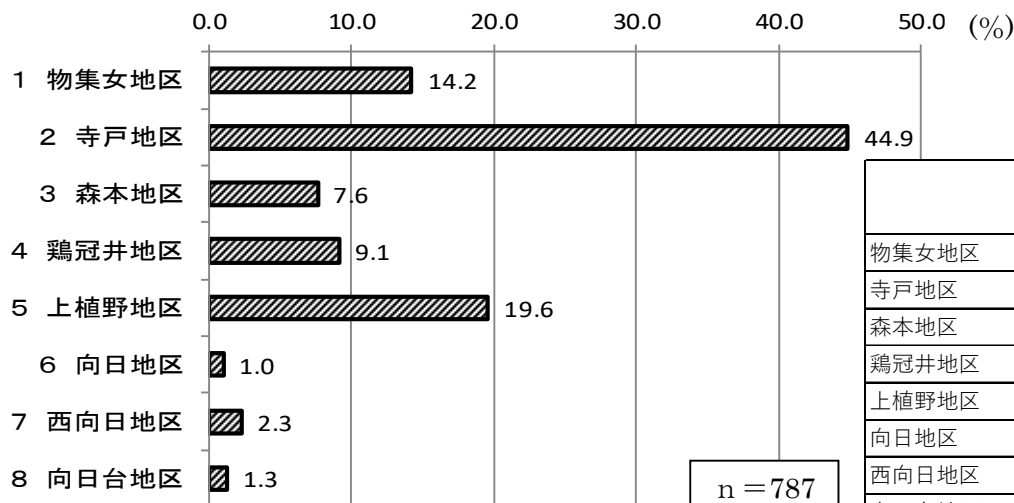


【60歳以上で約半数を占める】

- 年代別にみると、50歳代が19.7%と最も高い比率を占め、また、60歳代以上が50.4%と半数以上の回答を占めています。
- 向日市現状（R6）の年齢層と比べて回答者の年齢層は高くなっています。

問2 あなたのお住まいは。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 物集女地区	4 鶏冠井地区	7 西向日地区
2 寺戸地区	5 上植野地区	8 向日台地区
3 森本地区	6 向日地区	



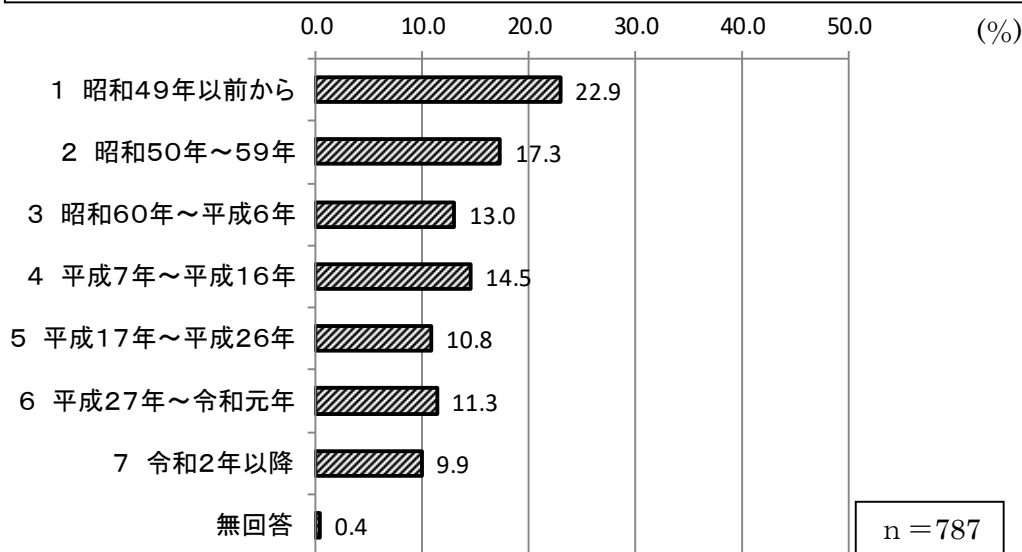
	令和6 (2024)年
物集女地区	14.7%
寺戸地区	45.1%
森本地区	7.7%
鶏冠井地区	8.8%
上植野地区	18.8%
向日地区	1.6%
西向日地区	2.3%
向日台地区	1.1%

【現状の地区別の人口構成に近似した回答】

○回答者を地区別にみると、各地区において、向日市現状（R6）に近い回答が得られています。

問3 あなたはいつ頃から向日市にお住まいですか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 昭和49年(1974年)以前から
2 昭和50年(1975年)～昭和59年(1984年)
3 昭和60年(1985年)～平成6年(1994年)
4 平成7年(1995年)～平成16年(2004年)
5 平成17年(2005年)～平成26年(2014年)
6 平成27年(2015年)～令和元年(2019年)
7 令和2年(2020年)以降



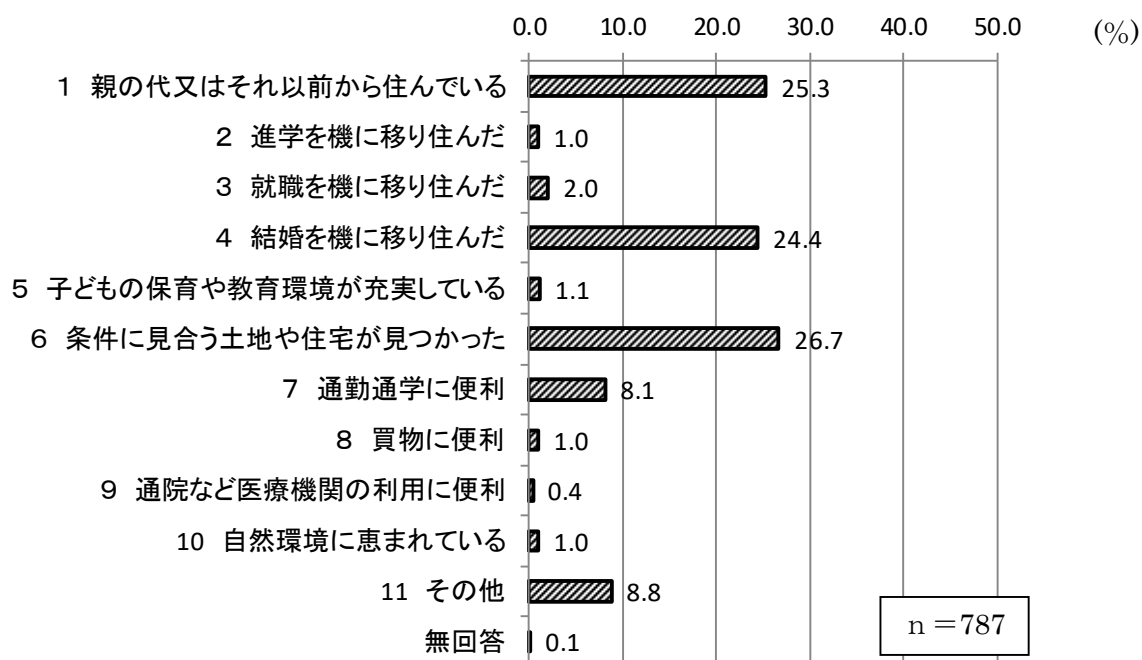
【おおよそ30年以上居住する回答者が半数】

○平成6年（1994年）以前（30年以前）から居住する回答者が53.2%と過半数を占めています。居住歴が5年未満（令和2年以降）からの回答は、9.9%得られています。

問4 お住まいを向日市に決めたのはなぜですか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

1 親の代又はそれ以前から住んでいる	
2 進学を機に移り住んだ	
3 就職を機に移り住んだ	
4 結婚を機に移り住んだ	
5 子どもの保育や教育環境が充実している	
6 条件に見合う土地や住宅が見つかった	
7 通勤通学に便利	
8 買物に便利	
9 通院など医療機関の利用に便利	
10 自然環境に恵まれている	
11 その他（具体的に	

--



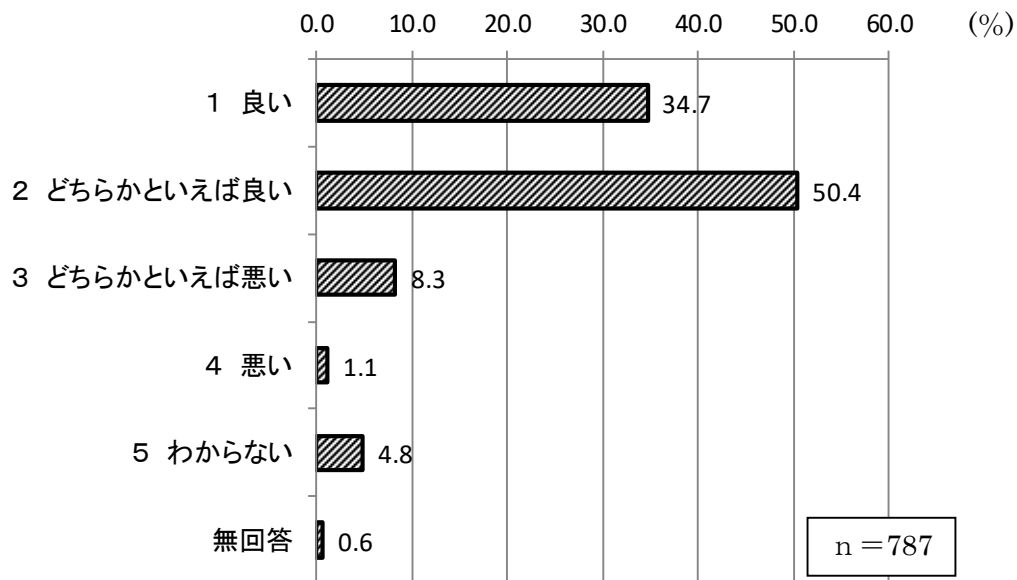
【住宅・用地の確保などが居住の契機に】

○居住地を向日市に決めた理由としては、「条件に見合う土地や住宅が見つかった」が26.7%と多く、以下、「親の代から住んでいる」「結婚を機に移り住んだ」が続いています。

■ まちの住み心地や、まちの施策について

問5 あなたは向日市の住み心地について、どう思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

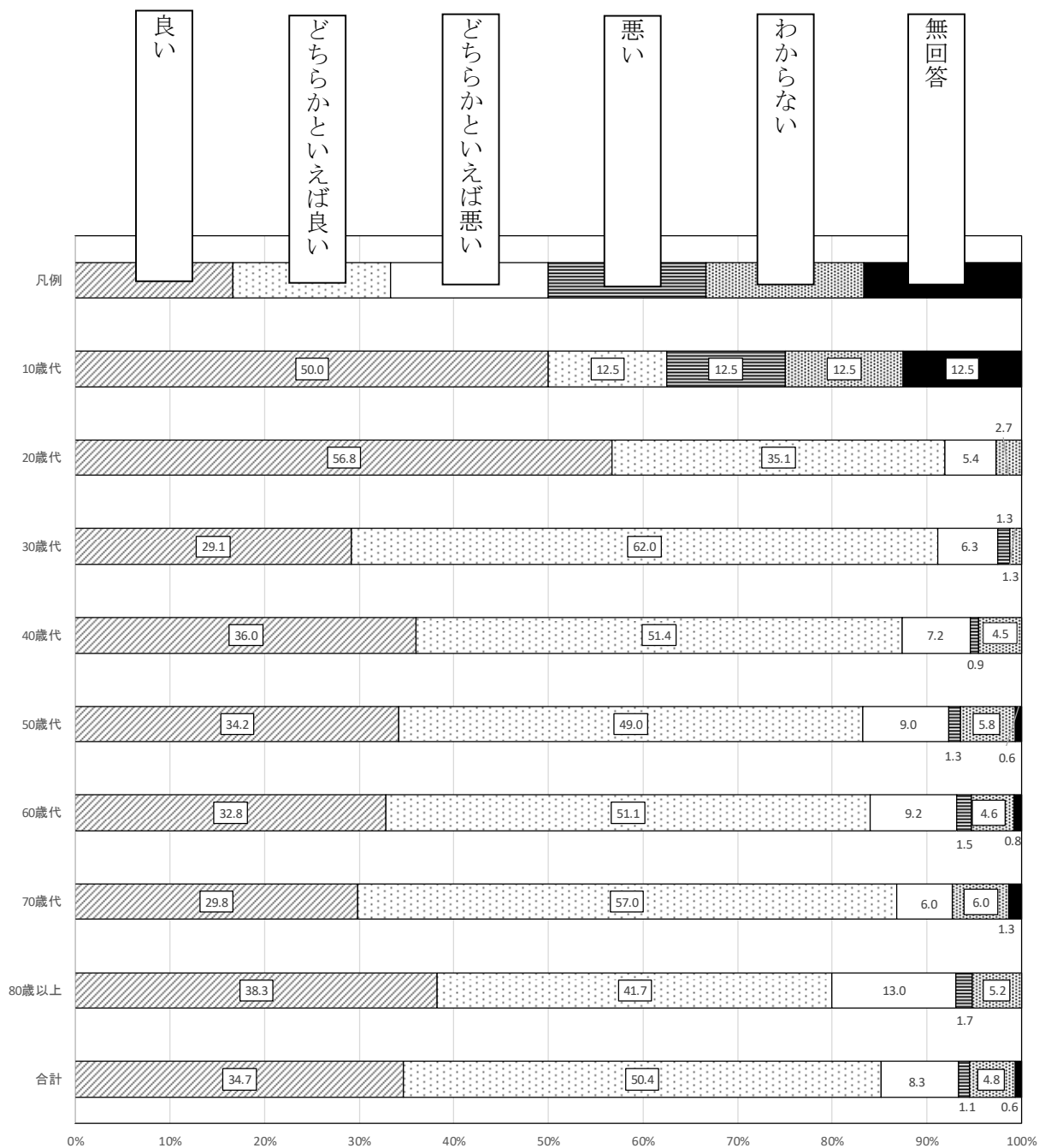
- | | |
|--------------|---------|
| 1 良い | 4 悪い |
| 2 どちらかといえば良い | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば悪い | |



【住みよいと評価する意見が8割超え】

- 向日市の住み心地については、「良い」が34.7%、「どちらかといえば良い」が50.4%で、合わせて85.1%の市民が向日市を住み心地の良いまちだと評価しています。
- 「悪い」と評価する意見は1.1%、「どちらかといえば悪い」も8.3%にとどまっています。

【年代別集計】

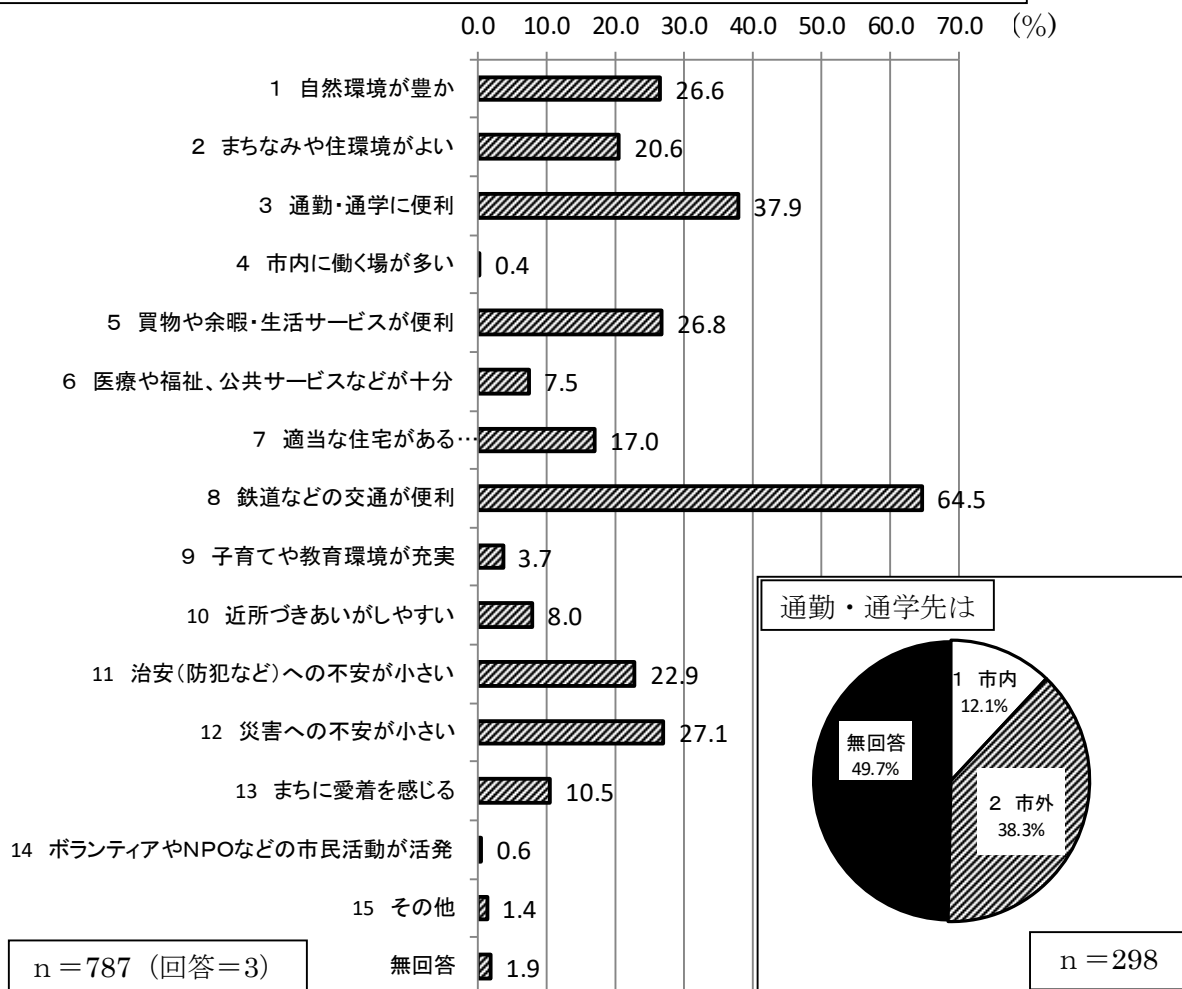


【住みよいと評価する意見が8割程度】

○年代別にみると、「良い」と評価する意見は20歳代で56.8%と最も多くなっています。
 ○「良い」「どちらかといえば良い」を合わせると、10歳代を除く全ての年代において、8割程度が向日市の住み心地を良いと評価しています。

問6 向日市に住んでいて、良いと思う点は何ですか。次の中から3つまで選んで、右欄にご記入ください。

- 1 自然環境が豊か
- 2 まちなみや住環境がよい
- 3 通勤・通学に便利（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）
- 4 市内に働く場が多い
- 5 買物や余暇・生活サービスが便利
- 6 医療や福祉、公共サービスなどが十分
- 7 適当な住宅がある（広さや立地、手頃な価格・家賃）
- 8 鉄道などの交通が便利
- 9 子育てや教育環境が充実
- 10 近所づきあいがしやすい
- 11 治安（防犯など）への不安が小さい
- 12 災害への不安が小さい
- 13 まちに愛着を感じる
- 14 ボランティアやNPOなどの市民活動が活発
- 15 その他（具体的に ）



【良い点は利便性】

○住んでいて良い点としては、「鉄道などの交通が便利」が64.5%と突出して多く選択され、「通勤・通学に便利」が37.9%で続くなど、利便性を評価する意見が上位となっています。

○以下、「災害への不安が小さい」(27.1%)、「自然環境が豊か」(26.6%)がそれぞれ3割程度の意見を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	鉄道などの交通が便利 50.0%	まちに愛着を感じる 37.5%	自然環境が豊か 他 25.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	鉄道などの交通が便利 48.6%	買い物や余暇・生活サービスが便利 35.1%	まちなみや住環境がよい 32.4%
	通勤・通学に便利 48.6%	治安（防犯など）への不安が小さい 35.1%	

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	鉄道などの交通が便利 69.6%	通勤・通学に便利 40.5%	買い物や余暇・生活サービスが便利 34.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	鉄道などの交通が便利 68.5%	通勤・通学に便利 47.7%	買い物や余暇・生活サービスが便利 42.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	鉄道などの交通が便利 70.3%	通勤・通学に便利 45.8%	まちなみや住環境が良い 25.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	鉄道などの交通が便利 66.4%	通勤・通学に便利 41.2%	まちなみや住環境が良い 29.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	鉄道などの交通が便利 66.9%	災害への不安が小さい 41.7%	自然環境が豊か 33.8%

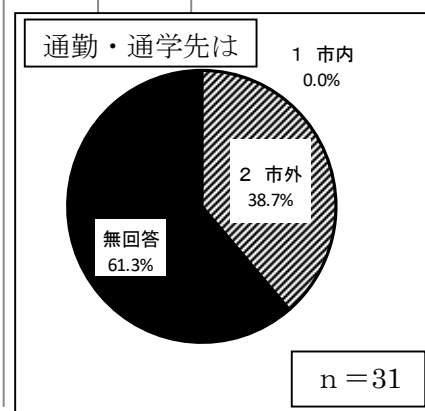
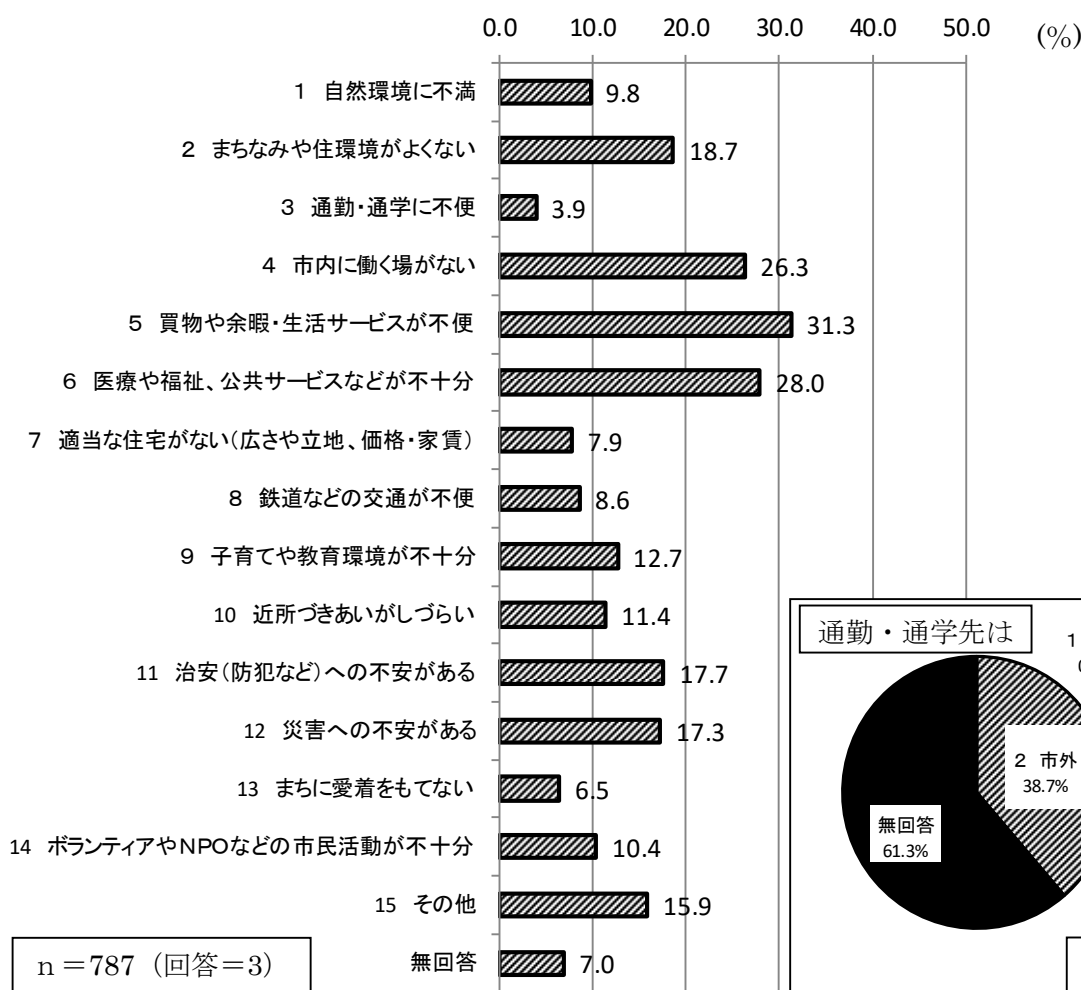
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	鉄道などの交通が便利 50.4%	災害への不安が小さい 45.2%	自然環境が豊か 35.7%

【全ての年代で「鉄道などの交通が便利」が第 1 位】

- 年代別にみると、「鉄道などの交通が便利」が全ての年代で第 1 位となっています。
- 20～60 歳代で「通勤・通学に便利」が第 2 位（20 歳代では同率 1 位）、70～80 歳以上では「災害への不安が小さい」が第 2 位になっているほか、10～40 歳代で「買い物や余暇・生活サービスが便利」が第 3 位（20 歳代では同率 2 位）、10 歳代及び 50～60 歳代で「まちなみや住環境がよい」が第 3 位、10 歳代及び 70～80 歳以上で「自然環境が豊か」が第 3 位となっています。

問7 向日市に住んでいて、良くないと思う点は何ですか。次のなかから3つまで選んで、右欄にご記入ください。

- 1 自然環境に不満
- 2 まちなみや住環境が良くない
- 3 通勤・通学に不便（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）
- 4 市内に働く場がない
- 5 買物や余暇・生活サービスが不便
- 6 医療や福祉、公共サービスなどが不十分
- 7 適当な住宅がない（広さや立地、価格・家賃）
- 8 鉄道などの交通が不便
- 9 子育てや教育環境が不十分
- 10 近所づきあいがしづらい
- 11 治安（防犯など）への不安がある
- 12 災害への不安がある
- 13 まちに愛着をもてない
- 14 ボランティアやNPOなどの市民活動が不十分
- 15 その他（具体的に _____）



【「買物や余暇・生活サービス」「医療・福祉・公共サービス」「働く場」が上位】

○住んでいて良くない点としては、「買物や余暇・生活サービスが不便」が31.3%と最も多くの意見を集め、以下「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」(28.0%)、「市内に働く場がない」(26.3%)の2項目が2割以上となっています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 37.5%	まちなみや住環境がよくない 25.0%	自然環境に不満 他 12.5%
	その他 37.5%		

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	市内に働く場がない 27.0%	買物や余暇・生活サービスが不便 24.3%	子育てや教育環境が不十分 16.2%
	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 27.0%		災害への不安がある 16.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 31.6%	子育てや教育環境が不十分 30.4%	まちなみや住環境がよくない 24.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 27.9%	市内に働く場がない 27.0%	買物や余暇・生活サービスが不便 25.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 30.3%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 26.5%	市内に働く場がない 25.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 31.3%	市内に働く場がない 30.5%	災害への不安がある 23.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 35.1%	買物や余暇・生活サービスが不便 32.5%	市内に働く場がない 31.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	買物や余暇・生活サービスが不便 38.3%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 32.2%	治安（防犯など）への不安がある 18.3%
			災害への不安がある 18.3%

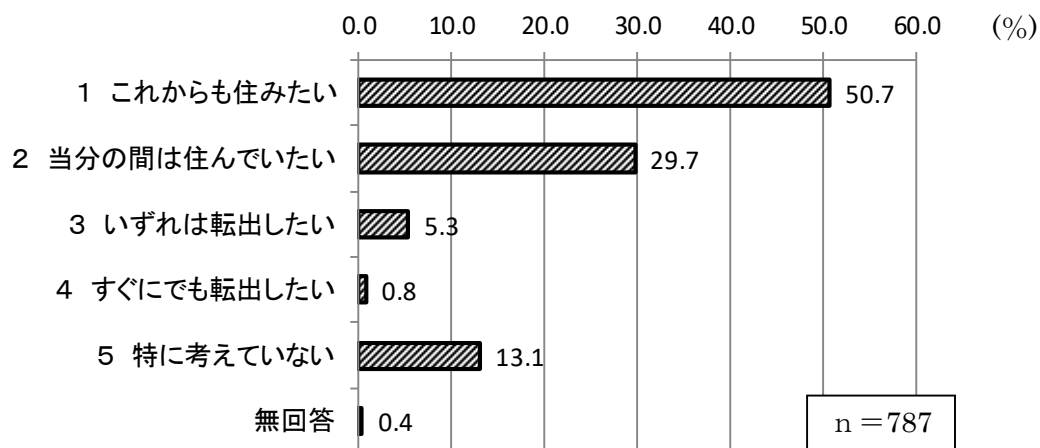
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

○幅広い年代で「買物や余暇・生活サービスが不便」「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」「市内に働く場がない」が上位項目となっています。

○10 歳代では「まちなみや住環境がよくない」、30 歳代では「子育てや教育環境が不十分」が 2 位となっています。

問8 あなたはこれからも向日市に住みたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

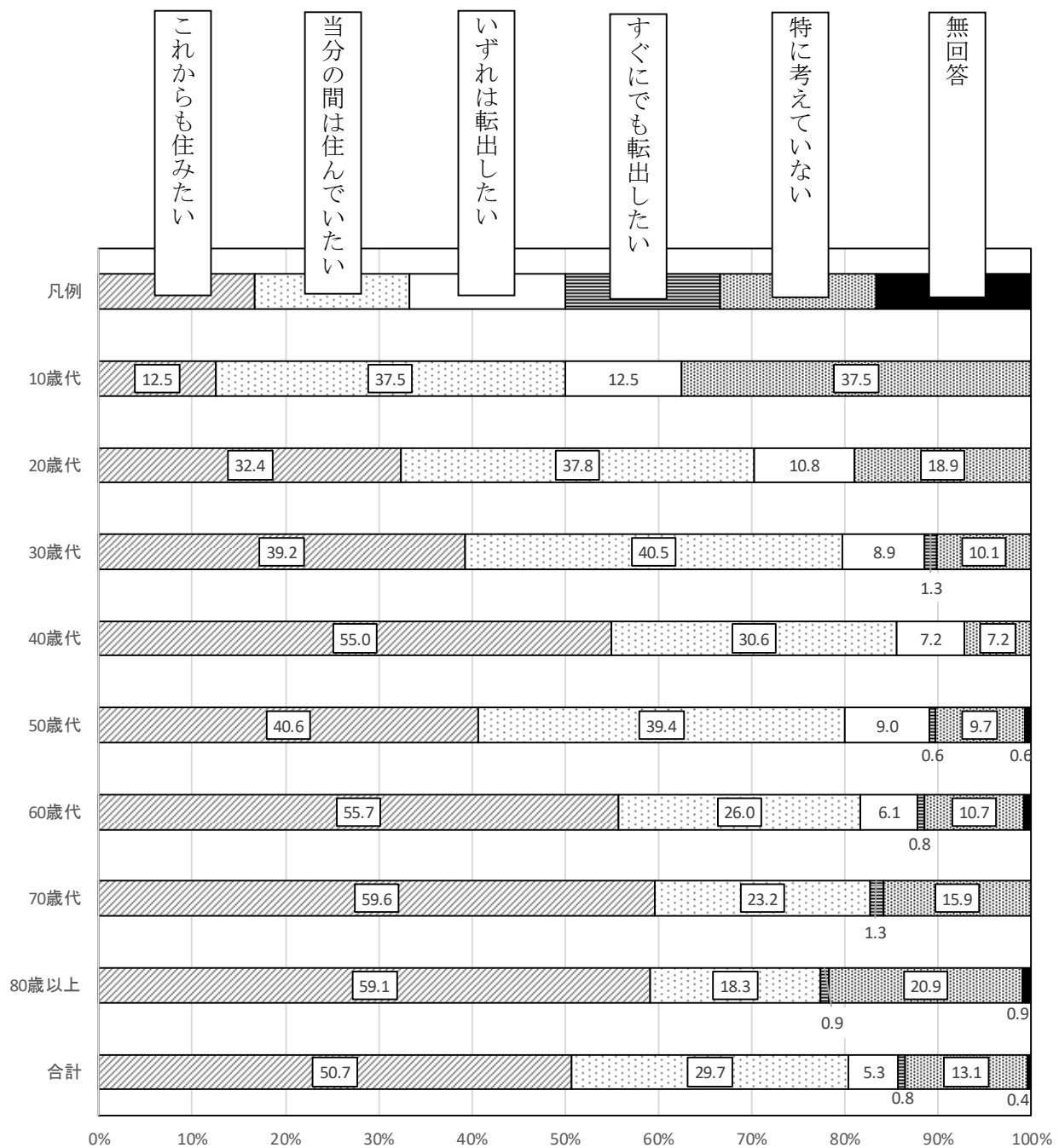
1 これからも住みたい 2 当分の間は住んでいたい 3 いずれは転出したい 4 すぐにでも転出したい 5 特に考えていない	
---	--



【8割が継続的な定住意向】

○向日市に対する定住意向は「これからも住みたい」（50.7%）と「当分の間は住んでいたい」（29.7%）を合わせて、80.4%が継続的な定住意向を示しています。「いずれは転出したい」「すぐにでも転出したい」は合わせて6.1%にとどまっています。

【年代別集計】



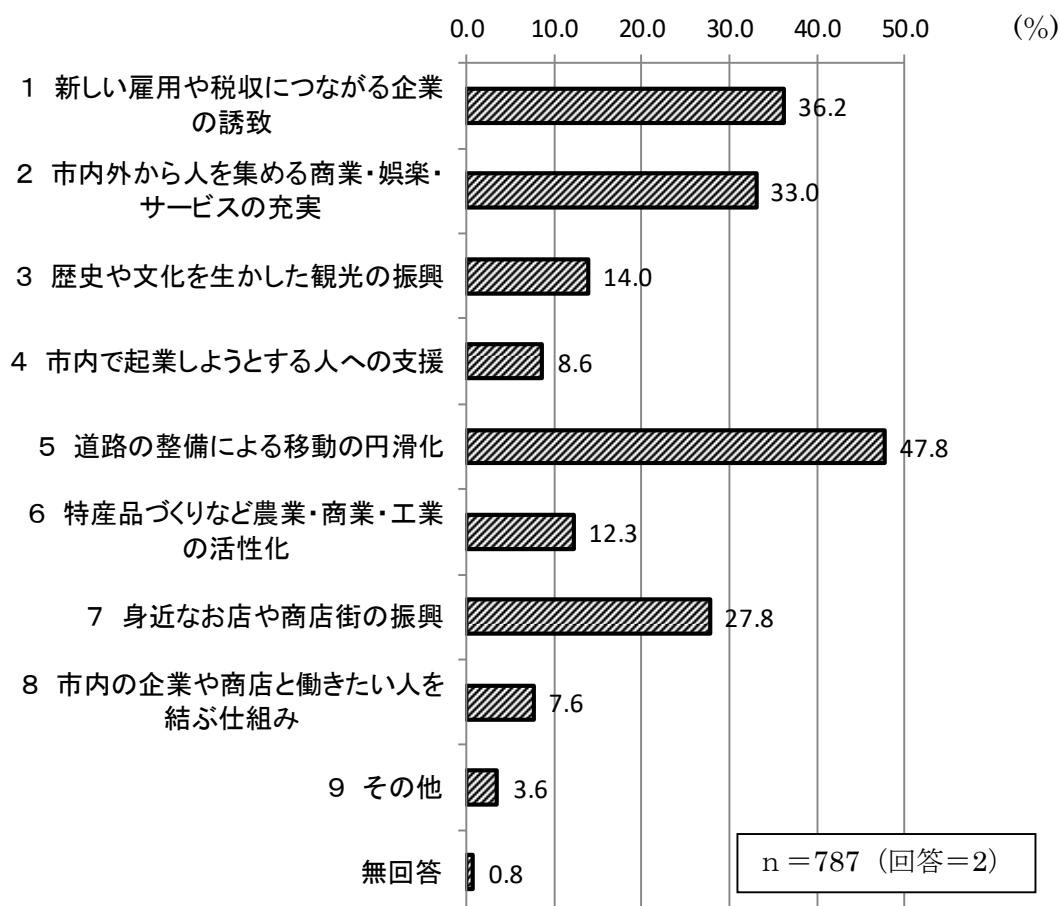
【ほぼすべての年代で7割以上が定住意向を示す】

○年代別にみると、「これから住みたい」「当分の間は住んでいたい」を合わせた定住意向は10歳代を除くすべての年代で7割以上となっています。

○10歳代では定住意向は50.0%ですが、「いずれは転出したい」という転出意向も12.5%にとどまっています。

問9 雇用やまちの経済を活発にしていくためには、どのような取組みが大切だとお考えですか。特に大切だと思うものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 新しい雇用や税収につながる企業の誘致
- 2 市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実
- 3 歴史や文化を生かした観光の振興
- 4 市内で起業しようとする人への支援
- 5 道路の整備による移動の円滑化
- 6 特産品づくりなど農業・商業・工業の活性化
- 7 身近なお店や商店街の振興
- 8 市内の企業や商店と働きたい人を結ぶ仕組み
- 9 その他（具体的に



【「移動の円滑化」「企業の誘致」「商業・娯楽・サービスの充実」が上位項目】

○雇用や経済の活発化のためには、「道路の整備による移動の円滑化」が大切とする意見が最も多く、47.8%となっています。続いて「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」(36.2%)、「市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実」(33.0%)となっており、3割以上の回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 75.0%	道路の整備による移動の円滑化 62.5%	身近なお店や商店街の振興 25.0%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 43.2%	身近なお店や商店街の振興 35.1%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 29.7%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	道路の整備による移動の円滑化 55.7%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 46.8%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 34.2%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	道路の整備による移動の円滑化 55.7%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 43.2%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 36.0%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	道路の整備による移動の円滑化 45.8%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 34.8%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 31.0%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	道路の整備による移動の円滑化 50.4%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 37.4%	身近なお店や商店街の振興 26.7%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	道路の整備による移動の円滑化 50.3%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 41.1%	身近なお店や商店街の振興 28.5%

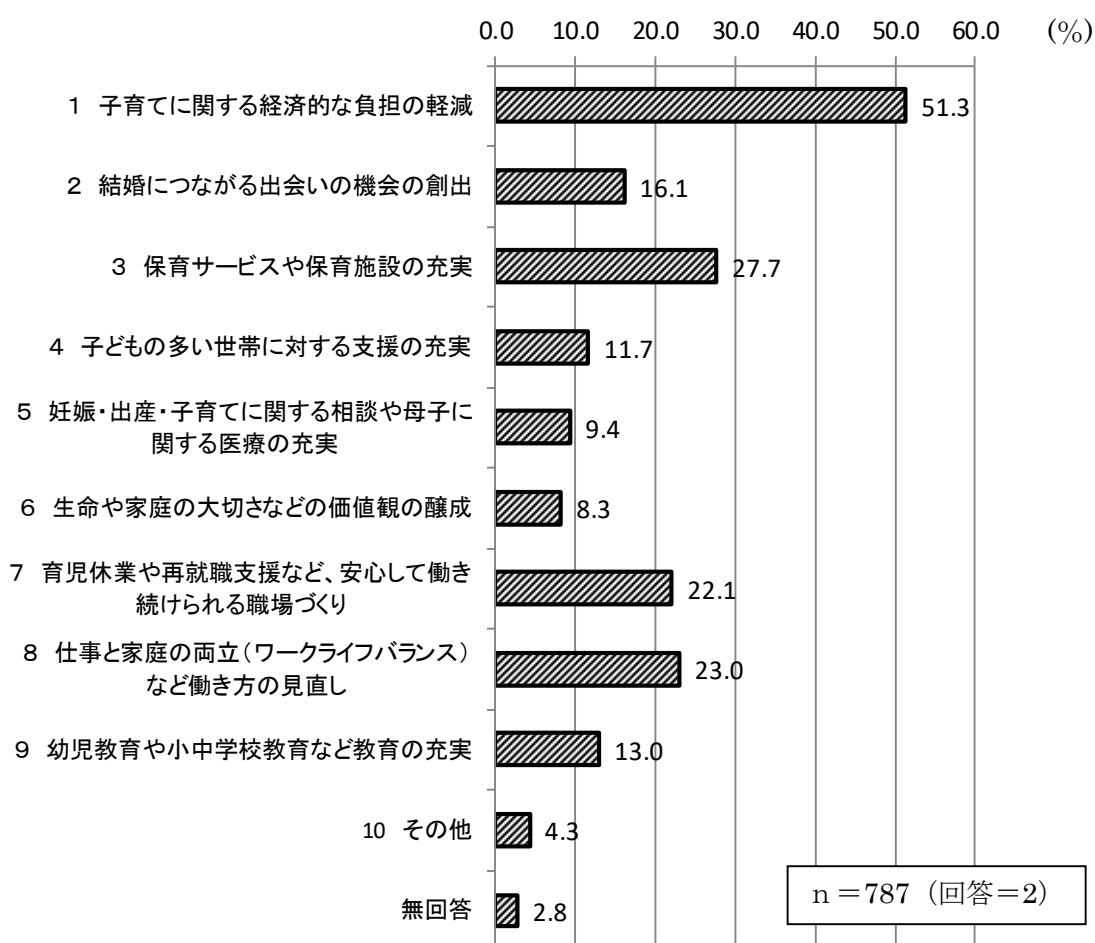
	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	道路の整備による移動の円滑化 44.3%	身近なお店や商店街の振興 40.0%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 36.5%

【各年代とも上位項目は同様の傾向】

○年代別にみると、20 歳代を除く全ての年代において「道路の整備による移動の円滑化」が約半数の回答を集めています。また、「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」、「市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実」も幅広い年代で上位項目となっています。

問10 少子化に歯止めをかけるためには、特にどんな取組みが大切だとお考えですか。特に大切だと思うものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 子育てに関する経済的な負担の軽減
- 2 結婚につながる出会いの機会の創出
- 3 保育サービスや保育施設の充実
- 4 子どもの多い世帯に対する支援の充実
- 5 妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実
- 6 生命や家庭の大切さなどの価値観の醸成
- 7 育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり
- 8 仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し
- 9 幼児教育や小中学校教育など教育の充実
- 10 その他（具体的に



【子育ての経済的な負担の軽減に多くの回答】

- 少子化対策として力を入れることとしては、「子育てに関する経済的な負担の軽減」が突出して多く選択されています。
- 「保育サービスや保育施設の充実」(27.7%)や「仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し」(23.0%)、「育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり」(22.1%)など、仕事と育児の両立に関することも多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 75.0%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 37.5%	保育サービスや保育施設の充実 他 12.5%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 64.9%	保育サービスや保育施設の充実 他 32.4%	子どもの多い世帯に対する支援の充実 18.9%
			仕事と家庭の両立など働き方の見直し 18.9%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 69.6%	保育サービスや保育施設の充実 32.9%	仕事と家庭の両立など働き方の見直し 24.1%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 56.8%	保育サービスや保育施設の充実 34.2%	仕事と家庭の両立など働き方の見直し 27.9%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 52.9%	保育サービスや保育施設の充実 23.9%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 23.2%
			仕事と家庭の両立など働き方の見直し 23.2%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 47.3%	保育サービスや保育施設の充実 33.6%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 24.4%
			仕事と家庭の両立など働き方の見直し 24.4%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 45.0%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 26.5%	仕事と家庭の両立など働き方の見直し 25.2%

	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	子育てに関する経済的な負担の軽減 38.3%	結婚につながる出会いの機会の創出 24.3%	保育サービスや保育施設の充実 20.0%
		育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 24.3%	

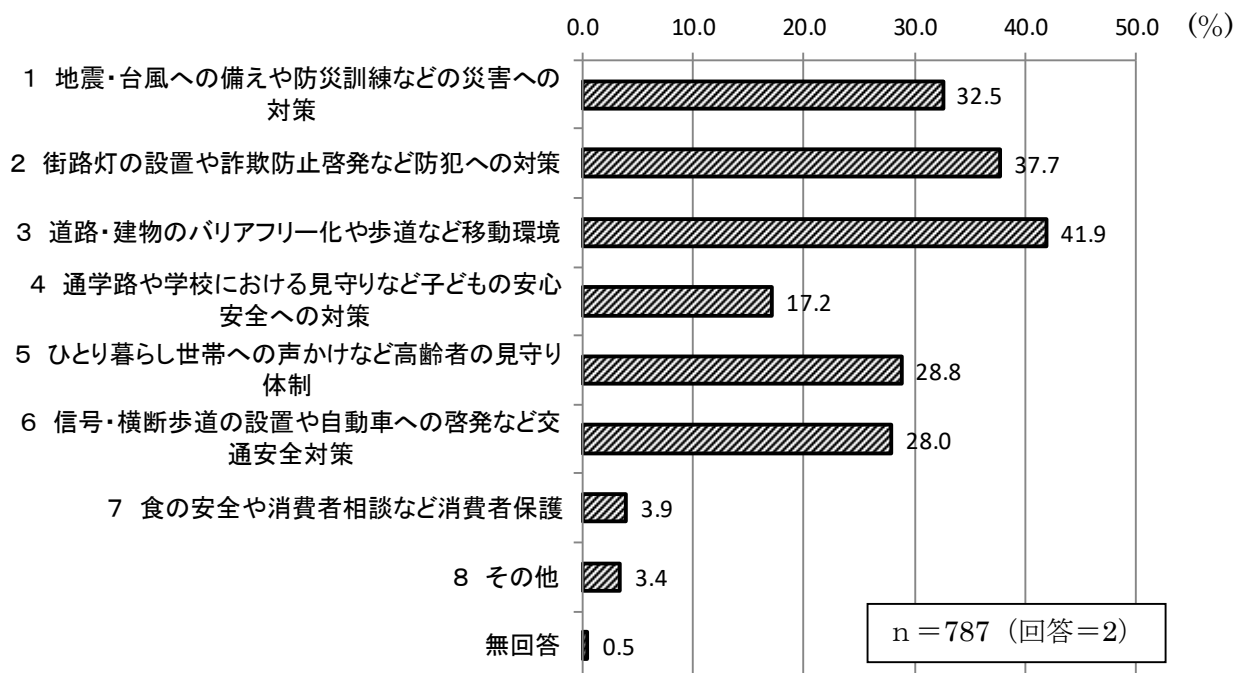
【全ての年代で「子育てに関する経済的な負担の軽減」が第1位】

○年代別にみると、全ての年代で「子育てに関する経済的な負担の軽減」が第1位となっています。

○20～60 歳代では「保育サービスや保育施設の充実」が第2位、10 歳代と 70～80 歳以上では「育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり」が第2位となっているほか、幅広い年代で「仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し」が第3位となっています。

問 1 1 あなたが暮らしている地域の安心・安全のためには、どのような取組みが大切だとお考えですか。特に大切だと思うものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策
- 2 街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策
- 3 道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境
- 4 通学路や学校における見守りなど子どもの安心安全への対策
- 5 ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制
- 6 信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策
- 7 食の安全や消費者相談など消費者保護
- 8 その他（具体的に ）



【多様な分野への関心】

○「道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境」の41.9%をはじめ、「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」(37.7%)、「地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策」(32.5%)、の3項目が3割以上、「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制」(28.8%)、「信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策」(28.0%)の2項目が3割近くとなっており、安全・安心に関する多様な分野への関心を示す結果となりました。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 62.5%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 50.0%	地震・台風への備えや防災訓練 などの災害への対策 25.0% 信号・横断歩道の設置や自動車へ の啓発など交通安全対策 25.0% 食の安全や消費者相談など消費 者保護 25.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	地震・台風への備えや防 災訓練などの災害への対 策 48.6%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 43.2%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 40.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	通学路や学校における見 守りなど子どもの安心安 全への対策 48.1%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 45.6%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 35.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 47.7%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 39.6%	信号・横断歩道の設置や 自動車への啓発など交通 安全対策 35.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 48.4%	地震・台風への備えや防 災訓練などの災害への対 策 36.8%	街路灯の設置や詐欺防止啓発な ど防犯への対策 32.9% 信号・横断歩道の設置や自動車へ の啓発など交通安全対策 32.9%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 43.5%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 38.9%	地震・台風への備えや防災訓練 などの災害への対策 29.9% ひとり暮らし世帯への声かけな ど高齢者の見守り体制 29.9% 信号・横断歩道の設置や自動車へ の啓発など交通安全対策 29.9%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	ひとり暮らし世帯への声 かけなど高齢者の見守り 体制 47.0%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 38.4%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 36.4%

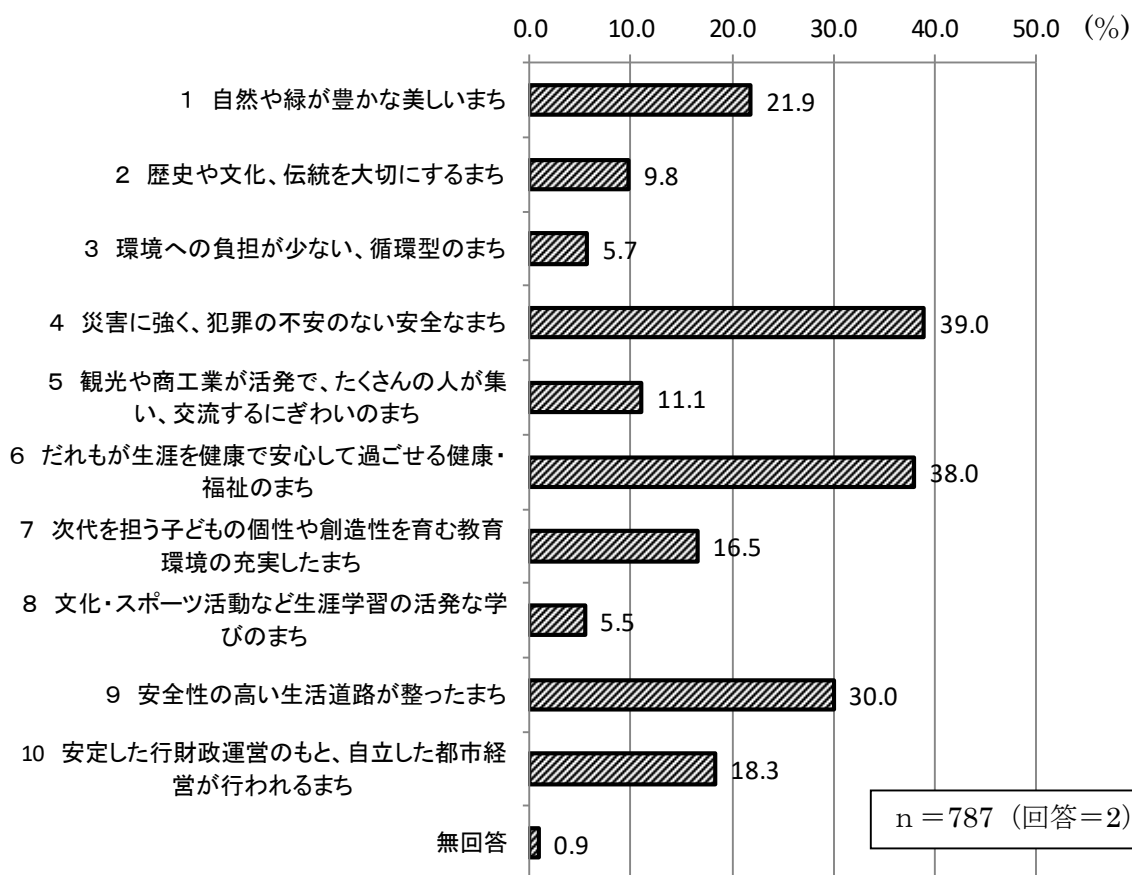
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	ひとり暮らし世帯への声 かけなど高齢者の見守り 体制 47.0%	街路灯の設置や詐欺防止 啓発など防犯への対策 34.8%	道路・建物のバリアフリ ー化や歩道など移動環境 33.9%

【ライフステージに応じて関心を持つ安心・安全の分野も変化】

○年代別にみると、40～60 歳代で「道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境」が第 1 位、70～80 歳以上では「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制」が第 1 位となっているほか、「通学路や学校における見守りなど子どもの」が 30 歳代で第 1 位、となっており、年代（ライフステージ）によって関心をもつ分野が変化しています。

問12 今後、向日市がどのようなまちであってほしいとお考えですか。特にあてはまるものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 自然や緑が豊かな美しいまち
- 2 歴史や文化、伝統を大切にするまち
- 3 環境への負担が少ない、循環型のまち
- 4 災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち
- 5 観光や商工業が活発で、たくさんの人が集い、交流するにぎわいのまち
- 6 だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち
- 7 次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち
- 8 文化・スポーツ活動など生涯学習の活発な学びのまち
- 9 安全性の高い生活道路が整ったまち
- 10 安定した行財政運営のもと、自立した都市経営が行われるまち



【「安心」「安全」「健康」に多くの回答】

○上位の回答としては、「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」(39.0%) が第1位、「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」(38.0%)、「安全性の高い生活道路が整ったまち」(30.0%) と続いており、誰にとっても身近な事柄である安心・安全・健康に関する項目が多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 37.5%	自然や緑が豊かな美しいまち 他 29.1%	歴史や文化、伝統を大切に するまち 他 12.5%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 45.9%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 29.7%	安全性の高い生活道路が整ったまち 24.3%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち 41.8%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 39.2%	安全性の高い生活道路が整ったまち 35.4%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 38.7%	安全性の高い生活道路が整ったまち 37.8%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 29.7%
			次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち 29.7%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 40.6%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 33.5%	安全性の高い生活道路が整ったまち 31.0%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 46.6%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 34.4%	安全性の高い生活道路が整ったまち 30.5%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 47.0%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 38.4%	自然や緑が豊かな美しいまち 25.2%
			安全性の高い生活道路が整ったまち 25.2%

	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 42.6%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 40.9%	安全性の高い生活道路が整ったまち 25.2%

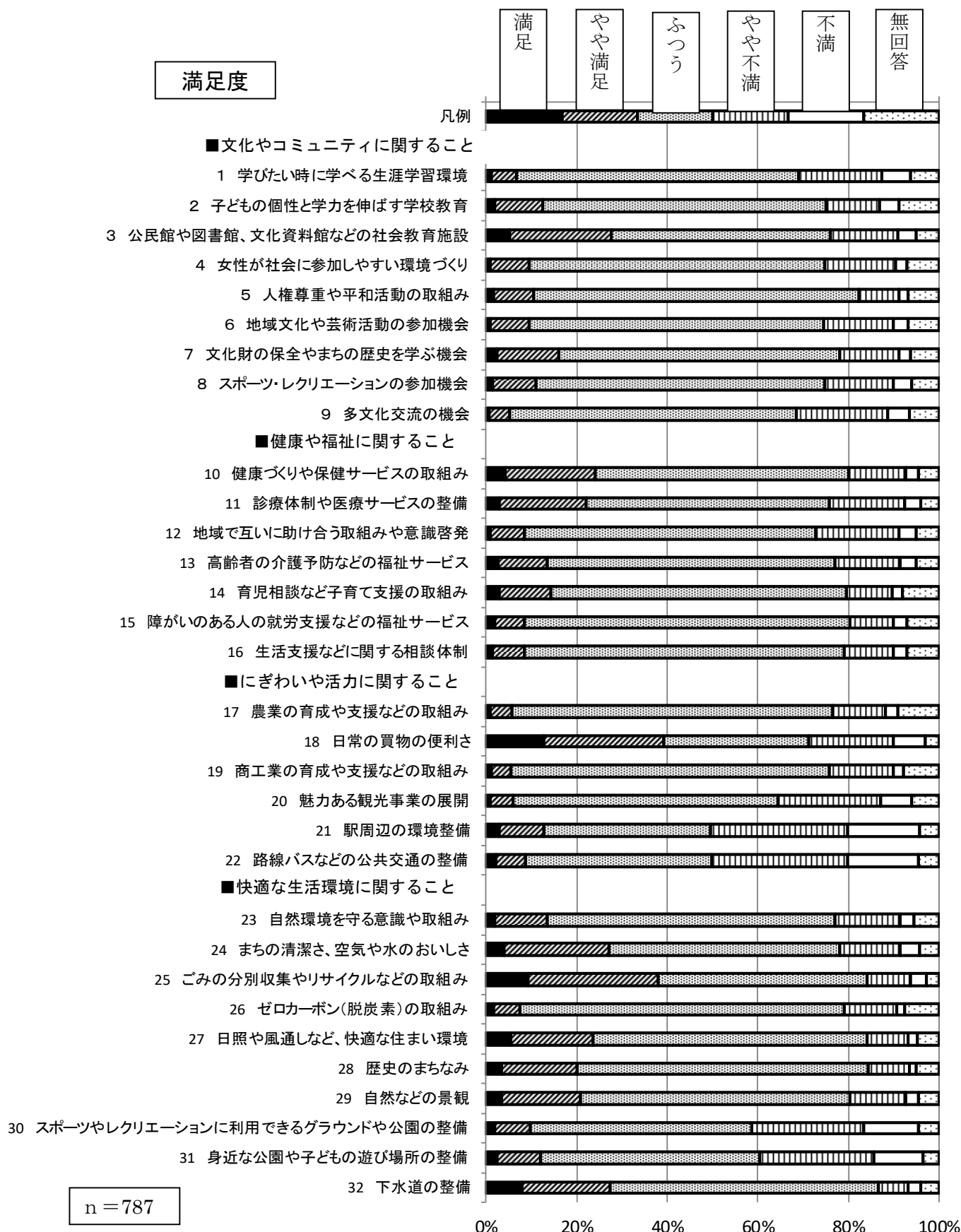
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

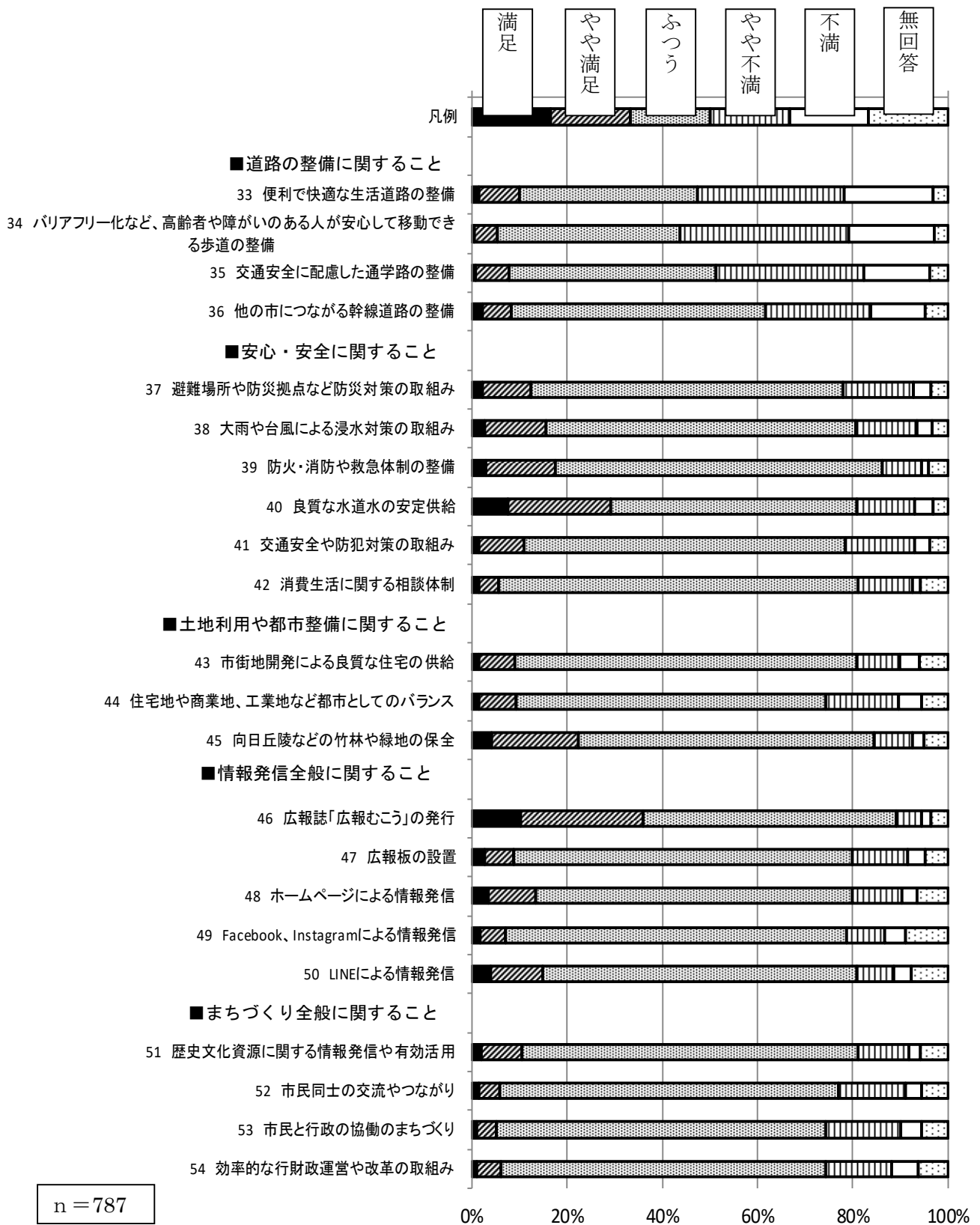
○年代別にみると、順位は異なりますが、全ての年代で「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」「安全性の高い生活道路が整ったまち」の3項目が上位を占めています。

○30～40 歳代では「次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち」が上位に入っており、年代によって関心をもつ分野が変化しています。

■ 施策の満足度・重要度について

問 13 あなたは、まちの住み心地や行政の施策について、日ごろどのように感じておられますか。また、今後の重要性について、どのようにお考えですか。回答例にならって、今のお気持ちに最も近い番号を1つ選んで○印をつけてください。





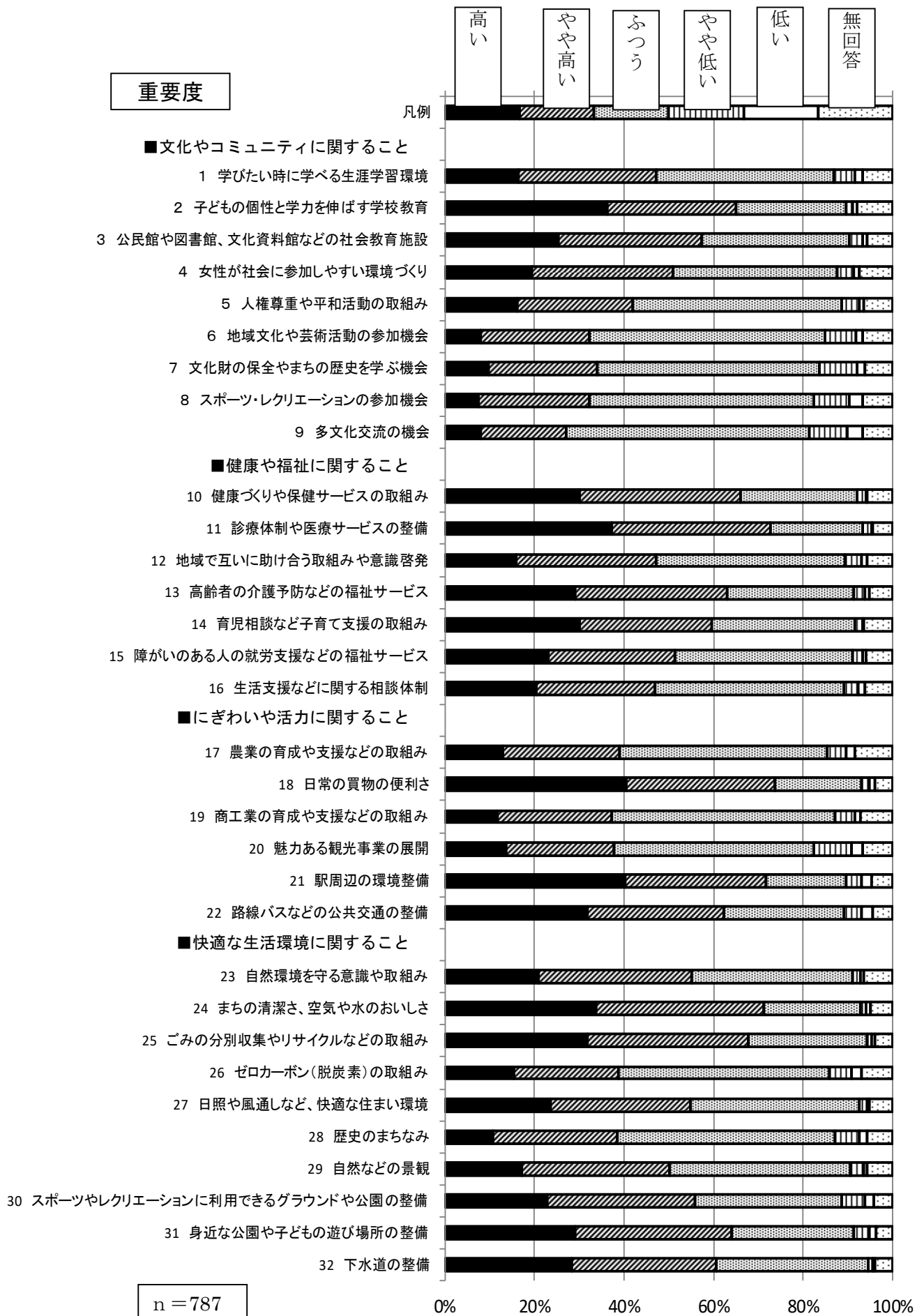
【満足度上位】

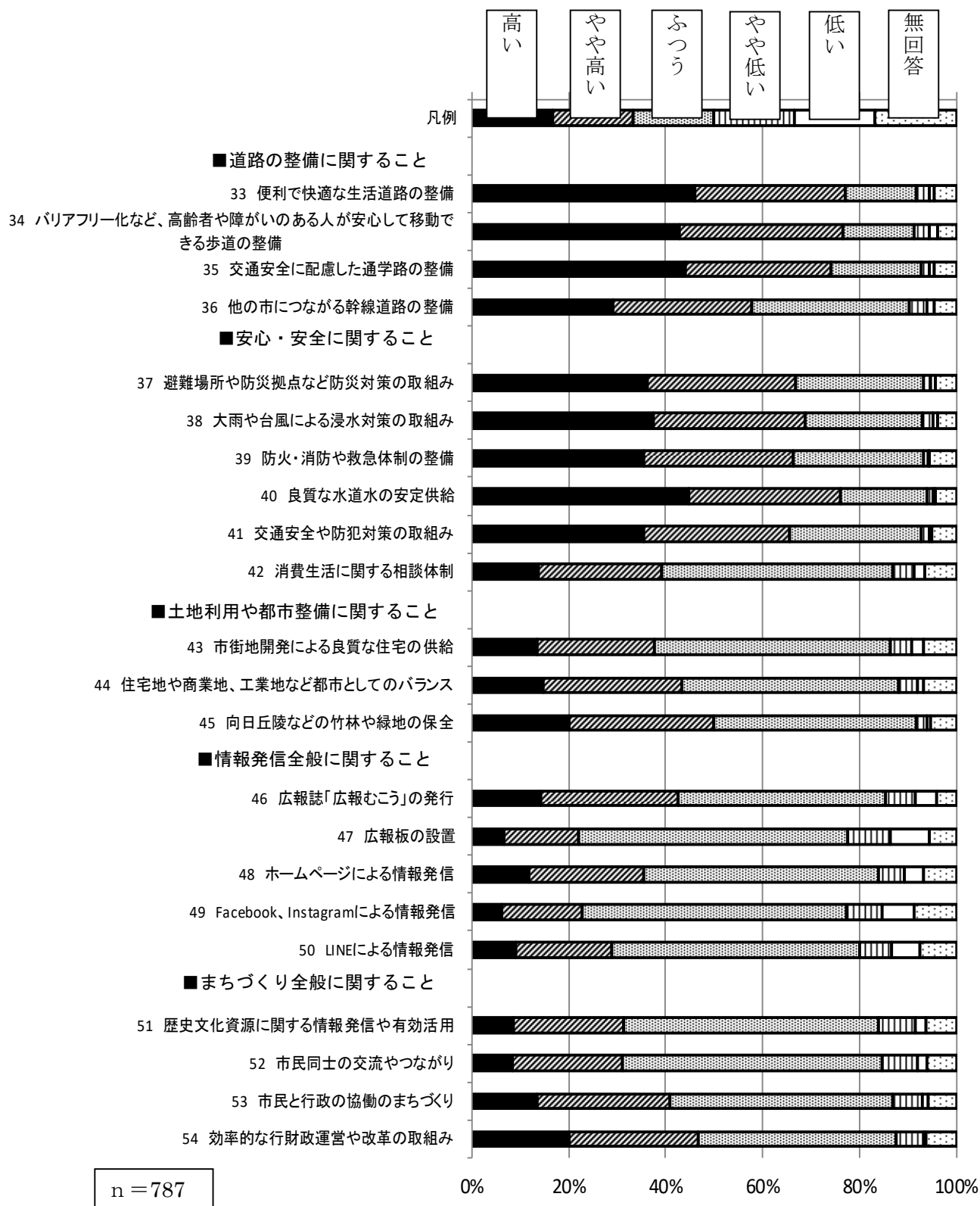
選択項目	係数ポイント
46 広報誌「広報むこう」	3. 3 8
25 ごみ分別・リサイクル	3. 3 1
32 下水道の整備	3. 2 4
18 日常の買物の便利さ	3. 2 0
40 良質な水道水の供給	3. 1 7

【満足度下位】

選択項目	係数ポイント
34 安心して移動できる歩道整備	2. 3 3
33 便利で快適な生活道路	2. 4 1
22 公共交通の整備	2. 4 7
35 交通安全に配慮した通学路の整備	2. 4 8
21 駅周辺の環境整備	2. 5 2

※)「係数ポイント」は「満足」を5点～「不満」を1点としたものの平均値。





【重要度上位】

選択項目	係数ポイント
40 良質な水道水の安定供給	4. 2 4
33 便利で快適な生活道路	4. 2 4
35 交通安全に配慮した通学路の整備	4. 2 0
34 安心して移動できる歩道整備	4. 1 7
18 日常の買物の便利さ	4. 1 5

【重要度下位】

選択項目	係数ポイント
47 広報板の設置	3. 0 4
49 facebook、Instagram	3. 0 9
50 LINE	3. 2 1
9 多文化交流の機会	3. 2 2
8 スポーツの参加機会	3. 2 8

※)「係数ポイント」は「高い」を5点～「低い」を1点としたものの平均値。

■文化やコミュニティに関すること

	満足度	重要度
1 学びたい時に学べる生涯学習環境	2.75	3.59
2 子どもの個性と学力を伸ばす学校教育	2.93	4.06
3 公民館や図書館、文化資料館などの社会教育施設	3.10	3.82
4 女性が社会に参加しやすい環境づくり	2.89	3.69
5 人権尊重や平和活動の取組み	2.99	3.55
6 地域文化や芸術活動の参加機会	2.87	3.33
7 文化財の保全やまちの歴史を学ぶ機会	3.00	3.34
8 スポーツ・レクリエーションの参加機会	2.88	3.28
9 多文化交流の機会	2.74	3.22

■健康や福祉に関すること

	満足度	重要度
10 健康づくりや保健サービスの取組み	3.11	3.99
11 診療体制や医療サービスの整備	3.01	4.13
12 地域で互いに助け合う取組みや意識啓発	2.82	3.60
13 高齢者の介護予防などの福祉サービス	2.95	3.93
14 育児相談など子育て支援の取組み	3.03	3.93
15 障がいのある人の就労支援などの福祉サービス	2.94	3.75
16 生活支援などに関する相談体制	2.92	3.65

■にぎわいや活力に関すること

	満足度	重要度
17 農業の育成や支援などの取組み	2.88	3.48
18 日常の買物の便利さ	3.20	4.15
19 商工業の育成や支援などの取組み	2.87	3.45
20 魅力ある観光事業の展開	2.69	3.41
21 駅周辺環境整備	2.52	4.09
22 路線バスなどの公共交通の整備	2.47	3.89

■快適な生活環境に関すること

	満足度	重要度
23 自然環境を守る意識や取組み	2.95	3.77
24 まちの清潔さ、空気や水のおいしさ	3.09	4.07
25 ごみの分別収集やリサイクルなどの取組み	3.31	4.01
26 ゼロカーボン(脱炭素)の取組み	2.93	3.48
27 日照や風通しなど、快適な住まい環境	3.17	3.80
28 歴史のまちなみ	3.12	3.43
29 自然などの景観	3.07	3.66
30 スポーツやレクリエーションに利用できるグラウンドや公園の整備	2.61	3.73
31 身近な公園や子どもの遊び場所の整備	2.66	3.90
32 下水道の整備	3.24	3.90

■道路の整備に関すること

	満足度	重要度
33 便利で快適な生活道路の整備	2.41	4.24
34 バリアフリー化など、高齢者や障がいのある人が安心して移動できる歩道の整備	2.33	4.17
35 交通安全に配慮した通学路の整備	2.48	4.20
36 他の市につながる幹線道路の整備	2.64	3.84

■安心・安全に関すること

	満足度	重要度
37 避難場所や防災拠点など防災対策の取組み	2.93	4.04
38 大雨や台風による浸水対策の取組み	2.99	4.07
39 防火・消防や救急体制の整備	3.10	4.06
40 良質な水道水の安定供給	3.17	4.24
41 交通安全や防犯対策の取組み	2.92	4.03
42 消費生活に関する相談体制	2.92	3.47

■土地利用や都市整備に関すること

	満足度	重要度
43 市街地開発による良質な住宅の供給	2.93	3.45
44 住宅地や商業地、工業地など都市としてのバランス	2.85	3.55
45 向日丘陵などの竹林や緑地の保全	3.14	3.70

■情報発信全般に関わること

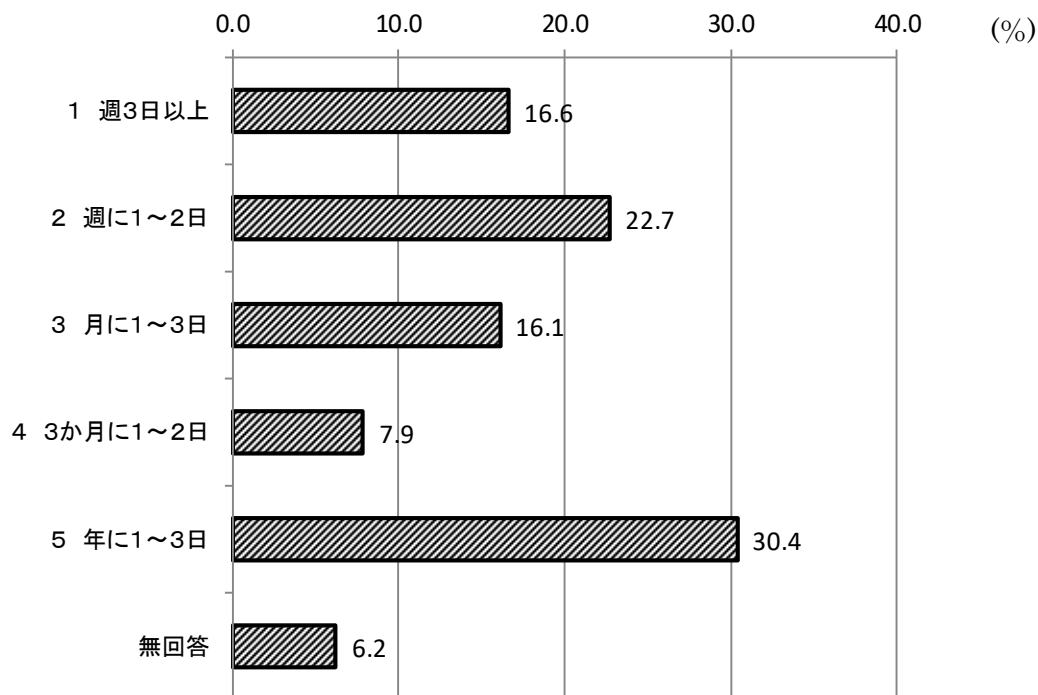
	満足度	重要度
46 広報誌「広報むこう」の発行	3.38	3.44
47 広報板の設置	2.92	3.04
48 ホームページによる情報発信	3.00	3.37
49 Facebook、Instagramによる情報発信	2.91	3.09
50 LINEによる情報発信	3.04	3.21

■まちづくり全般に関わること

	満足度	重要度
51 歴史文化資源に関する情報発信や有効活用	2.97	3.30
52 市民同士の交流やつながり	2.86	3.30
53 市民と行政の協働のまちづくり	2.81	3.49
54 効率的な行財政運営や改革の取組み	2.81	3.64

問 1 4 あなたは、この 1 年間、どのくらいの頻度で運動やスポーツを行いましたか。あてはまる番号を 1 つ選んで、右欄にご記入ください。

- 1 週 3 日以上
- 2 週に 1 ～ 2 日
- 3 月に 1 ～ 3 日
- 4 3 か月に 1 ～ 2 日
- 5 年に 1 ～ 3 日

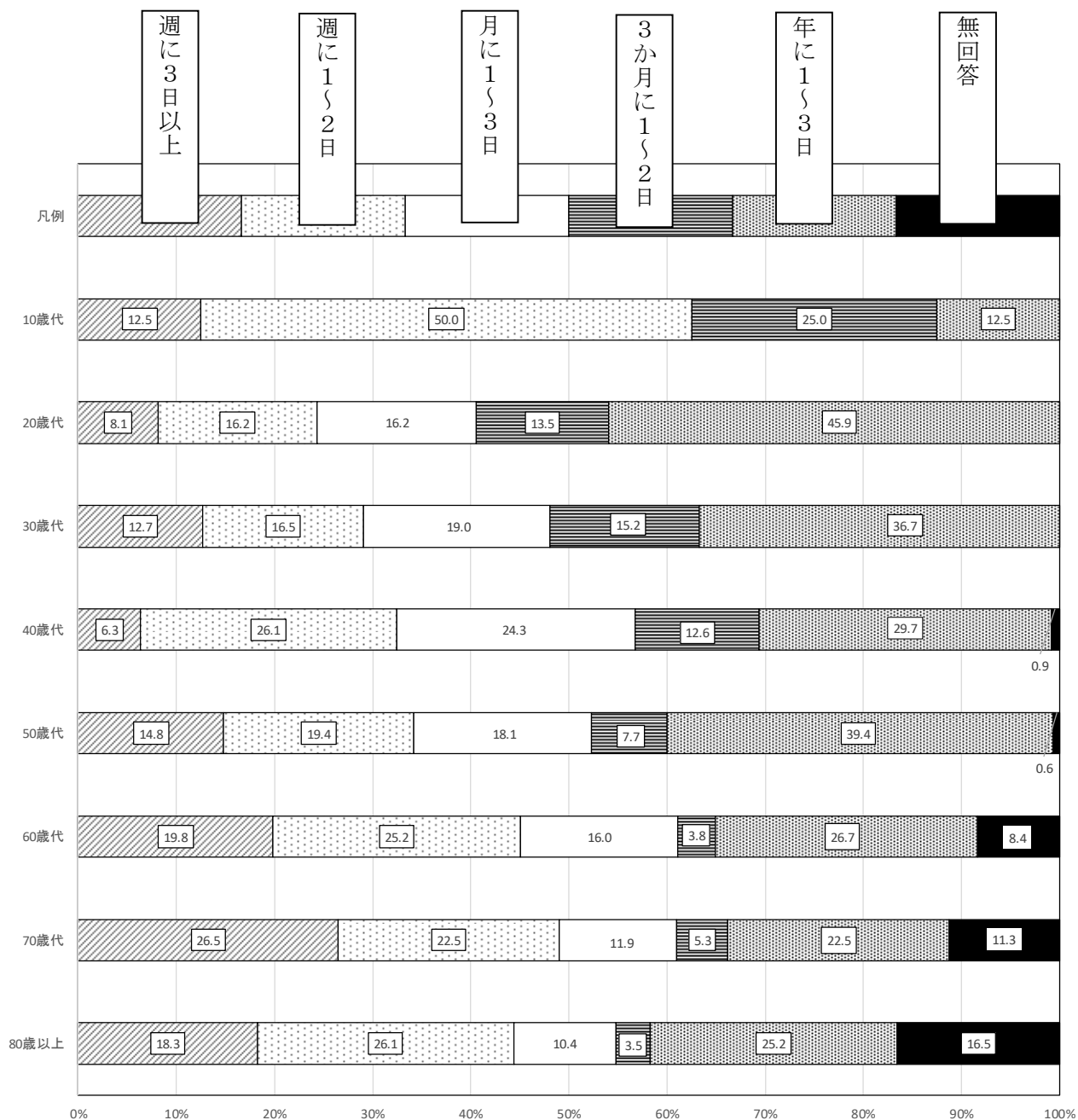


n = 787

【「年に 1 ～ 3 日」が 3 割を占める】

○運動やスポーツをする頻度は、「年に 1 ～ 3 日」が最も多く 3 割を占めています。次いで「週に 1 ～ 2 日」(22.7%)、「週 3 日以上」(16.6%)、「月に 1 ～ 3 日」(16.1%) となっています。

【年代別集計】



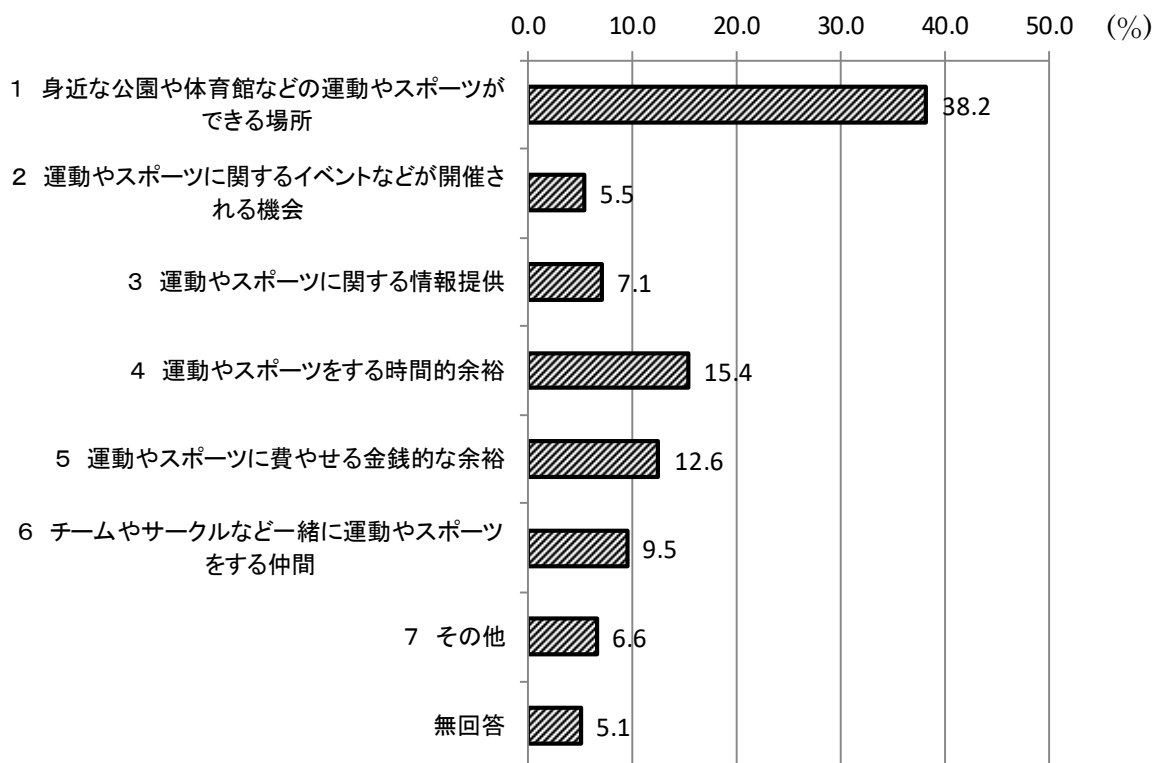
【年代が上がるほど頻度が高い傾向】

○年代別にみると、「週に3日以上」「週に1～2日」と回答した人は、70歳代で最も高く、49%と約半数となっています。

○一方、20歳代で「週に3日以上」「週に1～2日」と回答した人は、24.3%にとどまっており、年代が上がるほど、スポーツをする頻度が高い傾向を示しています。

問 1 5 あなたは、どのような環境があればさらに運動やスポーツを行いたいと思いますか。
 あてはまる番号を 1 つ選んで、右欄にご記入ください。

- 1 身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所
- 2 運動やスポーツに関するイベントなどが開催される機会
- 3 運動やスポーツに関する情報提供
- 4 運動やスポーツをする時間的な余裕
- 5 運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕
- 6 チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間
- 7 その他（具体的に



n = 787

【「身近な公園や体育館など運動やスポーツができる場所」が 1 位】

- 運動やスポーツを行いたいと思う環境としては「身近な公園や体育館などの場所」が 4 割近くと圧倒的な回答を集めています。
- 次いで「運動やスポーツをする時間的な余裕」(15.4%)、「運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕」(12.6%)となっています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 50.0%	運動やスポーツをする時間的余裕 25.0%	運動やスポーツに関する情報提供 12.5% チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間 12.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 54.1%	運動やスポーツをする時間的余裕 25.0% 運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 25.0%	運動やスポーツに関するイベントなどが開催される機会 10.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 45.6%	運動やスポーツをする時間的余裕 21.5%	運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 15.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 34.2%	運動やスポーツをする時間的余裕 23.4%	運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 14.4% チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間 14.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 36.8%	運動やスポーツをする時間的余裕 20.6%	運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 17.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 35.9%	運動やスポーツをする時間的余裕 17.6%	運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕 15.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 41.1%	運動やスポーツに関する情報提供 10.6%	チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間 9.9%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所 32.2%	その他 13.9%	チームやサークルなど一緒に運動やスポーツをする仲間 12.2%

【全ての年代で「身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所」が第 1 位】

○年代別にみると、全ての年代で「身近な公園や体育館などの運動やスポーツができる場所」が第 1 位となっており、3～5 割を占めています。

○10～60 歳代では、「運動やスポーツをする時間的余裕」が第 2 位、20～60 歳代で「運動やスポーツに費やせる金銭的な余裕」が第 3 位（20 歳代では同率 2 位）となっています。

自由意見

●歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

○歴史・文化、観光（１７件）

テーマ	意見例
歴史・文化 観光	・歴史遺産の保全、活用 ・竹の径などの整備及び観光ＰＲ ・祭りの開催 ・外国人観光客向けのＰＲ 等

○産業の活性化（９５件）

テーマ	意見例
産業の活性化	・企業誘致 ・飲食店等の充実 ・駅前活性化（商業施設など） ・高齢者の買い物環境向上 ・若い世代に魅力のある施設 ・洛西口駅西側の開発による活性化 ・西向日駅周辺の利便性の向上（スーパーなど） 等

○都市基盤の整備（３９３件）

テーマ	意見例
道路整備 駅周辺整備 公園・グラウンド・広 場等整備 住宅	・道路の整備、渋滞対策（物集女街道、アリーナ周辺） ・向日町駅東口の開設 ・阪急東向日駅周辺の整備（阪急高架化） ・阪急洛西口駅周辺の開発 ・アリーナ建設の反対 ・緑あふれる街並み ・子どもがのびのび遊べる公園の整備 ・コミュニティバスの本数、経路の改善 ・空き家対策 等

○ゼロカーボン、環境・資源循環（３２件）

テーマ	意見例
廃棄物 自然環境 生活環境	・ごみ問題（回数増加、ルール徹底、ポイ捨て、歩きタバコ） ・自然の保全 ・産業活性化によるごみ増加への懸念 等

○災害対策・防災・防犯・消防（３１件）

テーマ	意見例
防災 消防救急 防犯 交通安全 公共交通	・災害に強いまちづくり（避難所・宿泊施設の整備など） ・水害対策の強化 ・土砂災害特別警戒区域の整備 ・街路灯の設置 ・防犯カメラの設置 ・歩行者・自転車・自動車の安全 ・来訪者の増加による治安の悪化への懸念 等

○上下水道（５件）

テーマ	意見例
上水道 下水道	・水道の水質改善（味、におい、P F A S） ・水道料金の見直し

等

●人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

○子育て、少子化対策（１８件）

テーマ	意見例
結婚 妊娠・出産 保育	・子育て環境、保育サービスの充実（病児保育など） ・経済的負担の軽減（不妊治療、児童手当拡充） ・子供の遊び場の充実（施設、公園などのスペース）

等

○健康・福祉（３２件）

テーマ	意見例
健康・医療 高齢者 障がいのある人 地域福祉	・高齢者が安心して住めるまちづくり ・健康づくりの支援 ・就労支援の充実 ・介護、医療施設の拡充 ・検診、予防接種の充実

等

○学校教育、生涯学習・スポーツ（５３件）

テーマ	意見例
教育環境 生涯学習 スポーツ	・学費補助 ・児童、生徒数増に伴う学校受け入れ強化 ・通学路の安全 ・小学校の老朽化対策 ・スポーツ施設の充実 ・市民温水プールの再開 ・アリーナでのイベント開催（スポーツ観戦、コンサートなど） ・図書館、文化資料館の魅力向上

等

●信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

○市民参加、市民協働（１２件）

テーマ	意見例
コミュニティ 市民参画	・コミュニケーション活動の拠点づくり ・自治会の活性化 ・住民参加、市民意見の反映 ・若い世代が活躍できる場の創出

等

○行財政運営、議会、情報発信・PR（33件）

テーマ	意見例
行財政運営 議会 情報発信・PR	・行政サービスの向上（デジタル化推進） ・適正な行財政運営 ・市の情報発信の充実（新しいまちづくりについて）
	等

●その他（23件）

テーマ	意見例
その他	・若い世代が住みたくなるまちづくり ・市のイベントの充実
	等

※複数のテーマに対する意見については、テーマごとに件数をカウントしています。

【都市基盤に多くの意見】

○回収した全アンケート787件に対し、558件（70.9%）で自由意見欄への記載があり、特に都市基盤の整備（393件）へ多くの意見が寄せられました。

【参考】令和元年実施分

向日市のまちづくりに関する市民アンケート 結果報告

令和2年3月

向日市

目次

■ 調査の概要

調査の概要	1
-------	---

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 性別	2
問2 年齢	2
問3 居住地	3
問4 居住歴	3
問5 居住地を向日市に決めた理由	4

■ まちの住みごこちや、まちの施策について

問6 向日市の住み心地	5
問7 良いと思う点	7
問8 良くないと思う点	9
問9 定住意向	11
問10 雇用・経済の活発化	13
問11 少子化対策	15
問12 安心・安全	17
問13 まちの将来	19

■ 施策の満足度・重要度について

問14 満足度	21
重要度	23

■ ほかに個別の事業に関する設問について

問15 お住いの地域の土地利用	27
問16 賑わいを創出するための土地利用	28
問17 新庁舎展望レストラン運営形態	29
問18 新庁舎展望レストラン営業時間	31

■ 自由意見

自由意見	33
------	----

向日市のまちづくりに関する市民アンケート 結果報告

■ 調査の概要

1 調査目的

まちづくりに関して、市民の皆さまが日頃感じておられることを把握し、施策の推進に反映する。

2 調査方法

調査名称	向日市のまちづくりに関する市民アンケート
調査地域	向日市全域
対象者	18 歳以上の市民
対象抽出方法	無作為抽出
抽出数	2,000 件
実施期間	令和元年 7 月 16 日から 7 月 31 日まで
調査方法	郵送により配布・回収

3 調査票の回収状況

調査票の有効回収数は 725 件、有効回収率 36.3%の結果を得ました。

4 分析についての注意点

- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、合計値が 100%にならない場合があります。
- ・「2 つ以上を選択回答」の設問については、百分率の合計が 100%を超える場合があります。
- ・図中で「n」は回答者数を示しています。

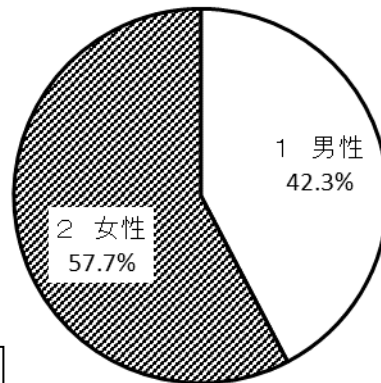
5 調査項目

回答者属性	性別、年齢、居住地、居住歴、向日市選択理由
住み心地やまちづくりの取組について	住み心地や定住意向について ○向日市の住み心地、良い点、良くない点 ○定住意向
	まちづくり課題について ○雇用や経済の活性化について ○少子化対策について ○地域の安全・安心について
	まちの将来について ○まちの将来について
	施策の重要度・満足度について ○文化やコミュニティに関すること。 ○健康や福祉に関すること。 ○にぎわいや活力に関すること。 ○快適な生活環境に関すること。 ○道路の整備に関すること。 ○安心・安全に関すること。 ○土地利用や都市整備に関すること。 ○情報発信全般に関すること。 ○まちづくり全般に関すること。
	ほか個別事業に関すること ○土地利用 ○新庁舎展望レストラン
自由意見	自由記述

■ あなた（回答者）ご自身について

問1 あなたの性別は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 男性	2 女性
------	------



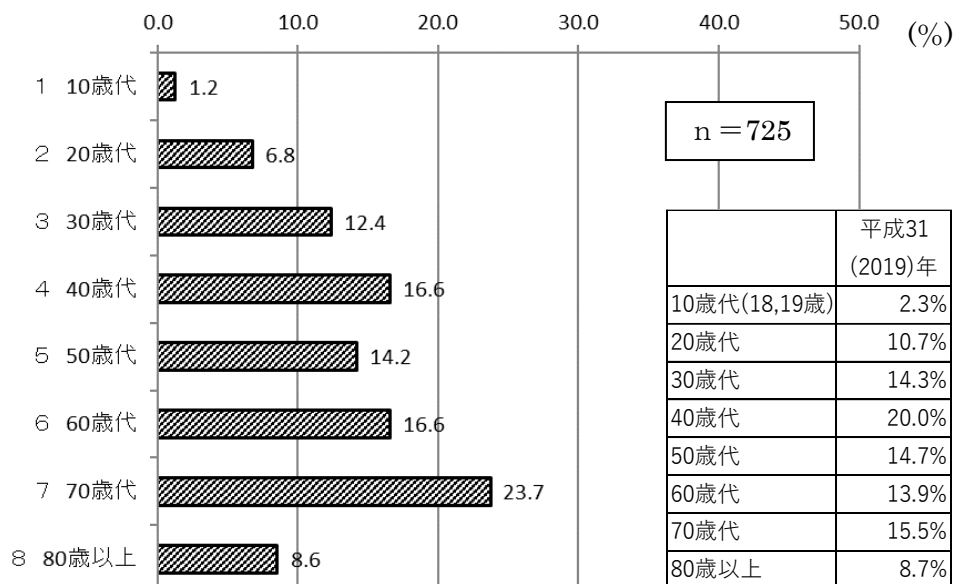
【女性からの回答がやや多い】

○回答者の男女比率は、女性がやや多くなっていますが、差はわずかで、ほぼ半数ずつになっています。

※向日市現状(H31)は男 48.0%、女 52.0%。

問2 あなたの年齢は。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。（令和元年7月1日現在でお答えください）

1 10歳代	4 40歳代	7 70歳代
2 20歳代	5 50歳代	8 80歳以上
3 30歳代	6 60歳代	



	平成31 (2019)年
10歳代(18,19歳)	2.3%
20歳代	10.7%
30歳代	14.3%
40歳代	20.0%
50歳代	14.7%
60歳代	13.9%
70歳代	15.5%
80歳以上	8.7%

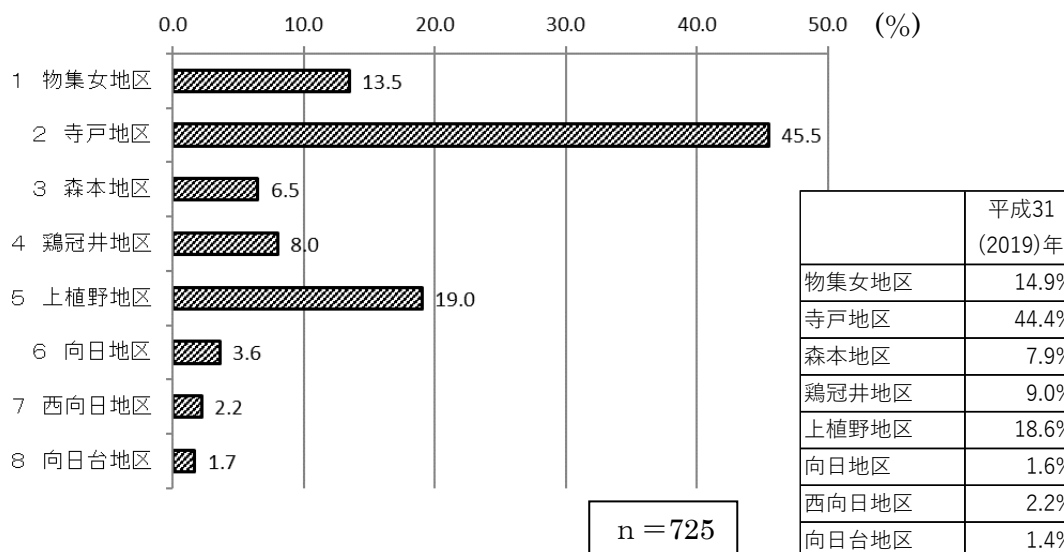
【60歳以上で約半数を占める】

○年代別にみると、70歳代が23.7%と最も高い比率を占め、60歳代以上が48.9%とほぼ半数の回答を占めています。

○向日市現状(H31)の年齢層と比べて回答者の年齢層は高くなっています。

問3 あなたのお住まいは。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 物集女地区	4 鶏冠井地区	7 西向日地区
2 寺戸地区	5 上植野地区	8 向日台地区
3 森本地区	6 向日地区	

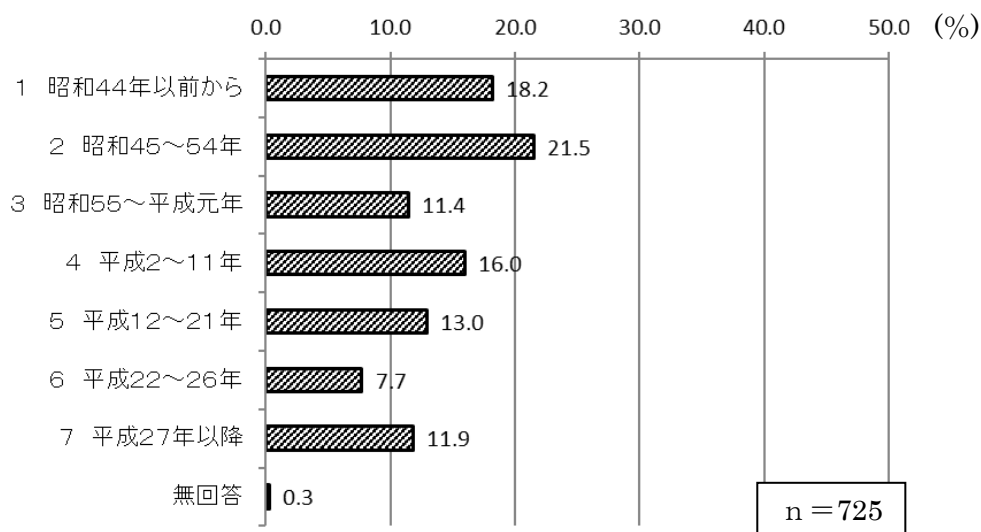


【現状の地区別の人口構成に近似した回答】

○回答者を地区別にみると、各地区において、向日市現状（H31）に近い回答が得られています。

問4 あなたはいつ頃から向日市にお住まいですか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

1 昭和44年以前から	5 平成12～21年
2 昭和45～54年	6 平成22～26年
3 昭和55～平成元年	7 平成27年以降
4 平成2～11年	

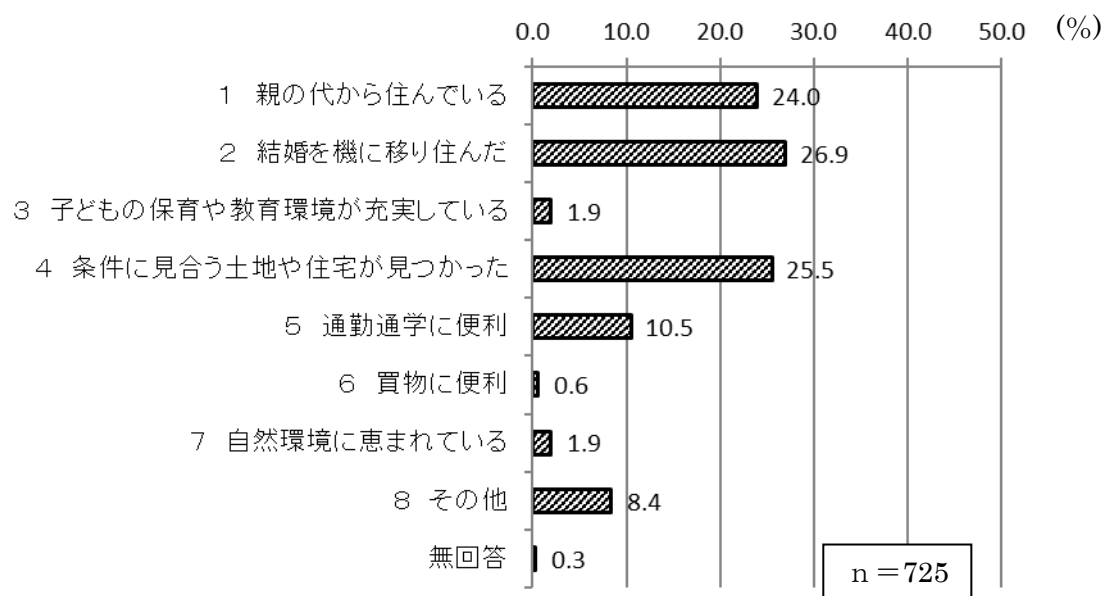


【おおよそ30年以上居住する回答者が半数】

○平成元年以前（30年以前）から居住する回答者が51.2%と過半数を占めています。居住歴が5年未満（平成27年以降）からの回答も11.9%得られています。

問5 お住まいを向日市に決めたのはなぜですか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

1 親の代から住んでいる 2 結婚を機に移り住んだ 3 子どもの保育や教育環境が充実している 4 条件に見合う土地や住宅が見つかった 5 通勤通学に便利 6 買物に便利 7 自然環境に恵まれている 8 その他（具体的に	
--	--



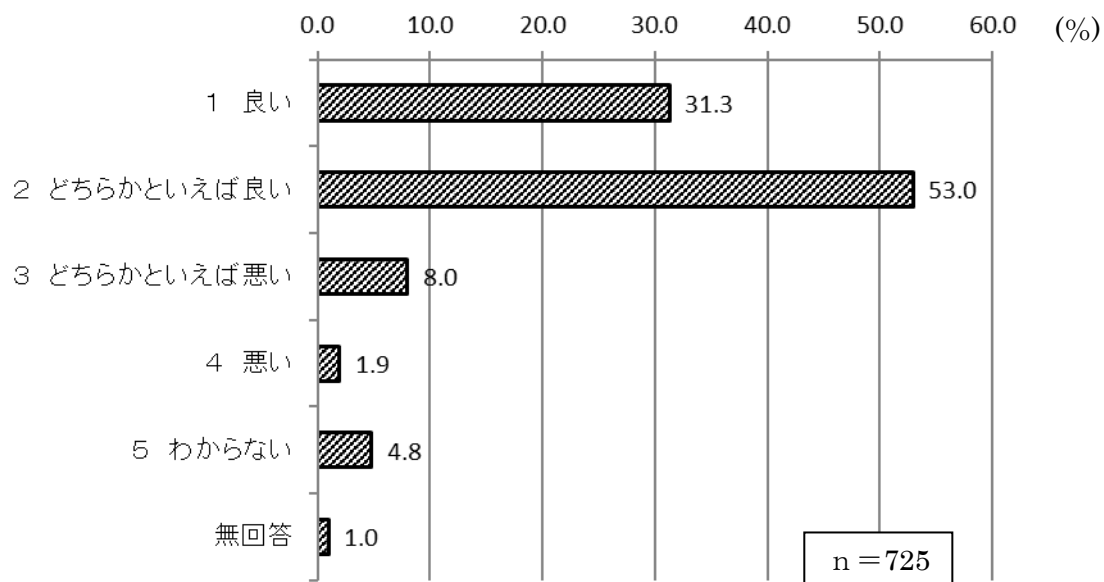
【結婚、住宅・用地の確保などが居住の契機に】

○居住地を向日市に決めた理由としては、「結婚を機に移り住んだ」が 26.9%と多く、以下、「条件に見合う土地や住宅が見つかった」「親の代から住んでいる」「通勤通学に便利」が続いています。

■ まちの住みごこちや、まちの施策について

問6 あなたは向日市の住み心地について、どう思いますか。あてはまる番号を1つ、右欄にご記入ください。

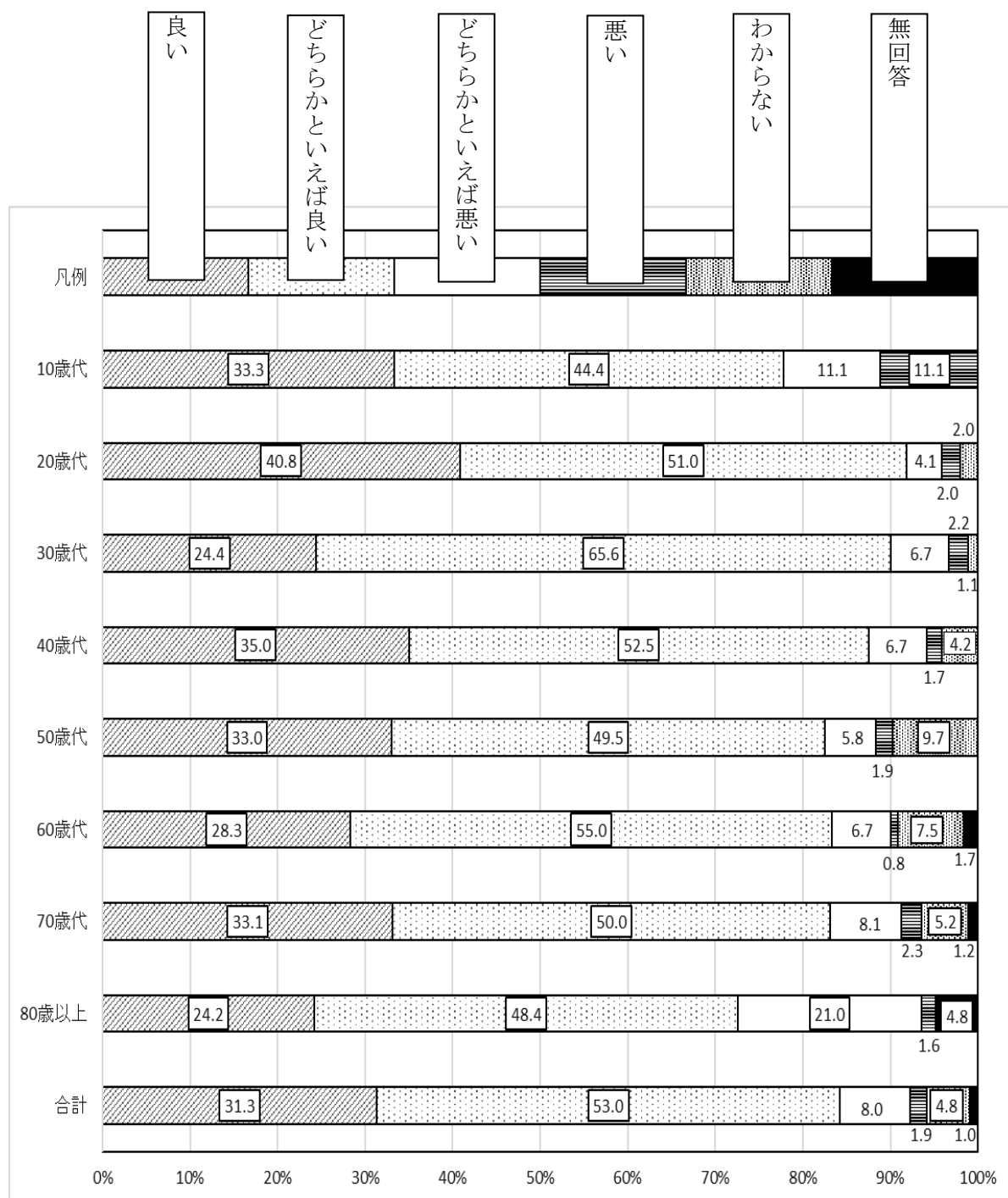
- | | |
|--------------|---------|
| 1 良い | 4 悪い |
| 2 どちらかといえば良い | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば悪い | |



【住みよいと評価する意見が8割程度】

- 向日市の住み心地については、「良い」が31.3%、「どちらかといえば良い」が53.0%で、合わせて84.3%の市民が向日市を住み心地の良いまちだと評価しています。
- 「悪い」と評価する意見は1.9%、「どちらかといえば悪い」も8.0%にとどまっています。

【年代別集計】

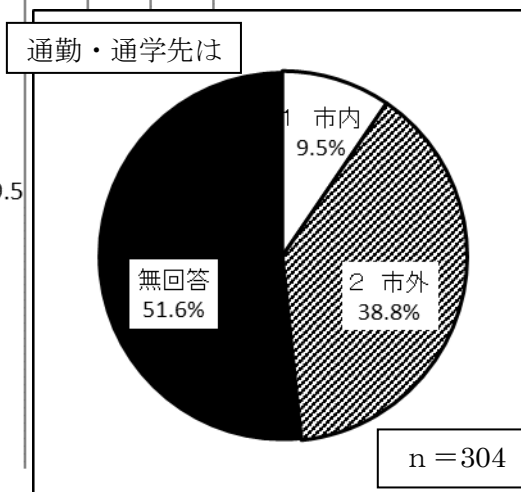
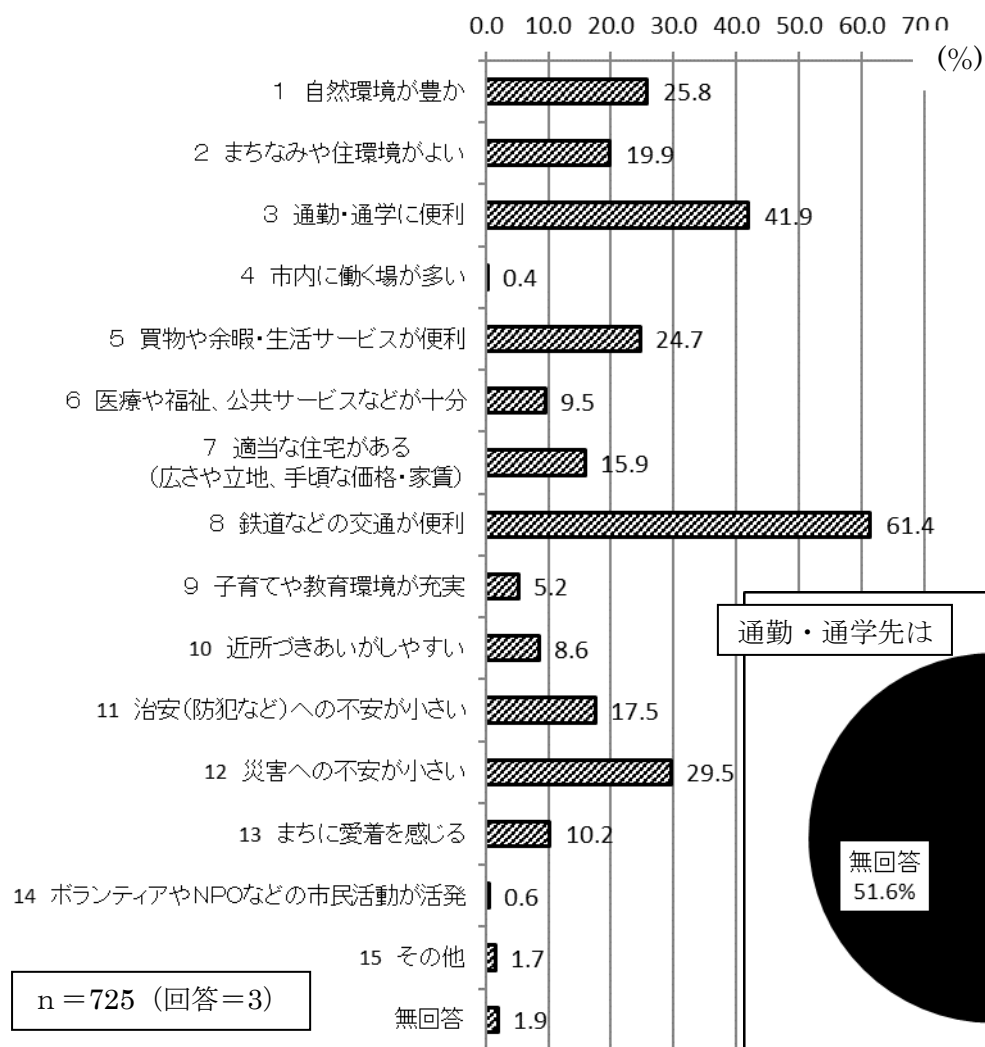


【住みよいと評価する意見が8割程度】

○年代別にみると、「良い」と評価する意見は20歳代で40.8%と最も多くなっています。
 ○「良い」「どちらかといえば良い」を合わせると、80歳以上を除く全ての年代において8割程度が向日市の住み心地を良いと評価しています。

問7 向日市に住んでいて、良いと思う点は何ですか。次のなかから3つまで選んで、右欄にご記入ください。

1 自然環境が豊か	
2 まちなみや住環境がよい	
3 通勤・通学に便利（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）	
4 市内に働く場が多い	
5 買物や余暇・生活サービスが便利	
6 医療や福祉、公共サービスなどが十分	
7 適当な住宅がある（広さや立地、手頃な価格・家賃）	
8 鉄道などの交通が便利	
9 子育てや教育環境が充実	
10 近所づきあいがしやすい	
11 治安（防犯など）への不安が小さい	
12 災害への不安が小さい	
13 まちに愛着を感じる	
14 ボランティアやNPOなどの市民活動が活発	
15 その他（具体的に	



【良い点は利便性】

- 住んでいて良い点としては、「鉄道などの交通が便利」が 61.4%と突出して多く選択され、「通勤・通学に便利」が 41.9%で続くなど、利便性を評価する意見が上位となっています。
- 以下、「災害への不安が小さい」(29.5%)、「自然環境が豊か」(25.8%) がそれぞれ 3 割程度の意見を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	鉄道などの交通が便利 66.7%	通勤・通学に便利 55.6%	自然環境が豊か 22.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	鉄道などの交通が便利 55.1%	通勤・通学に便利 44.9%	買い物や余暇・生活サービスが便利 36.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	鉄道などの交通が便利 68.9%	通勤・通学に便利 52.2%	買い物や余暇・生活サービスが便利 30.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	鉄道などの交通が便利 60.8%	通勤・通学に便利 47.5%	買い物や余暇・生活サービスが便利 28.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	鉄道などの交通が便利 69.9%	通勤・通学に便利 55.3%	まちなみや住環境が良い 23.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	鉄道などの交通が便利 57.5%	災害への不安が小さい 36.7%	通勤・通学に便利 35.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	鉄道などの交通が便利 57.6%	災害への不安が小さい 43.0%	自然環境が豊か 35.5%

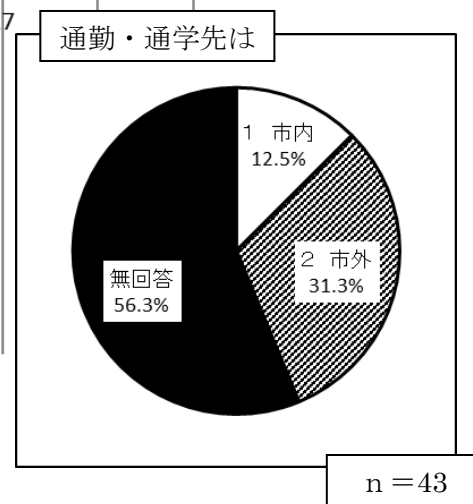
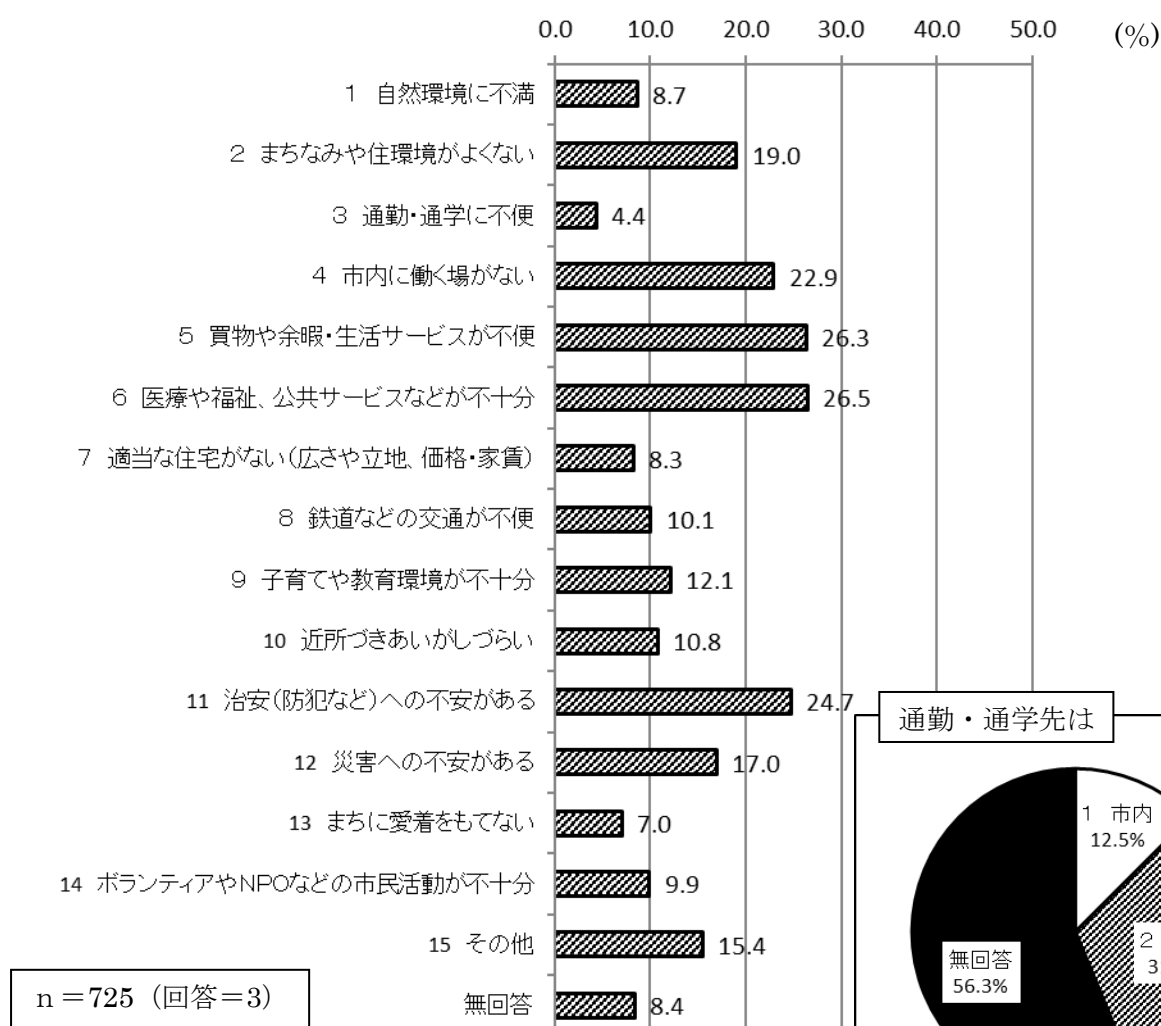
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	鉄道などの交通が便利 59.7%	災害への不安が小さい 45.2%	通勤・通学に便利 35.5%

【全ての年代で「鉄道などの利便性」が第 1 位】

- 年代別にみると、「鉄道などの交通が便利」が全ての年代で第 1 位となっています。
- 10～50 歳代で「通勤・通学に便利」が第 2 位、60～80 歳以上では「災害への不安が小さい」が第 2 位になっているほか、20～40 歳代で「買い物や余暇・生活サービスが便利」が第 3 位、10 歳代及び 70 歳代で「自然環境が豊か」が第 3 位、50 歳代で「まちなみや住環境が良い」が第 3 位となっています。

問8 向日市に住んでいて、良くないと思う点は何ですか。次のなかから3つまで選んで、右欄にご記入ください。

1 自然環境に不満	
2 まちなみや住環境が良くない	
3 通勤・通学に不便（通勤・通学先は 1 市内 2 市外）	
4 市内に働く場がない	
5 買物や余暇・生活サービスが不便	
6 医療や福祉、公共サービスなどが不十分	
7 適当な住宅がない（広さや立地、価格・家賃）	
8 鉄道などの交通が不便	
9 子育てや教育環境が不十分	
10 近所づきあいがしづらい	
11 治安（防犯など）への不安がある	
12 災害への不安がある	
13 まちに愛着をもてない	
14 ボランティアやNPOなどの市民活動が不十分	
15 その他（具体的に	



【「医療・福祉・公共サービス」「買物や余暇・生活サービス」「治安」「働く場」が上位】

○住んでいて良くない点としては、「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」が 26.5%と最も多くの意見を集め、以下「買物や余暇・生活サービスが不便」(26.3%)、「治安(防犯など)への不安がある」(24.7%)、「市内に働く場がない」(22.9%)の3項目が2割以上となっています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 44.4%	ボランティアやNPOなどの市民活動が不十分 33.3%	治安(防犯など)への不安がある 22.2% 災害への不安がある 22.2%

	第1位	第2位
20 歳代	市内に働く場がない 26.5%	治安(防犯など)への不安がある 26.5% 買物や余暇・生活サービスが不便 18.4%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	治安(防犯など)への不安がある 40.0%	子育てや教育環境が不十分 31.1%	その他 24.4%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 29.2%	治安(防犯など)への不安がある 29.2%	子育てや教育環境が不十分 23.3%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 32.0%	買物や余暇・生活サービスが不便 25.2%	市内に働く場がない 23.3% 治安(防犯など)への不安がある 23.3%

	第1位	第2位
60 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 35.0%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 35.0% 災害への不安がある 23.3%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	買物や余暇・生活サービスが不便 26.7%	市内に働く場がない 26.2%	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 23.3%

	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	医療や福祉、公共サービスなどが不十分 32.3%	買物や余暇・生活サービスが不便 30.6%	市内に働く場がない 27.4%

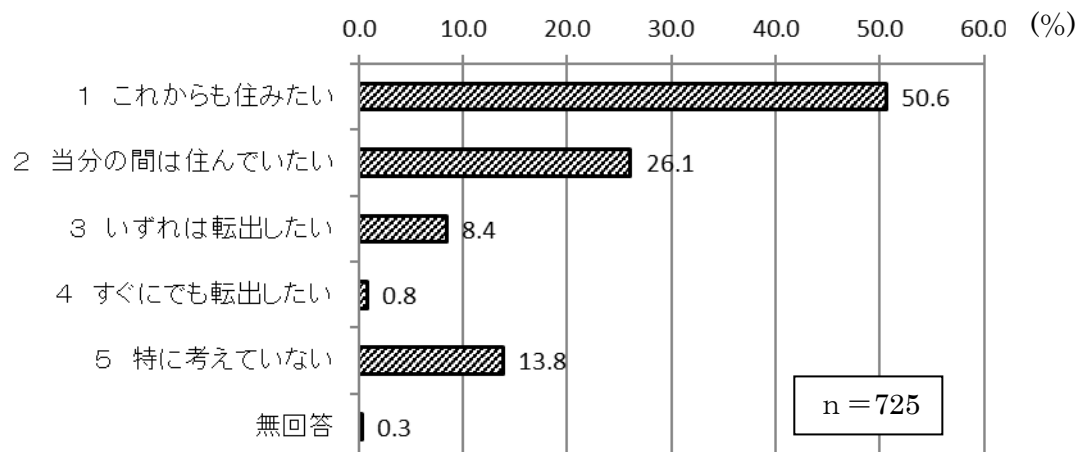
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

○順位は異なりますが、全ての年代で「買物や余暇・生活サービスが不便」「医療や福祉、公共サービスなどが不十分」「治安(防犯など)への不安がある」の3項目が上位を占めています。

○20 歳代では「市内に働く場がない」と「治安(防犯など)への不安がある」が同率一位となっています。

問9 あなたはこれからも向日市に住みたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで、右欄にご記入ください。

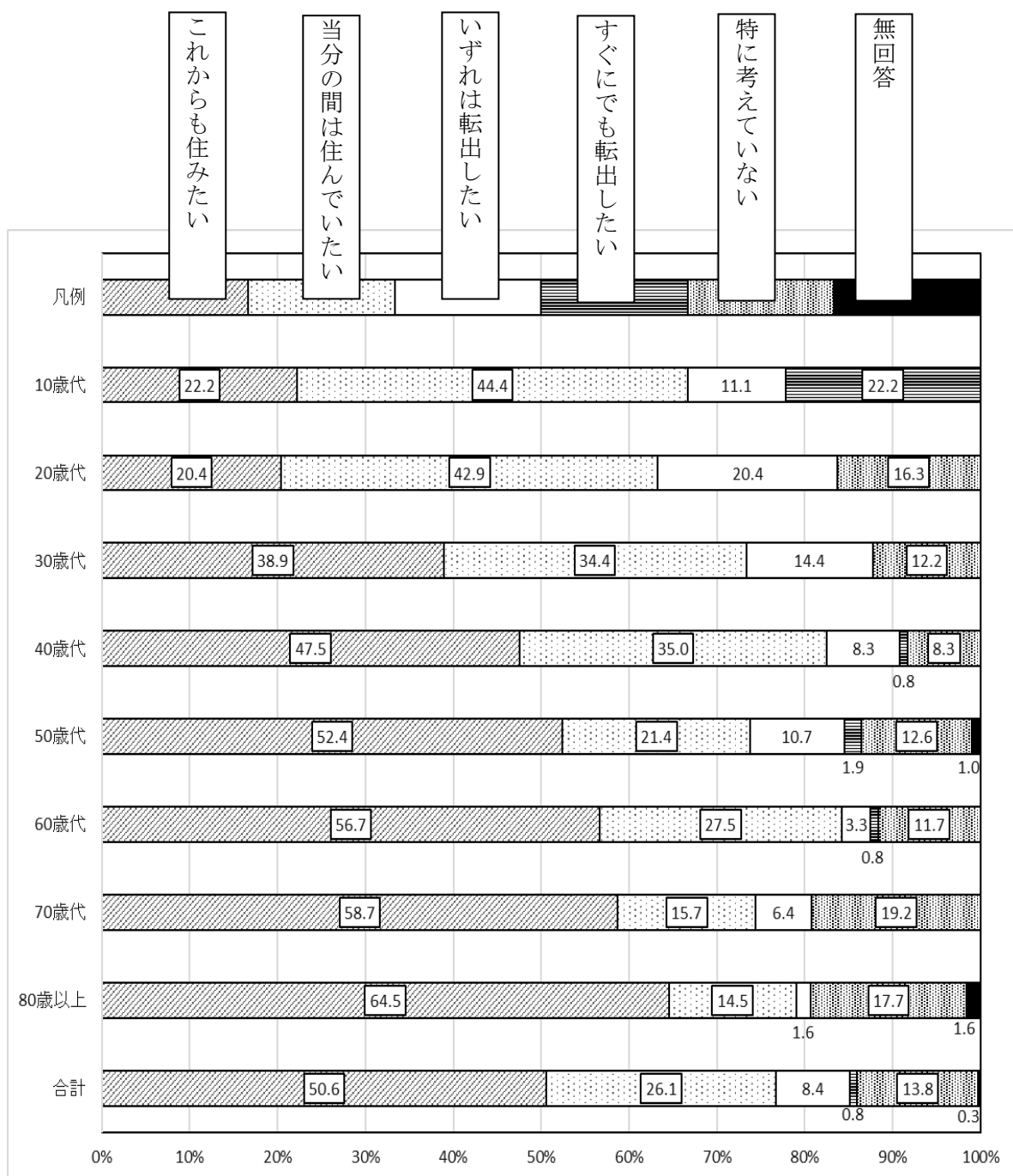
- 1 これからも住みたい
- 2 当分の間は住んでいたい
- 3 いずれは転出したい
- 4 すぐにでも転出したい
- 5 特に考えていない



【8割が継続的な定住意向】

○向日市に対する定住意向は「これからも住みたい」(50.6%)と「当分の間は住んでいたい」(26.1%)を合わせて、76.7%が継続的な定住意向を示しています。「いずれは転出したい」「すぐにでも転出したい」は併せて9.2%にとどまっています。

【年代別集計】

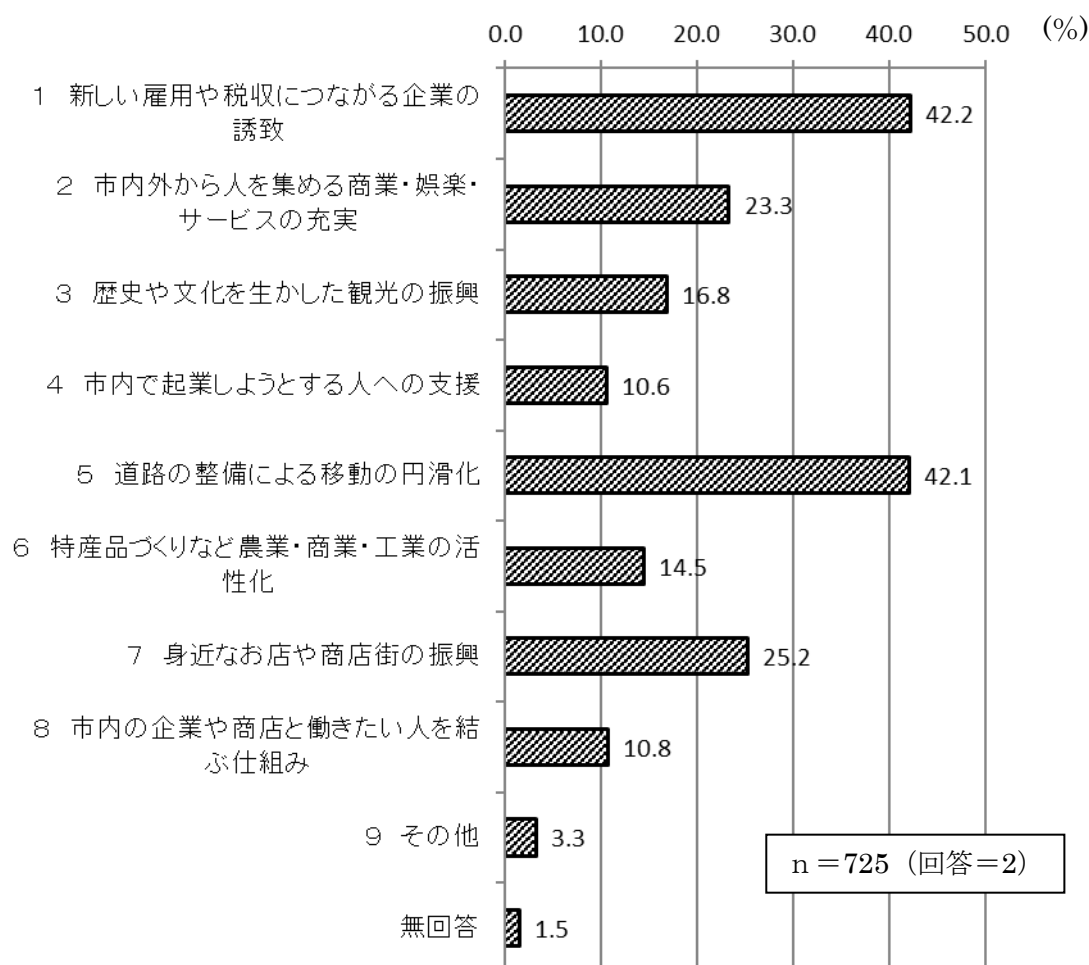


【ほぼすべての世代で7割以上が定住意向を示す】

- 年代別にみると、「これから住みたい」「当分の間は住んでいたい」を合わせた定住意向は10～20歳代を除くすべての世代で7割以上となっています。
- 最も低い20歳代でも定住意向は63.3%に達しており、「いずれは転出したい」「すぐにも転出したい」という転出意向も20.4%にとどまっています。

問10 雇用やまちの経済を活発にしていくためには、どのような取組みが大切だとお考えですか。特に重視するものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

1	新しい雇用や税収につながる企業の誘致	
2	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実	
3	歴史や文化を生かした観光の振興	
4	市内で起業しようとする人への支援	
5	道路の整備による移動の円滑化	
6	特産品づくりなど農業・商業・工業の活性化	
7	身近なお店や商店街の振興	
8	市内の企業や商店と働きたい人を結ぶ仕組み	
9	その他（具体的に）	



【「企業誘致」「移動の円滑化」が上位項目】

○雇用や経済の活性化のためには、「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」(42.2%)、「道路の整備による移動の円滑化」(42.1%) それぞれ4割以上の回答を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 55.6%	身近なお店や商店街の振興 44.4%	市内の企業や商店と働きたい人を結ぶ仕組み 22.2%

	第 1 位	第 2 位
20 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 36.7%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 36.7%
		道路の整備による移動の円滑化 32.7%

	第 1 位	第 2 位
30 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 38.9%	道路の整備による移動の円滑化 38.9%
		市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 36.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 47.5%	道路の整備による移動の円滑化 35.8%	市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実 32.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	道路の整備による移動の円滑化 48.5%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 39.8%	身近なお店や商店街の振興 25.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 42.5%	道路の整備による移動の円滑化 41.7%	身近なお店や商店街の振興 30.0%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	道路の整備による移動の円滑化 45.9%	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 39.7%	身近なお店や商店街の振興 37.1%

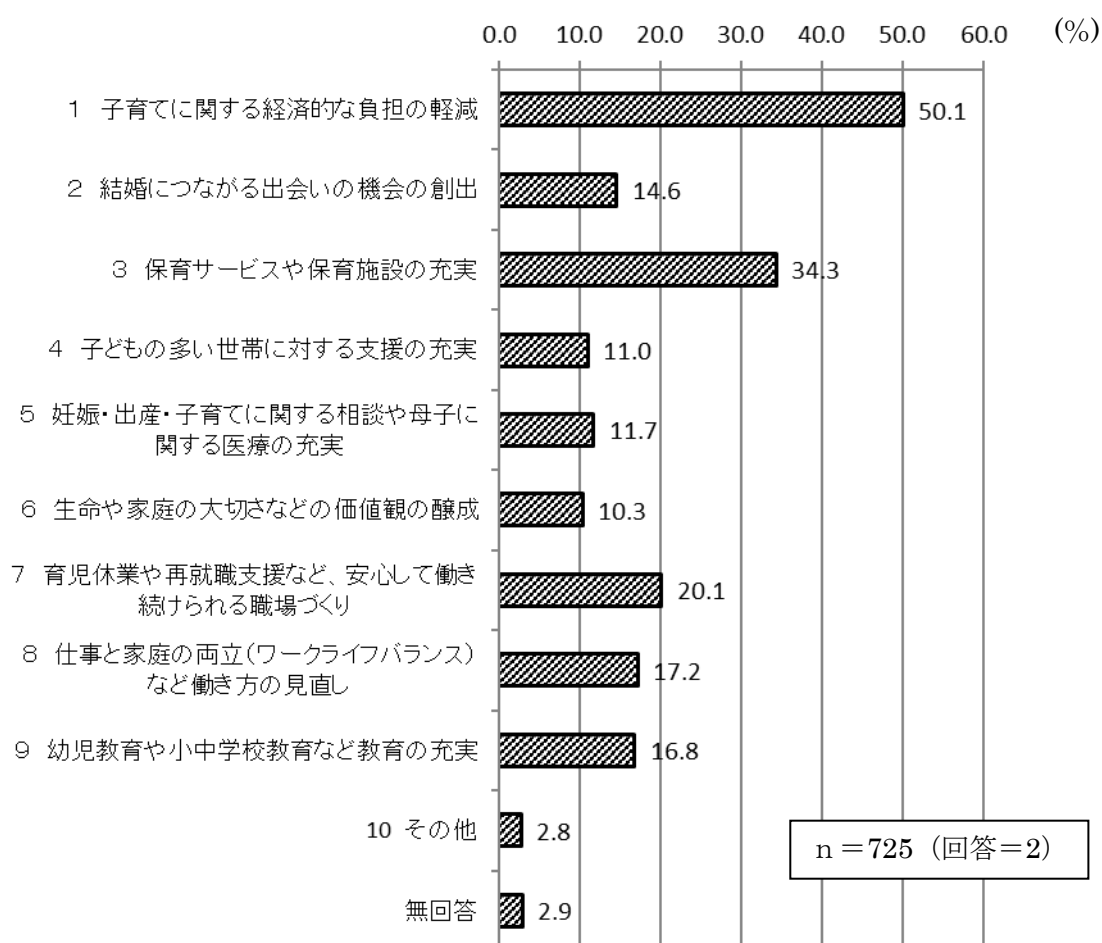
	第 1 位	第 2 位
80 歳以上	新しい雇用や税収につながる企業の誘致 50.0%	道路の整備による移動の円滑化 50.0%
		身近なお店や商店街の振興 27.4%

【各年代とも上位項目は同様の傾向も、第 1 位項目では差異】

○年代別にみると、各年代とも全体で上位の「新しい雇用や税収につながる企業の誘致」、「市内外から人を集める商業・娯楽・サービスの充実」「道路の整備による移動の円滑化」の 3 項目に、幅広い年代で選ばれた「身近なお店や商店街の振興」を加えた項目が上位項目となっています。

問 1 1 少子化に歯止めをかけるため、向日市では特にどんな取組みに力を入れるべきだとお考えですか。特に大切と思われるものを2つ選び、右欄にご記入ください。

1 子育てに関する経済的な負担の軽減	
2 結婚につながる出会いの機会の創出	
3 保育サービスや保育施設の充実	
4 子どもの多い世帯に対する支援の充実	
5 妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実	
6 生命や家庭の大切さなどの価値観の醸成	
7 育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり	
8 仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し	
9 幼児教育や小中学校教育など教育の充実	
10 その他（具体的に	）



【子育ての経済的な負担の軽減、保育サービスや環境の向上に多くの回答】

- 少子化対策として力を入れることとしては、「子育てに関する経済的な負担の軽減」を選択する回答者が多く、50.1%に達しています。
- 「保育サービスや保育施設の充実」(34.3%) など、仕事と育児の両立に関することも多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第 1 位		
10 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 44.4%	保育サービスや保育施設の充実 44.4%	妊娠・出産・子育てに関する相談や母子に関する医療の充実 44.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 71.4%	保育サービスや保育施設の充実 38.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 24.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 60.0%	保育サービスや保育施設の充実 45.6%	仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し 21.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 59.2%	保育サービスや保育施設の充実 28.3%	子どもの多い世帯に対する支援の充実 19.2%
			幼児教育や小中学校教育など教育の充実 19.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 49.5%	保育サービスや保育施設の充実 38.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 20.4%
			仕事と家庭の両立（ワークライフバランス）など働き方の見直し 20.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 50.0%	保育サービスや保育施設の充実 35.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 26.7%

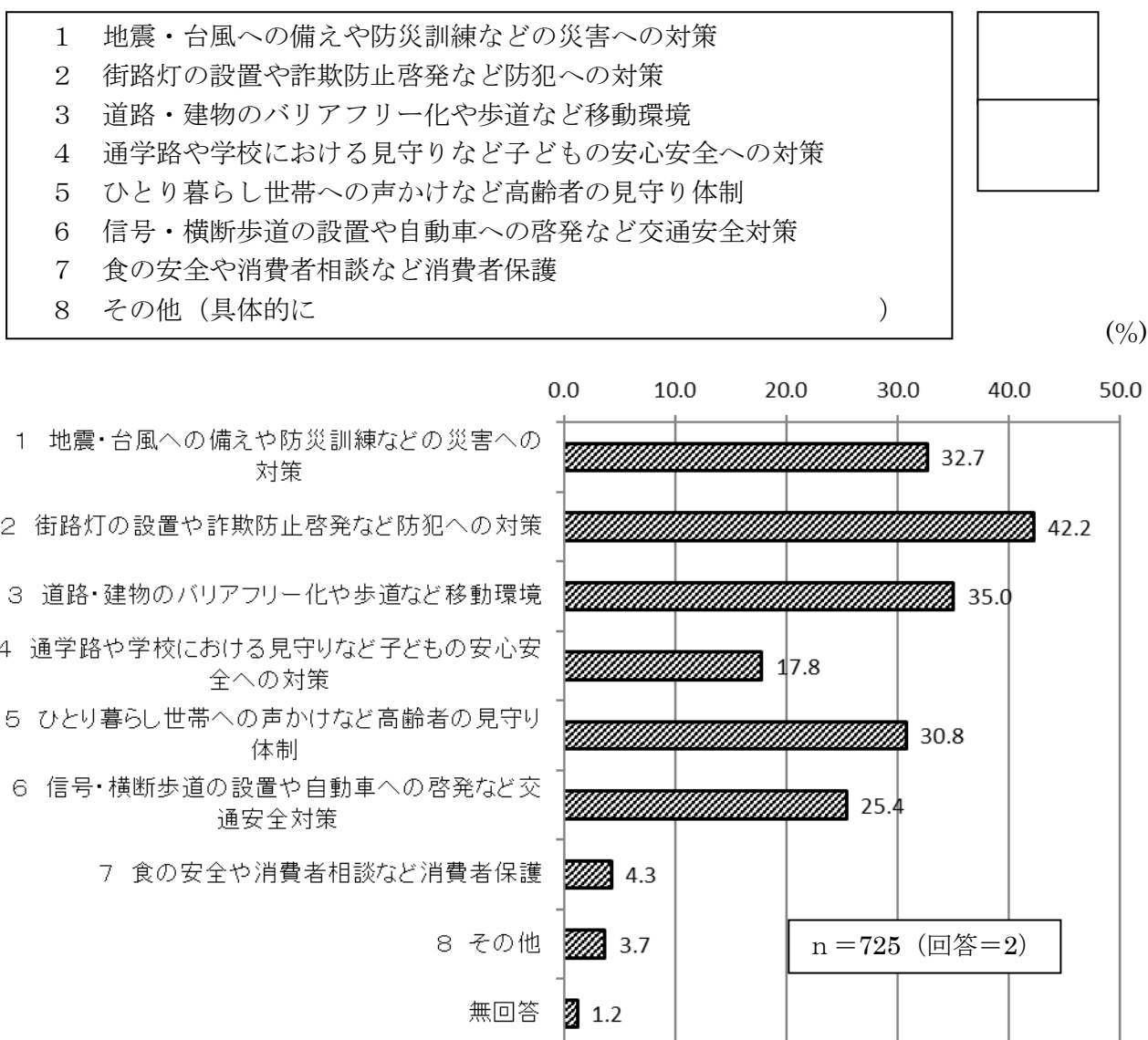
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	子育てに関する経済的な負担の軽減 36.0%	保育サービスや保育施設の充実 30.8%	育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり 23.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	子育てに関する経済的な負担の軽減 41.9%	保育サービスや保育施設の充実 24.2%	結婚につながる出会いの機会の創出 21.0%

【年代別にみても、概ね全体と同様の傾向】

○年代別にみると、全ての年代で「子育てに関する経済的な負担の軽減」が第 1 位、「保育サービスや保育施設の充実」が第 2 位となっており、これに続く「育児休業や再就職支援など、安心して働き続けられる職場づくり」が 20、50～70 歳代で第 3 位となっており、全体と年代別で同様の傾向を示しています。

問 1 2 あなたが暮らしている地域の安心・安全について、不安に思うことはありますか。
特に不安に思うことを2つまで選び、右欄にご記入ください。



【多様な分野への関心】

○「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」の42.2%をはじめ、「道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境」(35.0%)、「地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策」(32.7%)、「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制」(30.8%)の4項目が3割以上となっており、安全・安心に関する多様な分野への関心を示す結果となりました。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 44.4%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 33.3%	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 22.2% 通学路や学校における見守りなど子どもの安心安全への対策 22.2% ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 22.2% 信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策 22.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 44.9%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 40.8%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 30.6%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 41.1%	通学路や学校における見守りなど子どもの安心安全への対策 40.0%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 38.9%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 45.8%	信号・横断歩道の設置や自動車への啓発など交通安全対策 34.2%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 32.5% 道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 32.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 49.5%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 43.7%	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 28.2%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 41.7%	道路・建物のバリアフリー化や歩道など移動環境 41.7%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 37.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 39.0%	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 28.2%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 33.7%

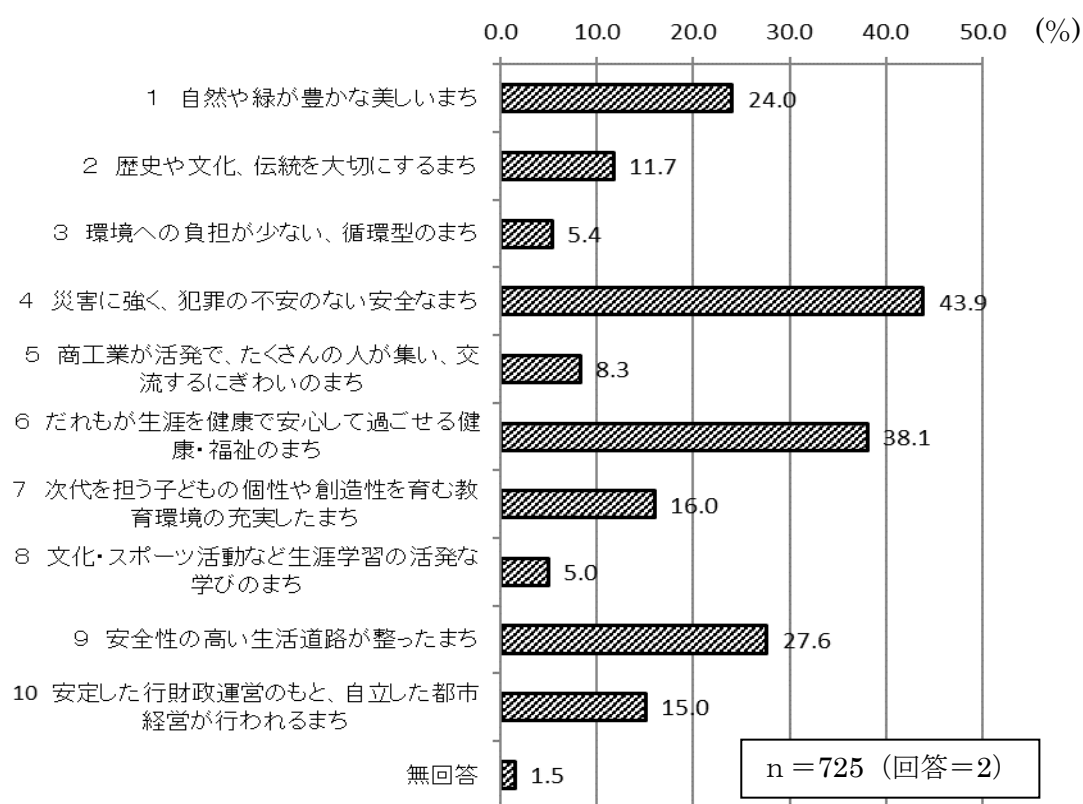
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者の見守り体制 56.5%	街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策 35.5%	地震・台風への備えや防災訓練などの災害への対策 32.3%

【ライフステージに応じて関心を持つ安心・安全の分野も変化】

- 年代別にみると、10～70 歳代で「街路灯の設置や詐欺防止啓発など防犯への対策」が第 1 位となっております。
- 「ひとり暮らし世帯への声かけなど高齢者見守り体制」が 70 歳代で第 2 位、80 歳以上で第 1 位となっており、年代（ライフステージ）によって関心をもつ分野が変化しています。

問13 今後、向日市がどんなまちであってほしいとお考えですか。特にあてはまるものを2つまで選び、右欄にご記入ください。

- 1 自然や緑が豊かな美しいまち
- 2 歴史や文化、伝統を大切にするまち
- 3 環境への負担が少ない、循環型のまち
- 4 災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち
- 5 商工業が活発で、たくさんの人が集い、交流するにぎわいのまち
- 6 だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち
- 7 次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち
- 8 文化・スポーツ活動など生涯学習の活発な学びのまち
- 9 安全性の高い生活道路が整ったまち
- 10 安定した行財政運営のもと、自立した都市経営が行われるまち



【「安心」「安全」「健康」に多くの回答】

○上位の回答としては、「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」(43.9%)が第1位で、「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」(38.1%)、「安全性の高い生活道路が整ったまち」(27.6%)と続いており、誰にとっても身近な事柄である安心・安全・健康に関する項目が多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位		第3位
10 歳代	自然や緑が豊かな美しいまち 33.3%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 33.3%	歴史や文化、伝統を大切にするまち 22.2%
			商工業が活発で、たくさんの人が集い、交流するにぎわいのまち 22.2%
			安定した行財政運営のもと、自立した都市経営が行われるまち 22.2%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 44.9%	安全性の高い生活道路が整ったまち 30.6%	次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち 28.6%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 43.3%	次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち 42.2%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 26.7%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 41.7%	安全性の高い生活道路が整ったまち 40.0%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 33.3%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 42.7%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 39.8%	自然や緑が豊かな美しいまち 29.1%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 43.3%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 40.0%	自然や緑が豊かな美しいまち 25.0%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 48.8%	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 44.8%	自然や緑が豊かな美しいまち 25.6%

	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 54.8%	だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち 41.9%	安全性の高い生活道路が整ったまち 30.6%

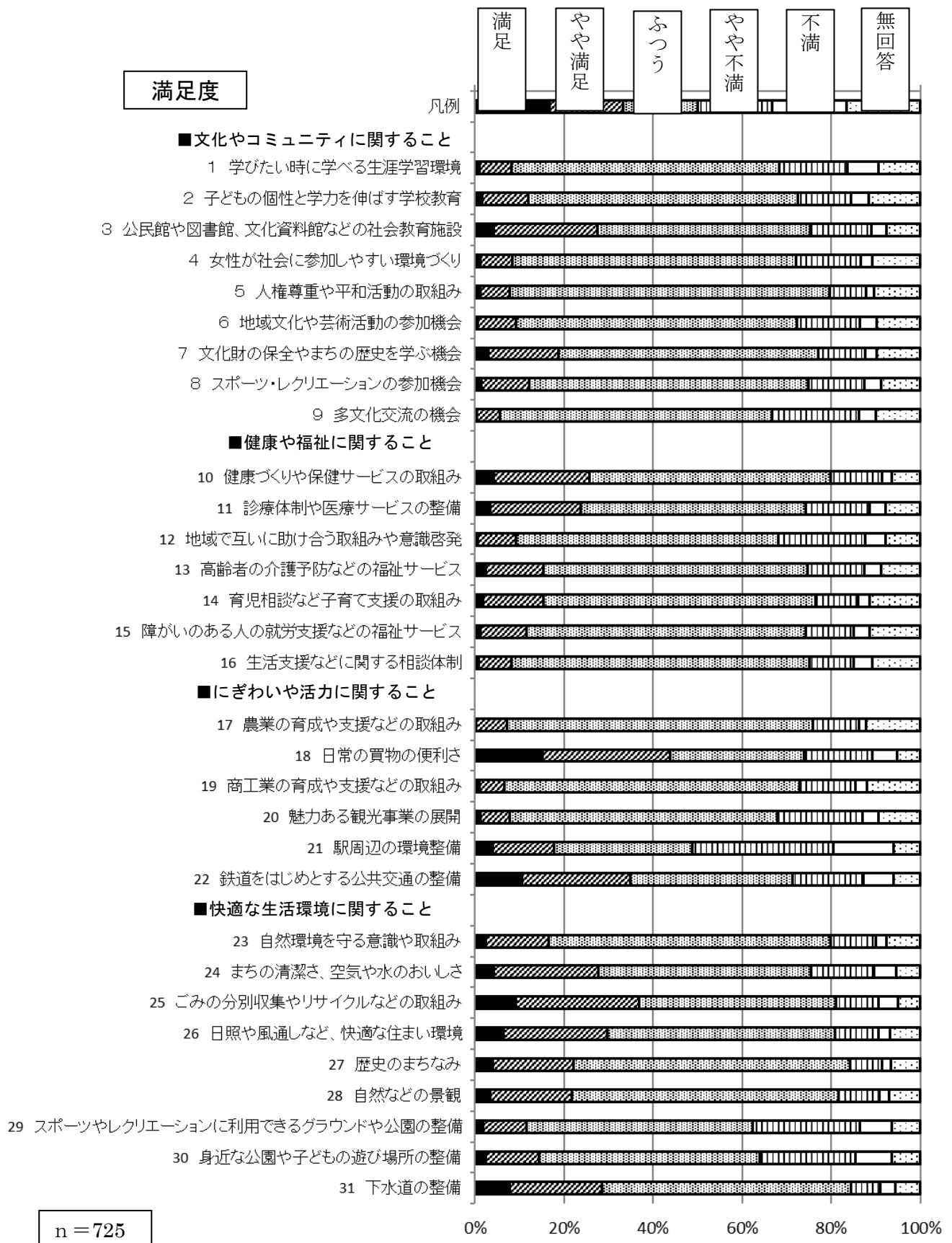
【各年代とも上位項目は同様の傾向】

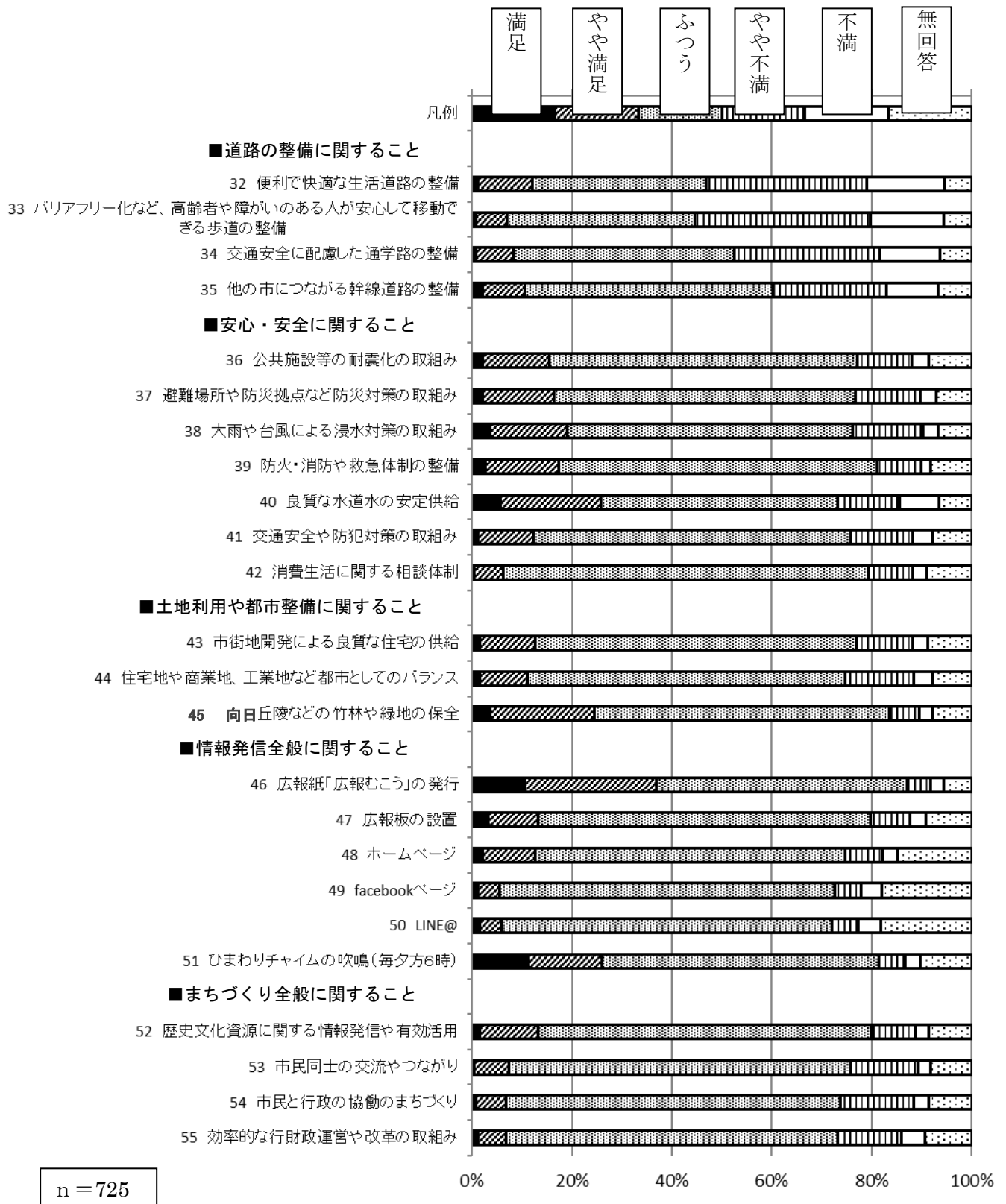
○年代別にみると、順位は異なりますが、全ての年代で「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」「だれもが生涯を健康で安心して過ごせる健康・福祉のまち」の2項目が上位を占めています。

○20、30 歳代では「次代を担う子どもの個性や創造性を育む教育環境の充実したまち」が、10、50～70 歳では「自然や緑が豊かな美しいまち」が上位に入っており、年代によって関心をもつ分野が変化しています。

■ 施策の満足度・重要度について

問 1 4 あなたは、まちの住みごちや行政の施策について、日ごろどのように感じておられますか。また、今後の重要性について、どのようにお考えですか。回答例にならって、今のお気持ちに最も近い番号を1つ選んで○印をつけてください。





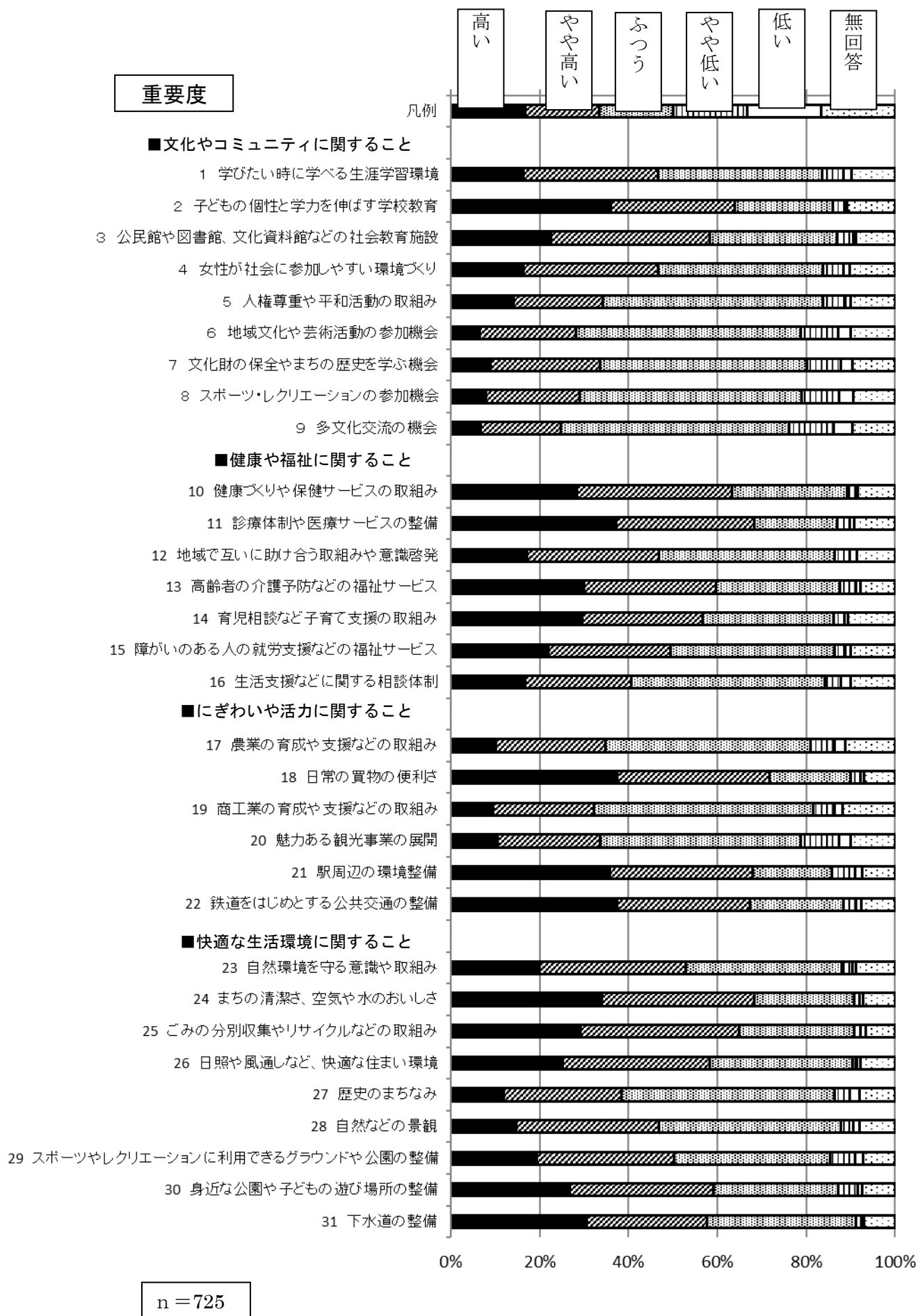
【満足度上位】

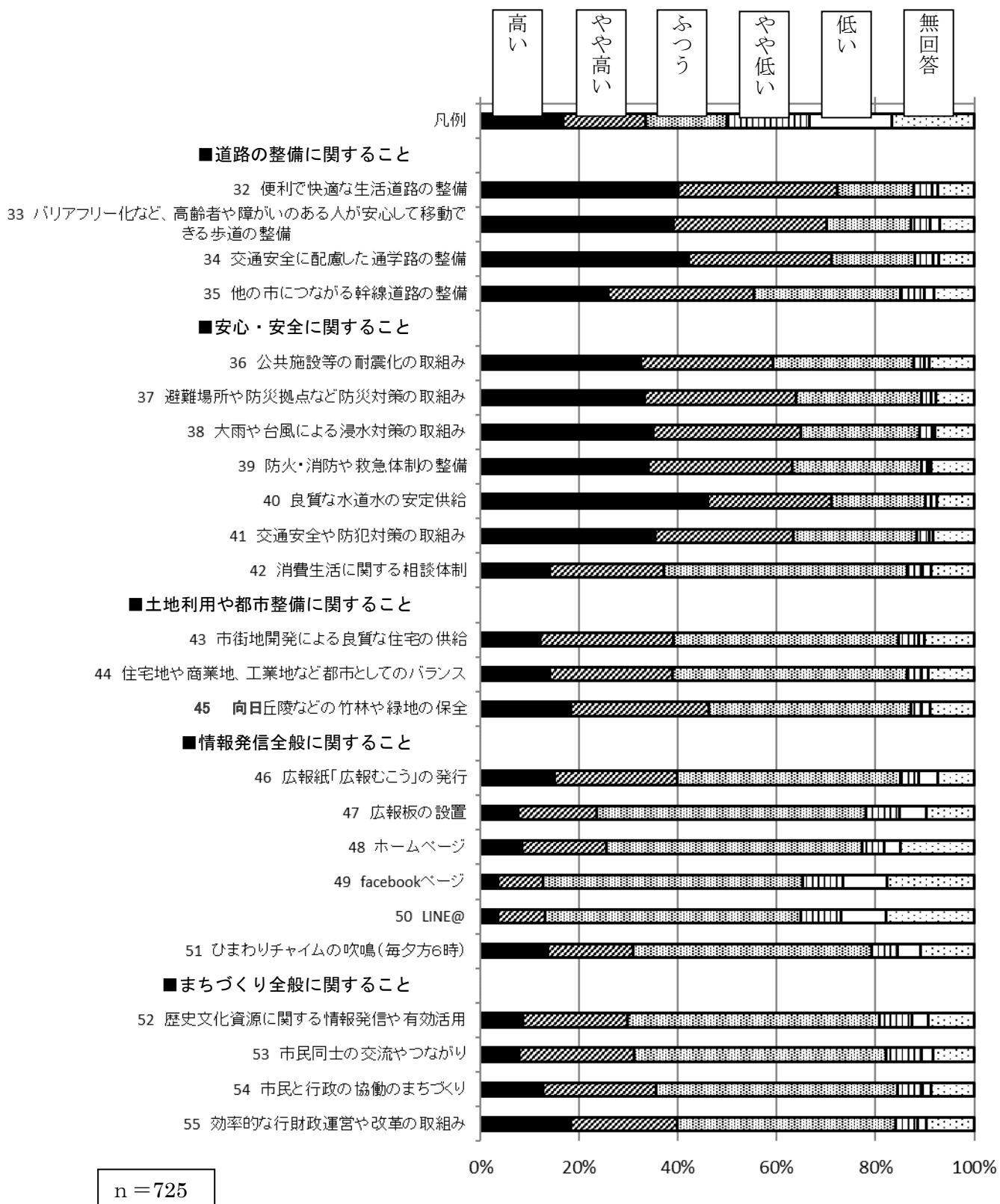
選択項目	係数ポイント
46 広報紙「広報むこう」	3.40
18 日常の買物の便利さ	3.34
51 ひまわりチャイム	3.29
25 ごみ分別・リサイクル	3.29
31 下水道の整備	3.24

【満足度下位】

選択項目	係数ポイント
33 安心して移動できる歩道整備	2.40
32 便利で快適な生活道路	2.47
34 交通安全に配慮した通学路の整備	2.53
21 駅周辺の環境整備	2.61
35 他市につながる幹線道路の整備	2.67

※)「係数ポイント」は「満足」を5点～「不満」を1点としたものの平均値。





【重要度上位】

選択項目	係数ポイント
40 良質な水道水の安定供給	4. 2 3
34 交通安全に配慮した通学路の整備	4. 1 5
32 便利で快適な生活道路	4. 1 5
18 日常の買物の便利さ	4. 1 3
11 診療・医療サービスの整備	4. 1 1

【重要度下位】

選択項目	係数ポイント
50 LINE@	2. 8 8
49 facebook ページ	2. 8 8
9 多文化交流の機会	3. 1 4
47 広報板の設置	3. 1 5
6 地域文化や芸術活動の参加機会	3. 2 3

※)「係数ポイント」は「高い」を5点～「低い」を1点としたものの平均値。

■文化やコミュニティに関すること

	満足度	重要度
1 学びたい時に学べる生涯学習環境	2.78	3.61
2 子どもの個性と学力を伸ばす学校教育	2.93	4.08
3 公民館や図書館、文化資料館などの社会教育施設	3.12	3.84
4 女性が社会に参加しやすい環境づくり	2.88	3.62
5 人権尊重や平和活動の取組み	2.97	3.45
6 地域文化や芸術活動の参加機会	2.87	3.23
7 文化財の保全やまちの歴史を学ぶ機会	3.06	3.33
8 スポーツ・レクリエーションの参加機会	2.93	3.24
9 多文化交流の機会	2.77	3.14

■健康や福祉に関すること

	満足度	重要度
10 健康づくりや保健サービスの取組み	3.15	3.97
11 診療体制や医療サービスの整備	3.06	4.11
12 地域で互いに助け合う取組みや意識啓発	2.79	3.63
13 高齢者の介護予防などの福祉サービス	2.97	3.91
14 育児相談など子育て支援の取組み	3.02	3.92
15 障がいのある人の就労支援などの福祉サービス	2.94	3.74
16 生活支援などに関する相談体制	2.90	3.55

■にぎわいや活力に関すること

	満足度	重要度
17 農業の育成や支援などの取組み	2.93	3.39
18 日常の買物の便利さ	3.34	4.13
19 商工業の育成や支援などの取組み	2.88	3.38
20 魅力ある観光事業の展開	2.81	3.33
21 駅周辺の環境整備	2.61	4.03
22 鉄道をはじめとする公共交通の整備	3.17	4.08

■快適な生活環境に関すること

	満足度	重要度
23 自然環境を守る意識や取組み	3.04	3.75
24 まちの清潔さ、空気や水のおいしさ	3.08	4.07
25 ごみの分別収集やリサイクルなどの取組み	3.29	3.96
26 日照や風通しなど、快適な住まい環境	3.22	3.87
27 歴史のまちなみ	3.16	3.46
28 自然などの景観	3.12	3.61
29 スポーツやレクリエーションに利用できるグラウンドや公園の整備	2.73	3.65
30 身近な公園や子どもの遊び場所の整備	2.77	3.86
31 下水道の整備	3.24	3.92

■道路の整備に関すること

	満足度	重要度
32 便利で快適な生活道路の整備	2.47	4.15
33 バリアフリー化など、高齢者や障がいのある人が安心して移動できる歩道の整備	2.40	4.09
34 交通安全に配慮した通学路の整備	2.53	4.15
35 他の市につながる幹線道路の整備	2.67	3.79

■安心・安全に関すること

	満足度	重要度
36 公共施設等の耐震化の取組み	3.00	3.96
37 避難場所や防災拠点など防災対策の取組み	2.99	4.01
38 大雨や台風による浸水対策の取組み	3.03	4.05
39 防火・消防や救急体制の整備	3.08	4.04
40 良質な水道水の安定供給	3.04	4.23
41 交通安全や防犯対策の取組み	2.93	4.03
42 消費生活に関する相談体制	2.92	3.48

■土地利用や都市整備に関すること

	満足度	重要度
43 市街地開発による良質な住宅の供給	2.97	3.50
44 住宅地や商業地、工業地など都市としてのバランス	2.91	3.52
45 向日丘陵などの竹林や緑地の保全	3.18	3.65

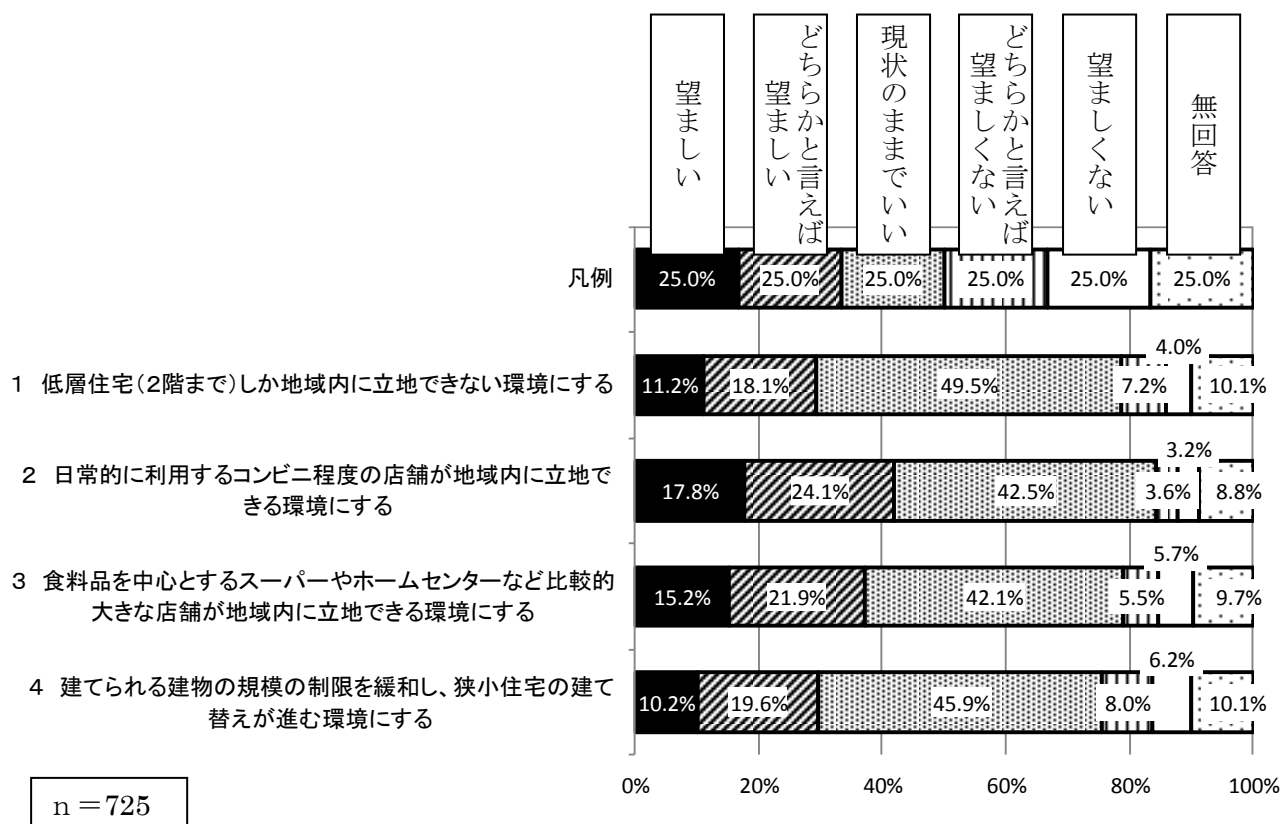
■情報発信全般に関わること

	満足度	重要度
46 広報紙「広報むこう」の発行	3.40	3.47
47 広報板の設置	3.03	3.15
48 ホームページ	3.01	3.27
49 facebookページ	2.91	2.88
50 LINE@	2.92	2.88
51 ひまわりチャイムの吹鳴(毎夕方6時)	3.29	3.34

■まちづくり全般に関わること

	満足度	重要度
52 歴史文化資源に関する情報発信や有効活用	3.01	3.28
53 市民同士の交流やつながり	2.89	3.30
54 市民と行政の協働のまちづくり	2.86	3.43
55 効率的な行財政運営や改革の取組み	2.84	3.56

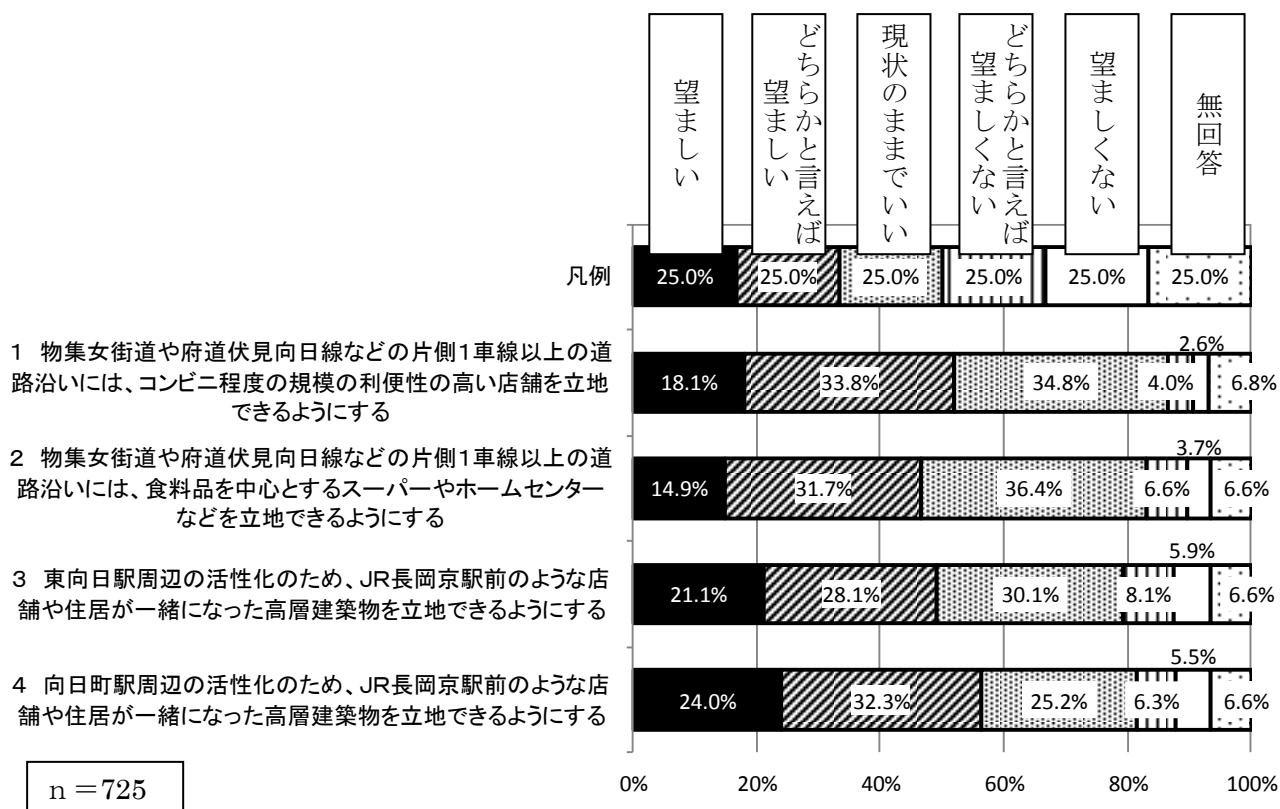
問15 お住いの地域（^{こあざ}小字）の土地利用についてお聞きします。地域の住環境としてどのようなことを望まれますか。項目ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。



【「コンビニ程度の店舗が立地できる環境」を望む回答が比較的多い】

○「望ましい」と「どちらかと言えば望ましい」を合わせた割合でみると「日常的に利用するコンビニ程度の店舗が地域内に立地できる環境にする」（41.9%）が4割を超える回答を集めています。

問16 まちの賑わいを創出するための土地利用について、どのようなことを望まれますか。
項目ごとに、あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。



【駅周辺の活性化では「向日町駅」を望む回答が多い】

○幹線道路沿いの土地利用について「望ましい」と「どちらかと言えば望ましい」を合わせた割合でみると「コンビニ程度の規模の利便性の高い店舗を立地できるようにする」(51.9%)が5割を超える回答を集めています。

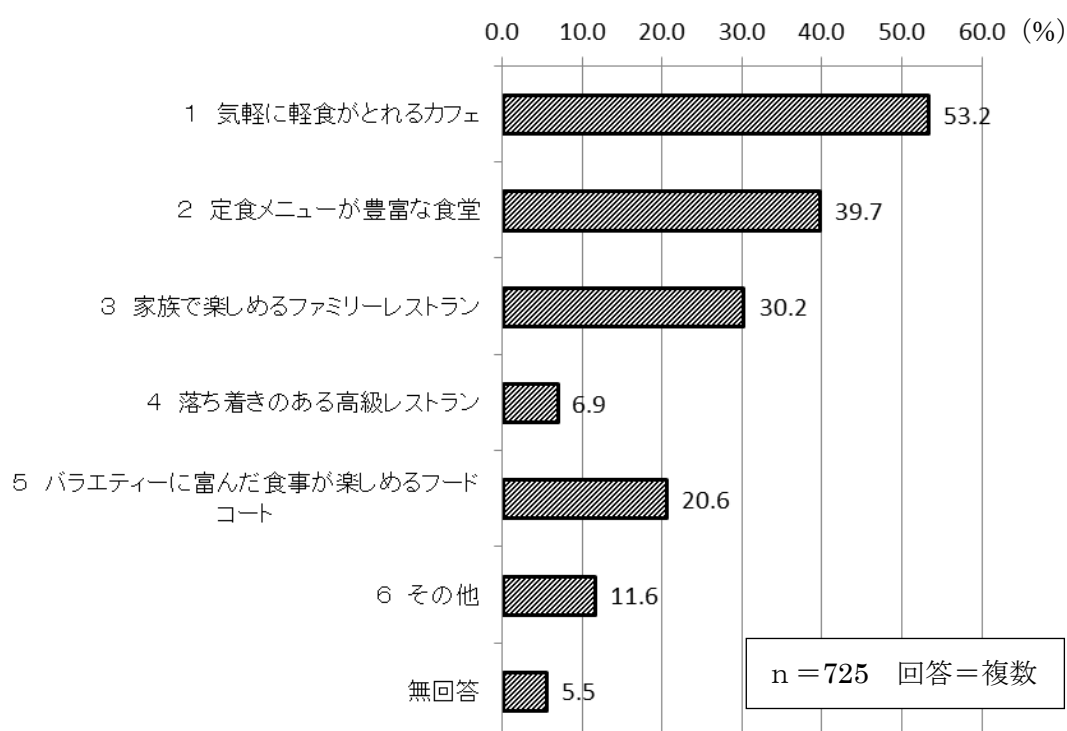
○駅周辺の土地利用について「望ましい」と「どちらかと言えば望ましい」を合わせた割合でみると「向日町駅周辺の活性化のため、JR長岡京駅前のような店舗や住居が一緒になった高層建築物を立地できるようにする」(56.3%)が5割を超える回答を集めています。

市では、市役所を建て替える事業を進めており、新庁舎の5階にはどなたでも利用できるレストランを計画しています。

そこで、「新庁舎展望レストラン」について、ご意見をお聞かせください。

問17 新庁舎展望レストランに期待する運営形態について、あてはまるものを選び、○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 気軽に軽食がとれるカフェ
- 2 定食メニューが豊富な食堂
- 3 家族で楽しめるファミリーレストラン
- 4 落ち着いた高級レストラン
- 5 バリエーションに富んだ食事が楽しめるフードコート
- 6 その他 ()



【気軽に軽食がとれるカフェ、定食メニューに多くの回答】

○期待する運営形態については、「気軽に軽食がとれるカフェ」を選択する回答者が多く、53.2%に達しています。

○「定食メニューが豊富な食堂」(39.7%)なども、多くの回答を集めています。

【年代別集計】

	第1位	第2位	第3位
10 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 66.7%	家族で楽しめるファミリーレストラン 55.6%	バラエティーに富んだ食事が楽しめるフードコート 44.4%

	第1位	第2位	第3位
20 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 59.2%	定食メニューが豊富な食堂 38.8%	バラエティーに富んだ食事が楽しめるフードコート 26.5%

	第1位	第2位	第3位
30 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 56.7%	定食メニューが豊富な食堂 38.9%	家族で楽しめるファミリーレストラン 35.6%

	第1位	第2位	第3位
40 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 48.3%	定食メニューが豊富な食堂 42.5%	家族で楽しめるファミリーレストラン 31.7%

	第1位	第2位	第3位
50 歳代	定食メニューが豊富な食堂 45.6%	気軽に軽食がとれるカフェ 44.7%	家族で楽しめるファミリーレストラン 28.2%

	第1位	第2位	第3位
60 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 56.7%	定食メニューが豊富な食堂 42.5%	家族で楽しめるファミリーレストラン 27.5%

	第1位	第2位	第3位
70 歳代	気軽に軽食がとれるカフェ 57.6%	定食メニューが豊富な食堂 35.5%	家族で楽しめるファミリーレストラン 30.2%

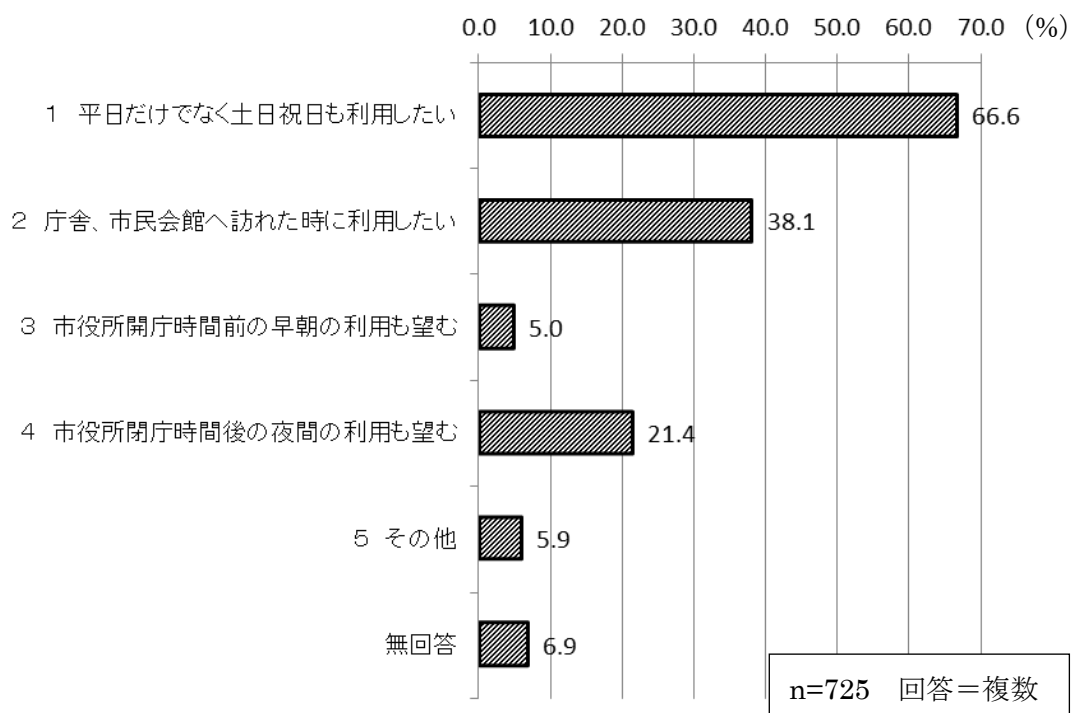
	第1位	第2位	第3位
80 歳以上	気軽に軽食がとれるカフェ 46.8%	定食メニューが豊富な食堂 33.9%	家族で楽しめるファミリーレストラン 32.3%

【各年代とも上位項目は同様の傾向】

- 年代別にみると、50 歳代を除くすべての年代で「気軽に軽食がとれるカフェ」が第1位、50 歳代は「定食メニューが豊富な食堂」が第1位となっています。
- 「定食メニューが豊富な食堂」が10 歳代、50 歳代を除くすべての年代で第2位。50 歳代は「気軽に軽食がとれるカフェ」、10 歳代は「家族で楽しめるファミリーレストラン」が第2位となっています。

問 18 新庁舎展望レストランに望む営業時間について、あてはまるものを選び、○印をつけてください。(複数回答可)

- 1 平日だけでなく土日祝日も利用したい
- 2 庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい
- 3 市役所開庁時間前の早朝の利用も望む
- 4 市役所閉庁時間後の夜間の利用も望む
- 5 その他 ()



【平日だけでなく土日祝日も利用したいに多くの回答】

○上位の回答としては、「平日だけでなく土日祝日も利用したい」(66.6%)が第1位で、「庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい」(38.1%)、「市役所閉庁時間後の夜間の利用も望む」(21.4%)となっています。

【年代別集計】

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
10 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 55.6%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 44.4%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 11.1%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
20 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 61.2%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 36.7%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 16.3%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
30 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 83.3%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 35.6%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 26.7%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
40 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 65.8%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 28.3%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 22.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
50 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 71.8%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 26.2%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 19.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 70.0%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 43.3%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 27.5%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70 歳代	平日だけでなく土日祝日も利用したい 58.1%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 50.0%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 19.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
80 歳以上	平日だけでなく土日祝日も利用したい 58.1%	庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい 37.1%	市役所閉庁時間後も夜間の利用も望む 12.9%

【全ての年代で「平日だけでなく土日祝日も利用したい」が第 1 位】

○年代別にみると、全ての年代で「平日だけでなく土日祝日も利用したい」が第 1 位、「庁舎、市民会館へ訪れた時に利用したい」が第 2 位となっており、これに続く「市役所閉庁時間後の夜間の利用も望む」が第 3 位となっております。

自由意見

●歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

○歴史・文化、観光、情報発信・PR（１１件）

テーマ	意見例
歴史・文化 観光 情報発信・PR	・竹の径などの整備及び観光PR ・お土産の開発 ・海外向けのPR 等

○産業の活性化（１６件）

テーマ	意見例
産業の活性化	・企業誘致 ・飲食店の充実 ・新庁舎のレストラン活用 ・高齢者買い物環境向上 ・上植野周辺の商業活性化 ・駅前活性化 ・農産物・特産物のPR 等

○都市基盤の整備（１２２件）

テーマ	意見例
道路整備 駅周辺整備 公園・グラウンド・ 広場等整備 住宅	・物集女街道の整備 ・歩道や自転車レーンの整備 ・坂道が多い ・休憩場所の充実 ・電柱地中化 ・駅周辺整備 ・子どもがのびのび遊べる公園整備 ・緑あふれる街並み ・歩きタバコの禁止 ・空家対策 等

●人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

○子育て、少子化対策（９件）

テーマ	意見例
結婚 妊娠・出産 保育	・ 出会いの場づくり ・ 保育サービスの充実 ・ 子育て支援センターの充実 等

○健康・福祉（２３件）

テーマ	意見例
健康・医療 高齢者 障がいのある人 地域福祉	・ 高齢者の集える場づくり ・ 高齢者の乗り物割引 ・ 就労支援の充実 ・ 健康づくり ・ ゆめパレアの料金見直し ・ 救護施設問題の解決 ・ １８歳までの医療費無料化 等

○環境・資源循環（３７件）

テーマ	意見例
廃棄物 自然環境 生活環境	・ ごみ回収について（回数増加、時間延長、ルール徹底） ・ 自然保全 ・ 野良猫増加 等

○防災・消防救急・防犯・交通安全、公共交通（４６件）

テーマ	意見例
防災 消防救急 防犯 交通安全 公共交通	・ 水害対策の強化 ・ 情報伝達の強化 ・ 街灯の設置 ・ 防犯カメラの設置 ・ アレルギー対応の防災食 ・ 歩行者・自転車・自動車の安全 ・ コミュニティバスの路線延長 等

○上下水道（１２件）

テーマ	意見例
上水道 下水道	・ 水道料金の見直し ・ 水道水の水質改善（味、におい） 等

○学校教育・生涯学習・スポーツ（１５件）

テーマ	意見例
教育環境 生涯学習 スポーツ	・ ＩＣＴ機器導入 ・ 自習できるスペース ・ 通学路の安全 ・ 楽器練習可能な防音室や野球ができるグラウンド 等

●信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

○市民参加、市民協働（１２件）

テーマ	意見例
コミュニティ 市民参画	・コミュニケーション活動の拠点づくり ・ご近所付き合いの活性化 ・自治会の活性化 等

○行財政運営、議会（３３件）

テーマ	意見例
行財政運営 議会	・市役所本館・東向日別館の利便性向上 ・開庁時間の延長 ・適正な税金の使い方 ・職員研修の充実 等

●その他（２４件）

テーマ	意見例
その他	・小さくとも活気のある元気なまちづくり ・次の世代が住みたいと思うまちづくり ・時代に合った施策 ・競輪場の有効活用 等

【都市基盤に多くの意見】

○回収した全アンケート 725 件に対し、360 件（49.7%）で自由意見欄への記載があり、特に都市基盤の整備（122 件）へ多くの意見が寄せられました。

向日市のまちづくりに関する市民アンケート結果報告

発行／令和２年３月

向日市

〒６１７－８６６５ 京都府向日市寺戸町中野２０

TEL：０７５－９３１－１１１１（代） FAX：０７５－９２２－６５８７

E-mail：kikakukoho@city.muko.lg.jp

(素案)

第 3 次ふるさと向日市創生計画

向 日 市

【掲載ページ】

序論	1
基本フレーム	3
施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり	5
施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進	6
" 2 産業の活性化	8
" 3 都市基盤の整備	10
" 4 ゼロカーボンシティの実現	15
" 5 循環型社会の確立	16
" 6 生活の安心・安全の確保	17
" 7 ライフラインの強化	19
施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり	20
施策分野1 少子化対策・子育て支援	21
" 2 健康づくりの推進	22
" 3 高齢者が安心して暮らせる体制の充実	23
" 4 障がい者福祉の充実	24
" 5 地域福祉の充実	25
" 6 学校教育の充実	26
" 7 生涯学習の推進	31
" 8 生涯スポーツの振興	34
施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり	35
施策分野1 市民協働の推進	36
" 2 人権・平和・男女共同参画の推進	38
" 3 自治体DXの推進	40
" 4 情報発信の充実	41

序論

（１）計画策定の目的

本市では、「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」「人と暮らしに明るくやさしいまちづくり」「信頼と協働で市民の声が届くまちづくり」の３つを施策の柱として、平成２７年度に「ふるさと向日市創生計画」を、令和元年度に「第２次ふるさと向日市創生計画」を策定し、達成すべき重要な施策を中心にまちづくりに取り組んでまいりました。

この間、我が国では、急速な少子高齢化や人口減少に伴う地域活力の低下等の構造的な課題がより深刻化しており、本市においても長期的には少子高齢化の進行が見込まれる中で、持続可能な社会の実現に取り組んでいかなければなりません。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行や、ロシアのウクライナ侵攻に端を発する物価高騰などにより、社会経済環境が大きく変化していることに加え、気候変動による災害の激甚化・頻発化への対応が求められるなど、様々な課題が新たに生じています。

本計画は、このような状況を踏まえ、社会情勢の変化にしなやかに対応しながら、貴重な地域資源や利便性といった本市の魅力を高め発信するとともに、将来にわたって誰もが安心・安全・健康に暮らし続けられる環境づくりに取り組むことで、本市をより一層発展させ、全ての市民の皆さまが向日市のことを「ふるさと」だと思っていただけるまちづくりを推進するため策定するものです。

（２）計画の位置付け

本計画は、今後、本市が進むべき方向性を示したまちづくりの施策の柱となるものです。

（３）施策の柱

まちの魅力を広く発信する取組や、より一層の地域資源の活用、誰もが快適に暮らし続けられる地域づくり等を行い、市民の皆さまが誇りを持てるまちづくりを進めていくため、「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」「人と暮らしに明るくやさしいまちづくり」「信頼と協働で市民の声が届くまちづくり」の３つを本計画における施策の柱とします。

なお、本計画を推進するため、施策の柱ごとに、関連する施策分野、具体的な施策、施策の基本方向、取組及び目標を設定します。

Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

史跡長岡宮跡をはじめとする歴史・文化資源の活用や観光振興を進めるとともに、地域資源を活かした産業の活性化や将来を見据えた都市基盤整備事業を展開します。また、ゼロカーボンシティ（脱炭素社会）の実現を目指し、防災・防犯などへの対応による生活の安心・安全の確保に取り組むことで、活力と魅力あるまちづくりを推進します。

【施策分野】

歴史あふれるまちづくりの推進
産業の活性化
都市基盤の整備
ゼロカーボンシティの実現
循環型社会の実現
生活の安心・安全の確保
ライフラインの強化

Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

子育て支援や健康づくり、福祉・医療の充実に取り組むとともに、学校教育や生涯学習環境の整備などにより、誰もが健康でいきいきと暮らすことのできるまちづくりを推進します。

【施策分野】

少子化対策・子育て支援
健康づくりの推進
高齢者が安心して暮らせる体制の充実
障がい者福祉の充実
地域福祉の充実
学校教育の充実
生涯学習の推進
生涯スポーツの振興

Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

市民参画の機会や場の創設などに取り組み、市民の方々の信頼と協働によって、市民の声が届くまちづくりを進めます。また、行政のデジタル化を進め、効果的・効率的な行財政運営を推進するとともに、まちの魅力発信の充実を図ります。

【施策分野】

市民協働の推進
人権・平和・男女共同参画の推進
自治体 DX の推進
情報発信の充実

（４）計画の期間

この計画は、まちづくりの課題へ迅速に対応するとともに、次代の発展への礎を築いていくため重点的・優先的に取り組む施策を明らかにし、令和７年度から令和１１年度までの５か年度を計画期間とします。

なお、急激に変化する時代や環境の変化にスピード感を持って、しなやかに対応していくため、計画期間内においても毎年、見直しを行うものとします。

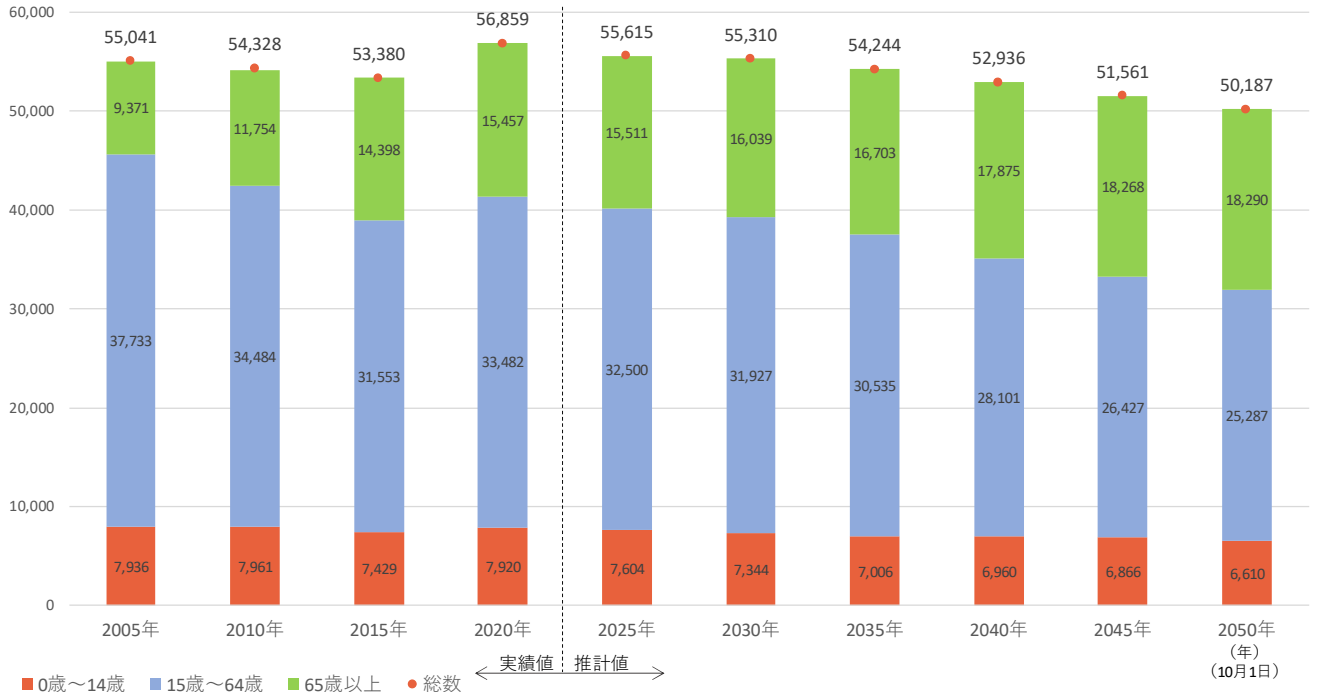
【基本フレーム（人口、土地利用）】

本計画を推進していく上で基本となる将来の人口推計と土地利用構想を次のように設定します。

人口

(人)

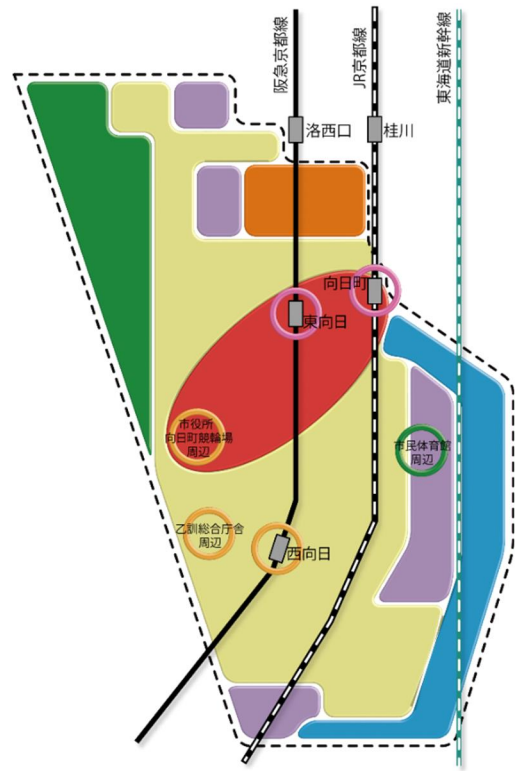
将来推計



※内訳の合計が総数と異なるのは年齢不詳者の数による。
参考：国立社会保障・人口問題研究所推計、実績値は国勢調査

土地利用

中心にぎわいゾーン	住環境との調和を図りつつ、幹線道路沿いや鉄道駅を中心に商業・業務・サービス等の多様な生活利便施設が集積し、街中を往来する人々でにぎわう市の中心となるゾーン
交流にぎわいゾーン	広域的な商業・業務施設や宿泊施設など、近隣都市や広域からの来訪者のニーズも充足する機能が集積したゾーン
住居地ゾーン	うるおい空間や防災機能の充実した市民が安全で快適に生活できる居住地としてのゾーン
産業ゾーン	京阪神大都市に近く、幹線道路沿道という立地条件を活かした工業・流通業の集積地として、また、新たな産業を創出する場として、本市のものづくりを支えるゾーン
丘陵緑地ゾーン	豊かな自然緑地及び歴史・文化資源を保全・活用し、市民や来訪者のレクリエーションの場としてのゾーン
維持活用ゾーン	都市近郊農業の場として、また、新たな産業（農産業含む）や雇用の場の創出を図る際の余力として、適切な維持管理とまちの活性化に向けた都市的な利用も検討するゾーン



第3次向日市都市計画マスタープランより（令和7年4月1日時点）
※今後の改定状況により、変更の可能性があります。

施策の柱 1

歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

＜施策分野 1＞歴史あふれるまちづくりの推進

＜施策分野 2＞産業の活性化

＜施策分野 3＞都市基盤の整備

＜施策分野 4＞ゼロカーボンシティの実現

＜施策分野 5＞循環型社会の実現

＜施策分野 6＞生活の安心・安全の確保

＜施策分野 7＞ライフラインの強化

＜施策分野１＞歴史あふれるまちづくりの推進

施策１ 歴史・文化資源の整備と活用

■基本方向

○史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群等市内に所在する文化財の保護及び積極的な整備・活用に努め、文化財を通じて市民の郷土愛を深める施策を推進し、その価値を未来に継承します。

■取組及び目標

取組及び目標
世代を越えた多くの人々が文化財を身近に感じられる施策の推進 …文化財所在地における紹介動画再生用 QR コード設置 【R5：0 か所 → R11：10 か所】
物集女城跡の整備

施策２ 観光振興の推進

■基本方向

- 「観る・食べる・買う」を充実させるとともに、国内外から積極的に観光客を誘致し地域経済の活性化を図るため、市内商工業の振興と合わせた、総合的、多角的な観光施策を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
向日市観光交流センターにおける観光誘客のための事業の実施 …来館者数【R5：88,610人 → R11：111,000人】
「竹の径」来訪者のための憩いの空間整備
土産等特産品の開発・認定 …開発・認定件数【R5：8件(H27～R5累計) → R11：20件(R7～R11累計)】
観光入込客数【R5：328,316人 → R11：765,000人】
観光消費額【R5：50,658千円 → R11：338,000千円】
京都アリーナ（仮称）を活用した観光客誘致イベントの開催の検討

＜施策分野２＞産業の活性化

施策１ 商工業の活性化

■基本方向

○京都アリーナ（仮称）の整備によって、雇用が創出され、市全体に経済効果が波及するよう、向日市商工会や金融機関とともに、アリーナの活用を検討しつつ、商工業者の育成や経営安定を支援する取組を推進し、市内商工業の振興や、にぎわいの創出を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標
ものづくり産業などへの販路開拓支援 …支援件数 【R5：6件 → R11：30件（R7～11累計）】
創業希望者へのきめ細かな支援 …創業件数 【R5：36件（R2～5累計） → R11：50件（R7～11累計）】

施策２ 農業の活性化

■基本方向

○新鮮で安心・安全な農産物を提供するために地産地消を推進するとともに、担い手の育成や農業資源を活用した農商工の連携を推進し、やりがいのある農業経営を支援します。

■取組及び目標

取組及び目標
地元農産物の販路拡大と地産地消の促進 …地元農産物の販売場所の拡大 【R5：2 か所 → R11：3 か所】
放置竹林対策の実施 …市民ボランティアによる竹林保全 【R6：2 か所 → R11：3 か所】

《施策分野3》都市基盤の整備

施策1 道路整備の推進

■基本方向

- 都市計画道路や幹線市道の整備を推進することで幹線道路のネットワーク及び交通の分散化を図ります。また、いろは呑龍トンネルが完全供用され、浸水安全度が改善されたことから、既存開水路を歩行空間に有効活用します。
- 市民生活に密着した生活道路の整備を推進することで、安全で快適な住環境づくりを目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
都市計画道路及び幹線市道の整備 …整備路線【都市計画道路御陵山崎線及び牛ヶ瀬馬場線、第3064号線、第1083号線、物集女寺戸幹線】
生活道路の整備 …【7路線整備完了（R7～11累計）】
交通安全対策の一層の推進 …通学路【5箇所整備完了（R7～11累計）】 …自転車利用促進計画の策定【R7：完了】及び自転車通行レーンの整備【2路線整備完了（R7～11累計）】

※図1及び図2参照

図1 令和11年度 整備完了路線

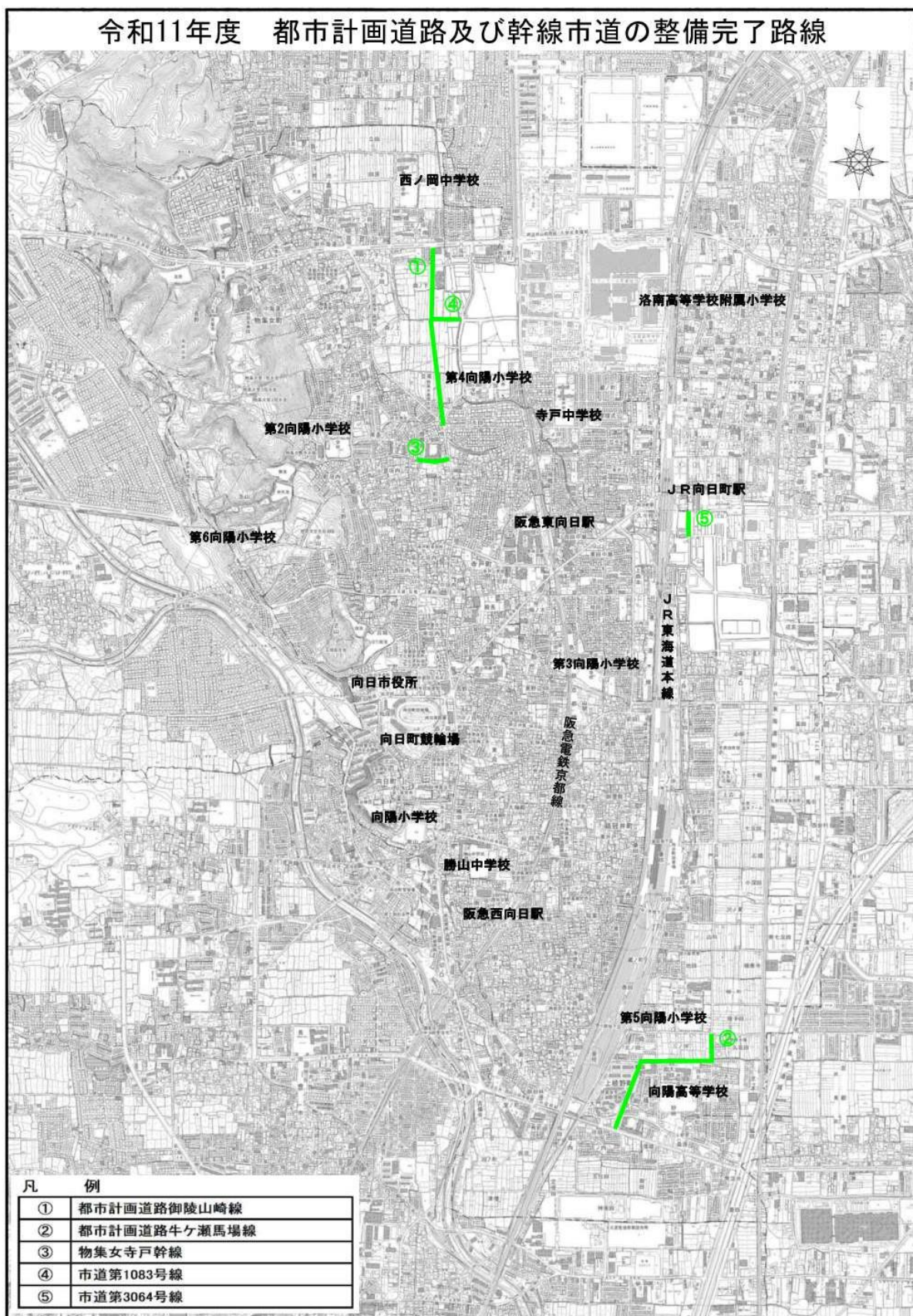
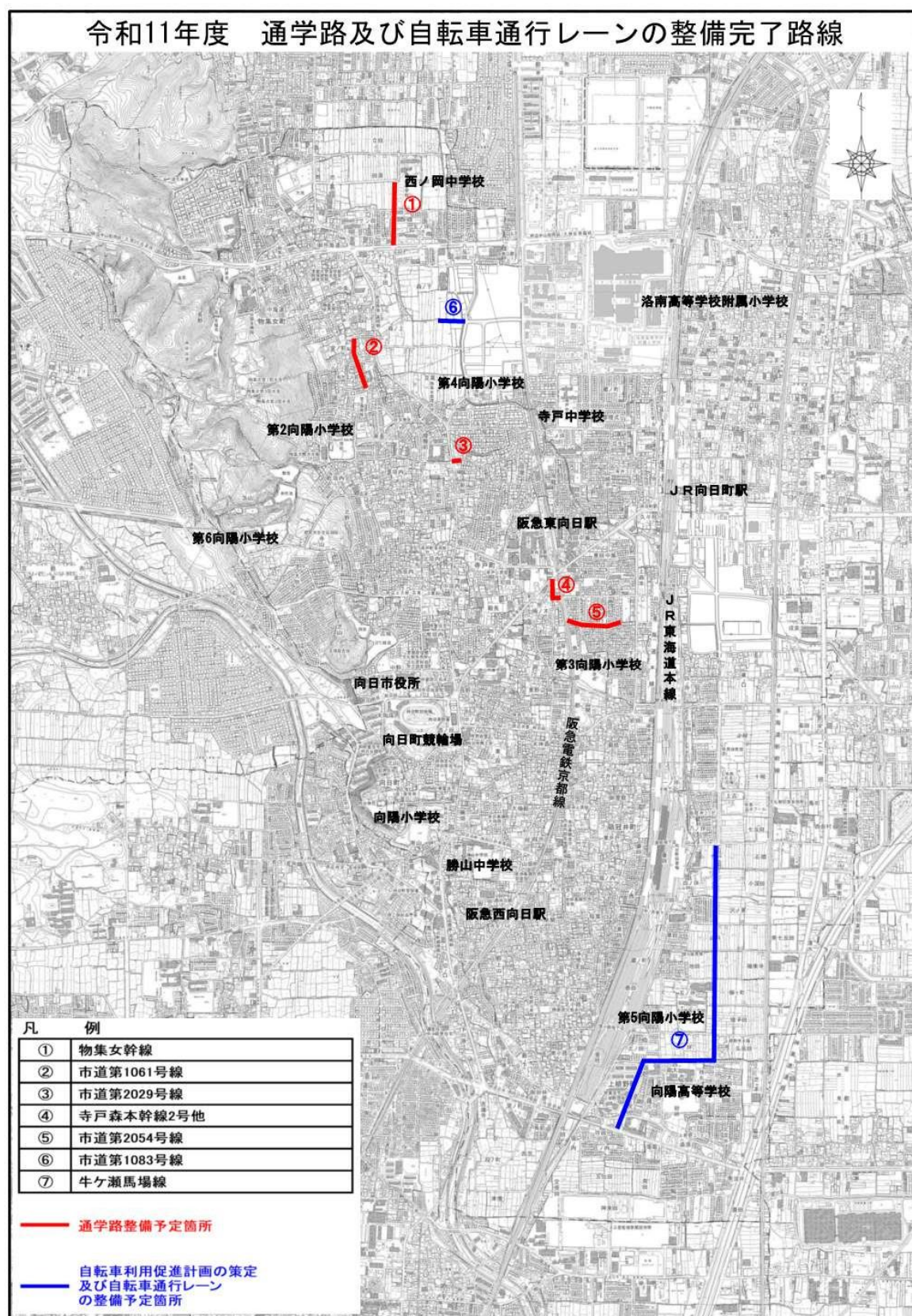


図2 令和11年度 通学路及び自転車通行レーンの整備完了路線



施策２ 快適で安全便利なまちづくり

■基本方向

○市民の利便性の向上と産業・観光の振興を図るとともに、都市計画制度を活用した快適で安全便利なまちづくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
幹線道路沿道のにぎわい創出に向けた都市計画変更
土地利用の転換による事業所の誘致事業の推進
地域特性に応じたまちづくり計画等の支援
歩行者の移動経路におけるベンチ等の休憩施設の整備 …【100基（R7～11累計）】
ぐるっとむこうバスをはじめとする公共交通の利用促進 …向日市運転免許証自主返納支援事業の申請者【R5：702人 → R11：1,600人】
地籍調査の推進 …地籍整備率【R5：8% → R11：12%】
空家等対策計画に基づいた空家等の適正管理の推進
名神高速道路スマートインターチェンジ*1開設に向けた検討

*1 スマートインターチェンジ

… 高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、通行可能な車両を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジのことをいいます。

施策3 駅周辺の都市基盤整備

■基本方向

- 東西自由通路や東口駅前広場など、ＪＲ向日町駅周辺を整備し、駅への利便性や安全性を向上させ、中心にぎわいゾーンへの都市機能の誘導を図るとともに、西口駅前広場の改良を検討します。
- 阪急京都線の連続立体交差の検討を行うとともに、阪急東向日駅周辺の整備を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
ＪＲ向日町駅周辺整備事業の推進 …東西自由通路・東口駅前広場の整備、西口駅前広場の改良検討 …市街地再開発事業による再開発ビル整備の推進
阪急京都線連続立体交差の検討及び駅周辺整備の推進

《施策分野4》ゼロカーボンシティの実現

施策1 気候変動対策の推進

■基本方向

○市民・事業者・行政が一体となって気候変動対策を進め、本市が掲げる2050年におけるゼロカーボンシティの実現を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
太陽光など再生可能エネルギーの利用推進 …戸建住宅の太陽光発電設備設置件数【R4：994件 → R13：1,800件】
公用車における電動車の導入 …電動車導入率【R5：64.5% → R12：100%】 (代替可能な電動車が無い場合を除く。)
公共施設におけるLED照明の導入推進 …LED照明導入率【R4：60% → R13：100%】
温室効果ガス排出量の削減 …市公共施設における温室効果ガス排出量削減率 【R4：23.6% → R12：50%】

《施策分野5》循環型社会の確立

施策1 ごみの減量と資源化の推進

■基本方向

○ごみの減量と資源化への取組を強化し、持続可能な循環型社会を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
ごみの発生抑制 …家庭系収集ごみ量 【R5：452 g/日・人 → R11：442 g/日・人】 …ごみ総排出量 【R5：13,450t → R11：13,218t】
ごみ減量と分別の啓発強化のためのごみ分別アプリ利用推進 …ごみ分別アプリダウンロード件数【R5：4,067件 → R11：6,500件】
資源ごみの再生利用（リサイクル）推進 …再生利用率 【R5：10.3% → R11：12.4%】

《施策分野6》生活の安心・安全の確保

施策1 災害対策・地域防災の充実

■基本方向

- 自助・共助・公助の連携によりあらゆる災害に対する備えが強化され、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指します。
- 地震や大雨、台風などの災害に対する自助意識の醸成と高揚を図り共助を高めます。
- 情報伝達体制の強化や避難支援体制の整備、避難所運営体制の充実等、災害時の市民の安心・安全を守る取組を推進します。
- 自主防災組織や消防団活動を支援し、火災や事故などの災害への対応能力向上を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標
防災マップの周知 …防災出前講座・出前授業の実施回数・参加人数 【R5：8回・521人 → R11：50回・3,500人（R7～11累計）】
桂川・小畑川氾濫時などにおける情報伝達体制の強化
要支援者に対する避難支援体制の整備
地域における避難所運営訓練の実施 …訓練回数【毎年1回実施】
災害備蓄物資の計画的な購入
土砂災害特別警戒区域対策の推進
自治会・町内会の自主防災組織への自主防災用器具設置補助
消防団による地域における警戒活動・訓練の実施
京都アリーナ（仮称）の地域防災拠点としての活用検討

施策２ 防犯力の強化

■基本方向

- 地域力を活かした市民ぐるみの防犯運動を推進します。
- 防犯カメラを活用して犯罪の未然防止を図るなど、地域の防犯力を高めます。

■取組及び目標

取組及び目標
地域の防犯ボランティア団体との連携充実
防犯カメラによる地域防犯力の強化 …自治会等への防犯カメラ整備補助による稼働台数【R5：20台 → R11：30台】

《施策分野7》ライフラインの強化

施策1 上下水道事業の安定経営

■基本方向

- 効率的な施設運営を図るとともに、更なる経営改善に努め、運営基盤を強化します。
- 水道施設を強化し、災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給します。
- 下水道施設の長寿命化を図るため、予防保全型の維持管理^{*1}を行います。

■取組及び目標

取組及び目標
上下水道事業経営の改善 …水道事業 企業債残高対給水収益比率【R5：312% → R15：290%】 …下水道事業 経常収支比率【R5：100.4% → R15：100%以上】
水道管路の耐震化 …重要な管路（基幹管路）の耐震適合率【R5：32.8% → R10：60%】
下水道施設の長寿命化の推進 …マンホール等管路施設の内部の点検及び調査【R7～11 累計 500 か所】

*1 予防保全型の維持管理

- … 污水管及びマンホール等の管路施設の損傷を早期に見つけ、事故や大規模な修繕に至る前に対策を実施する管理方法のことをいいます。

施策の柱 2

人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

＜施策分野 1＞少子化対策・子育て支援

＜施策分野 2＞健康づくりの推進

＜施策分野 3＞高齢者が安心して暮らせる体制の充実

＜施策分野 4＞障がい者福祉の充実

＜施策分野 5＞地域福祉の充実

＜施策分野 6＞学校教育の充実

＜施策分野 7＞生涯学習の推進

＜施策分野 8＞生涯スポーツの振興

≪施策分野1≫少子化対策・子育て支援

施策1 安心して産み育てる体制づくり

■基本方向

○安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
幼児教育・保育のベストマッチを推進 …待機児童 【待機児童0人を継続】
子どもの育ちを応援 …こども誰でも通園制度 【こども誰でも通園施設 R8：1か所】
子ども虐待の未然防止対策の推進 …前向き子育て講座修了者数（延べ人数）【R5：8人 → R11：60人】
放課後の児童の居場所拡充 …【民間放課後児童クラブの開設支援等】
妊娠から出産まで切れ目ない相談支援の実施 …妊娠届出時、出生後のニーズ把握と支援プラン作成の実施割合 【ニーズ把握と支援プラン作成の実施割合：100%】

＜施策分野2＞健康づくりの推進

施策1 生活習慣病予防による健康生活への支援

■基本方向

- 市民が主体的に健（検）診を受け、生活習慣の改善等の健康づくりに取り組めるよう支援します。
- 生活習慣病予防と介護予防との一体的な健康づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
特定健診の受診率向上 …受診率（向日市国民健康保険実施分）【R5：41.9%（中間報告）→R11：60%】
特定保健指導の実施 …実施率（向日市国民健康保険実施分）【実施率 70%以上を維持】 …特定保健指導対象者の減少率*1【R4：25.6% → 毎年度 25%以上を維持】
糖尿病など生活習慣病の重症化予防 …糖尿病の保健指導（対象：特定健診結果が HbA1c6.5%以上かつ eGFR45～60ml/分/1.73 m ² 未満の者）を実施した割合 【R5：68.6% → R11: 75%以上】
長寿健康診査の受診結果を活用した介護予防 …長寿健康診査受診率【R5：49.9% → R11：65%】 …高血圧の保健指導・受診勧奨（対象：血圧 160/100mmHg 以上かつ未治療の者）を実施した割合【R5：75.9% → R11：80%】
がん検診の受診勧奨、がん予防の啓発 …大腸がん検診受診率（向日市国民健康保険加入者）【R5:18.1% → R11:23.0%】 …乳がん検診受診率（向日市国民健康保険加入者）【R5：11.8% → R11：18.0%】
自発的な健康づくりの推進 …ウォーキングアプリ登録者数【R11：1,000 人】

*1 特定保健指導対象者の減少率

- … 前年度と当該年度共に特定健診を受診した者の内、前年度特定保健指導の対象で、当該年度特定保健指導の対象ではなくなった者の割合のことをいいます。

≪施策分野3≫高齢者が安心して暮らせる体制の充実

施策1 地域包括ケアシステムの推進

■基本方向

○高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう、通いの場や介護予防の場、見守り体制など地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの機能強化を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標
生活支援コーディネーター*1と協議体の設置による生活支援体制づくり …住民主体で介護予防に資する取組を実施する通いの場の数（はつらつサロン登録団体数） 【R5：22 か所 → 毎年度 2 か所新規立ち上げ】
介護予防・重度化防止の推進 …調整済み認定率*2（重度（要介護3～5）） 【R4年度：向日市 5.9%、京都府 6.0% → R11年度：京都府数値以下】
認知症高齢者を支える体制づくり …認知症サポーター*3数（認知症サポーター養成講座受講者数） 【R6年10月時点：85人（予定） → 毎年度 200人受講】 …見守りSOSネットワーク*4協力事業所（登録事業所数） 【R5年度：124 か所 → 毎年度 5 か所新規登録】

*1 生活支援コーディネーター

… 別名「地域支え合い推進員」といいます。高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす人のことをいいます。

*2 調整済み認定率

… 認定率の大小に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者（市町村の区域内に住所を有する65歳以上の者の性・年齢別人口構成）」の影響を除外した認定率のことをいいます。

*3 認知症サポーター

… 認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対して出来る範囲での手助けをする人のことをいいます。

*4 見守りSOSネットワーク

… 認知機能が低下した高齢者が行方不明になった際に早期発見・保護を含め地域全体で捜索する体制のことをいいます。

《施策分野4》障がい者福祉の充実

施策1 安心して暮らし続けられる共生社会の実現

■基本方向

○障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる施策の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標
相談支援体制の強化 …計画相談支援事業所数【R5：5 か所 → R11：6 か所】
地域での生活を支援する福祉サービスの充実 …就労継続支援事業所（A型・B型） ^{*1} の利用者数（延べ人数） 【R5：2,364 人 → R11：2,700 人】
手話言語条例の啓発・推進 …医療・介護現場における手話の普及【R5：未実施 → R11：実施】

*1 就労継続支援事業所A型

… 事業者と雇用関係を結び、就労機会の提供、知識や能力の向上のために必要な訓練などを行います。

就労継続支援事業所B型

… 事業者と雇用関係を結ばず、一定の賃金水準に基づく就労機会の提供、就労に必要な知識・能力の向上を図る訓練を行います。

＜施策分野5＞地域福祉の充実

施策1 福祉のまちづくりの推進

■基本方向

○市民一人一人がご近所や地域で助け合い、支え合えるまちづくりを進めます。

■取組及び目標

取組及び目標
地域共生社会実現サポート事業の推進 …実施事業数【R5：3事業 → R11：15事業（R7～R11累計）】
地域の見守りネットワーク事業の推進 …協定事業者数【R5：15か所 → 毎年度1か所新規協定締結】

《施策分野6》学校教育の充実

施策1 豊かな学びの創造と確かな学力の育成

■基本方向

○児童生徒が学ぶことの意義や楽しさを感じられる多様な学びの実現に努めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、確かな学力^{*1}をはぐくむ教育を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 …授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた子どもの割合 【R5：小学6年生（国88%・算79%）、中学3年生（国76%・数72%・英96%） → R11：小学6年生（国・算）、中学3年生（国・数・英）各教科90%以上】
I C Tを効果的に活用した授業の実施 …学習するときに、I C T端末を使うことで学習内容が理解しやすくなる子どもの割合 【R5：小学6年生（76%）、中学3年生（82%） → R11：増加】
小中の接続を重視した外国語教育の実施 …英語検定3級の取得割合 【R5：中学3年生（38.5%） → R9：60%以上】
伝統や文化、芸術に関する教育の推進
ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実 …今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合 【R5：小学6年生（88.9%）、中学3年生（91.0%） → R11：増加】

*1 確かな学力

… 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの要素が統合された学力のことをいいます。

施策２ 豊かな人間性の育成と多様性の尊重

■基本方向

- 一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進します。
- 多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力をはぐくみます。
- すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組みます。

■取組及び目標

取組及び目標
あらゆる人権問題の解決に向けて、自ら考え行動できる児童生徒の育成 …人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合 【R5：小学6年生（86.3%）、中学3年生（82.8%） → R11：90%以上】
道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 …人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子どもの割合 【R5：小学6年生（96.5%）、中学3年生（97.5%） → R11：増加】
読書活動を通じた創造力・表現力等の育成 …読書が好きな子どもの割合 【R5：小学6年生（70.9%）、中学3年生（66.5%） → R11：80%以上】
障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実
授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切にした指導の充実
いじめや暴力行為の防止対策の充実
教育支援センターを中心とした不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実 …不登校の児童生徒の割合 【R5：小学校（2.12%）、中学校（6.34%） → R11：減少】
保幼小、小中等の校種間連携・接続の充実

施策3 健やかな身体の育成

■基本方向

- 「スポーツごころ」*1をはぐくむ教育の推進を図ります。
- 学校・家庭・地域が一体となって健康的な生活習慣を確立する教育を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
スポーツの機会の充実 …運動やスポーツをすることが「好き・やや好き」と思う子どもの割合 【R11：90%以上（参考：京都府 小学5年生 男（92.5%）女（84.4%）、中学2年生 男（88.8%）女（73.7%））】
食に関する授業の充実等による食育の推進

*1 「スポーツごころ」

… 「感動」「楽しみ」「健康」「挑戦」「つながり」「公正」といった、人々が日々の生活の中で「よしっ！」「さあ！」「やってみよう！」という前向きで積極的な心のありようの総称のことをいいます。

施策4 学びを支える安心・安全な教育環境の充実

■基本方向

- 自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備します。
- すべての子どもが将来に希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組みます。
- 強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指します。
- 子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標
学校危機管理・安全対策の充実
第2 向陽小学校を始めとする改修
バリアフリー改修の推進 …全小中学校のバリアフリースイレ、スロープによる段差解消の改修等 【R7：完了】
教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実
教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指す教職員の働き方改革の推進 …市立学校教職員における1か月の時間外在校時間45時間以内の割合 【R5：小学校（57.4%）、中学校（45.2%） → R11：100%】

施策5 学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上

■基本方向

- 保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。
- 次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画できる資質と能力をはぐくみます。

■取組及び目標

取組及び目標
環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める教育の充実 …調べたいことについて納得するまで調べる子どもの割合 【R5：小学6年生（69%）、中学3年生（77%） → R11：80%以上】
コミュニティ・スクール*1の推進 …「学校と地域が情報を共有し、地域が学校に協力的になった」と思う学校運営協議会委員の割合【R11：70%以上】

*1 コミュニティ・スクール

… 地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みとして、学校運営協議会制度を導入した学校のことをいいます。

＜施策分野 7＞生涯学習の推進

施策 1 生涯学習環境の充実

■基本方向

○市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供、学習の成果を活かす場や機会の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標
ふるさと向日市の歴史を活かした講座等多様な学習機会の提供 …特別展又は企画展、文化講演会、歴史講座、日曜談話会の開催 【毎年度各 1 回以上】
社会教育施設の特色を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の場の充実 …【本を介した学習機会の提供及び読書推進に向けた活動の場の拡充】 …【夏休み親子歴史教室など次世代向けの体験事業やむこうまち歴史サークルへの活動支援を通じた、学習機会と活動の場の提供】 …【市民の教養の向上、生活文化の振興に寄与するため、講座や市民文化展、学習発表会の開催】
寺戸公民館の整備

施策２ 家庭・地域社会の教育力の向上

■基本方向

- 家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努めます。
- 学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
家庭教育講座の実施等、就学前からの子どもの発達に応じた家庭教育に関する学習機会の提供
地域学校協働活動の推進等、地域社会の教育力の向上

施策３ 市民文化の振興

■基本方向

- 市民の自主的な芸術や文化活動に対する支援を行うとともに、文化事業の充実を図る等、優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めます。
- 本市の多様な歴史を活かした文化芸術資源を掘り起こし、新たな魅力を創出します。

■取組及び目標

取組及び目標
市民会館を活用した文化芸術の振興 …市民会館来館者数【R5：38,473人 → R11：45,000人】
歴史資源の活用と文化資料館利用者の利便性の向上 …収蔵資料等データベースでの資料公開件数 【R5：3,352件 → R11：3,500件】
京都アリーナ（仮称）を活用した文化芸術の振興の検討

《施策分野8》生涯スポーツの振興

施策1 スポーツ活動の推進

■基本方向

○スポーツを「する」「みる」「ささえる」*1を通じたスポーツ人口の拡大を目指し、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標
公益財団法人向日市スポーツ文化協会等との連携によるライフステージに応じたスポーツ活動の推進
防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討
京都アリーナ（仮称）を活用したスポーツ活動の促進の検討
成人がスポーツを実施する機会の充実 …成人の週1回以上のスポーツ実施率【R6：50.1% → R11：65%程度】
市民温水プールの再整備

*1 「する」「みる」「ささえる」

… 文部科学省が策定する「第3期スポーツ基本計画」において示されている、スポーツの捉え方の概念。スポーツは「する」「みる」「ささえる」という様々な形での「自発的な」参画を通して、「楽しさ」や「喜び」を感じることに本質を持つもの、として捉えることとされています。

施策の柱 3

信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

《施策分野 1》市民協働の推進

《施策分野 2》人権・平和・男女共同参画の推進

《施策分野 3》自治体 DX の推進

《施策分野 4》情報発信の充実

《施策分野1》市民協働の推進

施策1 市民のまちづくり参加の仕組みの構築

■基本方向

○まちづくりの取組及び事業計画の企画・立案段階から市民の意見や意向を把握し、参画できる仕組みを構築します。

■取組及び目標

取組及び目標
地域コミュニティの活性化 …関係補助金の利用件数 【向日市ががんばる地域応援事業補助金 R5：0件 → R11：10件】
市民の主体的なまちづくり活動への支援 …交流・連携を主とした情報交換を行う団体数【R5：20団体 → R11：40団体】
市民交流の場としての京都アリーナ（仮称）の活用の検討

施策２ 市民交流の推進

■基本方向

○友好交流を通じた「ふるさと向日市」の再発見につなげる事業を展開するとともに、市民が市民交流に意欲を持ち市民同士が自ら交流事業を行えるまちを目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
幅広い分野における都市間交流の推進
国際交流を通じた異文化理解の推進

《施策分野2》人権・平和・男女共同参画の推進

施策1 多様性を認め合う社会の実現

■基本方向

○市民一人一人がお互いの人権を尊重し合い共に生きることができるよう、人権について、学び、考え、実践していくことにより、人権という普遍的文化の構築を目指して人権教育・啓発事業に取り組むとともに、世界平和都市宣言の理念の実現に向け、平和施策を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
「向日市人権教育・啓発推進計画」の推進
京都府や近隣市町村と連携した人権教育・啓発の推進
平和行動計画に基づいた事業の展開

施策２ 男女共同参画社会の実現

■基本方向

○すべての市民一人一人の人権が尊重され、あらゆる場において性別にかかわらず誰もがいきいきと暮らし活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
女性活躍推進事業の充実 …女性活躍センター利用者数 【R5：5,453人 → R11：6,500人】
ワーク・ライフ・バランスの普及・推進 …男性が育児や介護で休みをとったほうがよいと思う市民の割合【R11：70%】

<<施策分野3>>自治体 DX の推進

施策1 デジタル行政の推進による効率的な行財政運営

基本方向

- 行政のデジタル化を推進し、市民の利便性向上や業務の効率化を図ります。
- 将来に渡って安定した行政サービスを行えるよう、変化する社会情勢や多様な市民ニーズに対応できる効果的・効率的な行財政運営を進めます。

取組及び目標

取組及び目標
行かない窓口*¹（オンライン申請）の推進 …オンライン申請件数【R5：3,782件 → R11：10,000件】 （内びったりサービス* ² による申請 R6：100件→R8：3,000件） …オンラインで実施できる申請手続の件数【R5：25件 → R11：100件】 （内びったりサービスによる手続件数 R6：5件 → R8：20件） …オンライン利用者の満足度【R5：－ → R11：4.0（5段階評価）】
書かない窓口*³の推進 …窓口タブレットソリューション* ⁴ の利用回数【R5：0件 → R11：7,000件】 （内びったりサービスを活用した窓口タブレットの利用回数 R6：500件→R8：4,000件） …窓口タブレットソリューション利用者の満足度【R5：－ → R11：4.0（5段階評価）】
電子書籍サービス「どこでも図書館」 …「どこでも図書館」コンテンツ数【R5：0件 → R11：3,000件】 …「どこでも図書館」閲覧数【R5：0件 → R11：70,000件】 …「どこでも図書館」貸出数【R5：0件 → R11：15,000件】 …「どこでも図書館」利用満足度【R5：－ → R11：75%】
公金納付の利便性向上 …国民健康保険料等の e L T A X を活用した公金収納のデジタル化の実施【R8：実施】
健全財政の維持

*1 行かない窓口

- … 市民の方が市役所に来庁することなく、電子申請を通じて各種申請や届出など必要な行政手続を行うことができる取組のことをいいます。

*2 びったりサービス

- … 国が提供する電子申請システム。オンラインで行政手続の検索や書類作成、電子申請ができます。

*3 書かない窓口

- … 行政手続において、窓口に来庁された市民の方が、書類を記入することなく、必要な手続を行えるようにするためのデジタル技術を用いた取組のことをいいます。

*4 窓口タブレットソリューション

- … 窓口業務において、タブレット端末を活用して市民の方の行政手続を効率的に行うためのシステムのことをいいます。

＜施策分野4＞情報発信の充実

施策1 まちの魅力の発信

■基本方向

○ふるさと向日市に対する理解と愛着を深められるよう、まちの魅力を様々なツールを有効に活用し、発信します。

■取組及び目標

取組及び目標
誰もがわかりやすく、利用しやすいホームページの作成や広報誌の充実
S N S（LINE 公式アカウント、Instagram）による情報発信力の強化 …LINE 公式アカウント、Instagram に対する満足度(アンケート結果) 【LINE 公式アカウント R6 : 3.04 → R11 : 3.40、 Instagram R6 : 2.92 → R11 : 3.40】 …本市に対する市民の定住意向の割合【R6 : 80.4% → R11 : 90%以上】

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)について

資料 4

- 本事業は、デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費に対して、国から交付金が交付されるものです。
- 令和6年度 向日市が取り組む事業として交付決定が得られており、事業を進めています。
- 本交付金を活用した事業については、目標数値を設定し、その達成度合いを各自治体における有識者委員会において検証することが求められており、次年度の委員会において、効果検証を実施します。

(デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ))

事業名	事業概要	事業内容	事業予算額	KPI	進捗・今後の予定
向日市どこでも図書館事業	まちの魅力を高め、誰もが快適に暮らし続けられる地域づくりの一環として、向日市立図書館における電子書籍サービスを実施する。 行政サービスの利便性向上により、図書館利用者の満足度を高め、本市に「ずっと住み続けたい」という定住意欲の促進を図ることを主な目的とする。	【電子書籍サービス】 ・インターネット上の向日市専用クラウド型電子図書館「どこでも図書館」から、電子書籍の閲覧、貸出ができるサービス ・本市に在住・在勤・在学の方であれば、PC・スマホ・タブレット上から、年中無休で24時間、いつでもどこでも利用可能。	9,257千円	①「どこでも図書館」コンテンツ数 R6:1,000冊、R7:2,000冊、R8:2,500冊 ②「どこでも図書館」閲覧(ログイン)数 R6:9,500件、R7:56,000件、R8:62,700件 ③「どこでも図書館」貸出数 R6:1,400冊、R7:12,000冊、R8:13,200冊 ④「どこでも図書館」利用満足度 R6:60%、R7:65%、R8:75% ⑤本市に対する市民の定住意向の割合 R6:80%、R7:85%、R9:90%	令和6年11月1日サービス開始予定 当初コンテンツ数:約500冊
「ぴったりサービス」を利用した行政手続きデジタル化事業	まちの魅力を高め、誰もが快適に暮らし続けられる地域づくりの一環として、「行かない・書かない窓口」サービスを実装する。 行政手続きにおけるオンライン申請の導入および窓口タブレットソリューションの活用により、市民の利便性向上を図り、市民の満足度を高めるとともに、本市に「ずっと住み続けたい」という定住意欲の促進につなげていく。	【オンライン申請サービス(行かない窓口)】 ・国が提供する電子申請システム「ぴったりサービス」を用い、行政手続きのオンライン化を推進。 ・市民はPC・スマホ・タブレット上から、年中無休で24時間、いつでもどこでも利用可能。 ・手続きのために、市役所に出向く必要がなくなり、「書かずに」「待たずに」申請を行える。 【窓口タブレットソリューション(書かない窓口)】 ・ぴったりサービスと連携した窓口タブレットソリューションを導入し、書かない窓口を実施。 ・電子申請と窓口受付後の業務フローを統一化し、職員の事務効率化を図る。	12,062千円	①ぴったりサービスによる申請件数 R6:100件、R7:1,000件、R8:3,000件 ②ぴったりサービスによる申請手続きの件数 R6:5件、R7:10件、R8:20件 ③窓口タブレットソリューションの利用回数 R6:500回、R7:2,000回、R8:4,000回 ④オンライン申請利用者の満足度(5段階評価) R6:3.0、R7:3.5、R8:4.0 ⑤本市に対する市民の定住意向の割合 R6:80%、R7:85%、R9:90% ⑥窓口タブレットソリューション利用者の満足度(5段階評価) R6:3.0、R7:3.5、R8:4.0	6課10手続きについて、手続きデジタル化を実施する。 令和6年8月 契約締結 キックオフ会議開催 令和6年9月 担当課説明会開催 今後、令和7年2月を目標に、オンライン申請及び窓口タブレット活用を開始する予定。